

第3期

磐梯町子ども・子育て支援事業計画

策定に伴うニーズ調査報告書

## 目次

未就学児童保護者調査結果.....	3
1.子どもと家族の状況について.....	4
2.子どもをめぐる環境について.....	5
3.保護者の就労状況.....	7
4.子どもの平日(月曜日から金曜日)の定期的な教育・保育事業の利用状況.....	13
5.子どもの病気の際の対応について.....	21
6.土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望.....	24
7.認定こども園について.....	29
8.地域の子育て支援事業の利用状況について.....	32
9.不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について.....	35
10.小学校入学後の子どもの放課後の過ごし方.....	39
11.育児休業について.....	41
12.自由記述.....	49
小学生児童保護者調査結果.....	55
1.子どもと家族の状況.....	56
2.子育てをめぐる環境.....	58
3.保護者の就労状況.....	62
4.子どもの病気の際の対応.....	67
5.子どもの放課後の過ごし方.....	69
6.子育て全般について.....	76
7.自由記述.....	78

# 未就学児童保護者調査結果

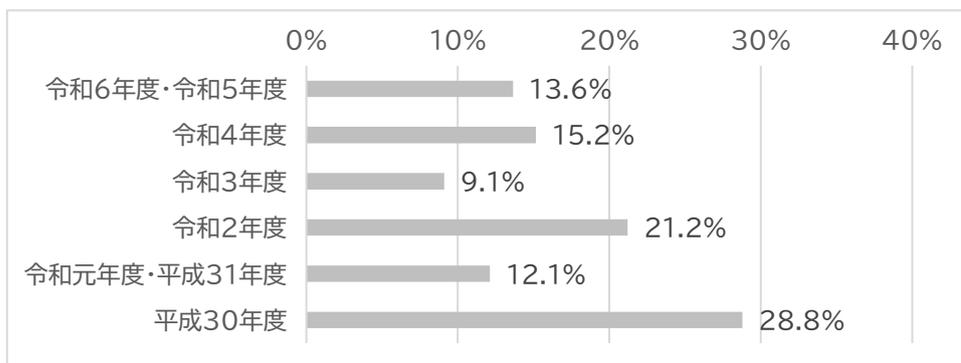
## 【調査の概要】

- 1 調査目的: 磐梯町内の子ども・子育て支援に関する現状と課題の把握を行い、次期子ども・子育て支援事業計画を策定するにあたっての基礎資料作成のため
- 2 調査対象: 磐梯町内在住の未就学児童を持つ保護者(全世帯)
- 3 対象者数: 111 人
- 4 調査方法: 郵送または町内保育所等を通じての配布。郵送または保育所等を通じての回収。
- 5 調査日程: 令和 6 年 7 月 8 日から令和 6 年 7 月 31 日まで
- 6 調査内容: 未就学児童の子育てに関する保護者ニーズ調査、設問項目 28 問
- 7 回収結果: 回収票 66 票、回収率 59.4%
- 8 注意事項: ① 今回の調査結果は、小数点第 2 位を四捨五入し、構成比率(パーセント)で小数点第 1 位までを表示している。  
② アンケートの選択肢の語句が長い場合、本文中や表・グラフでは省略した表現を用いることがある。  
③ 各設問の「N」は回答者数を表している。  
④ 複数回答の設問についても、設問に対する回答者の総数(=当該設問全体の回答件数)を基数(N)とし、各選択肢を回答した件数の割合を算出している。回答は 2 つ以上ありうるため、合計は 100 を超えることがある。

# 1.子どもと家族の状況について

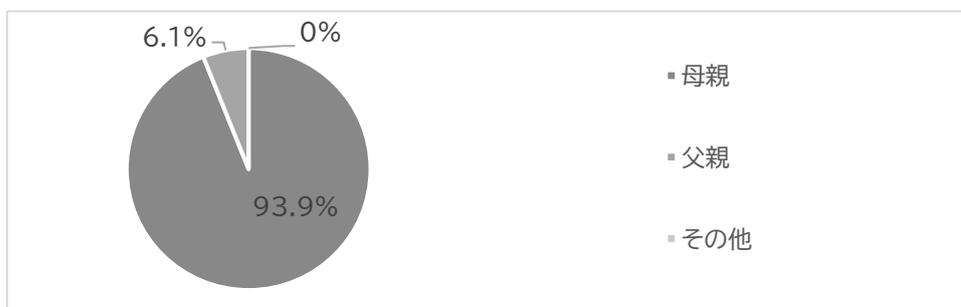
## 問1 子どもの生年月日(N=66)

「平成30年度」が 28.8%と最も高く、次いで「令和2年度」が 21.2%となっています。



## 問2 調査票の回答者(N=66)

「母親」が 93.9%となっています。



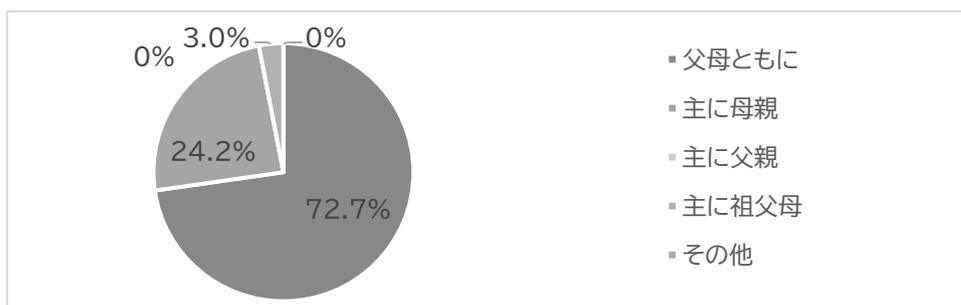
## 問3 調査票の回答者の配偶関係(N=66)

「配偶者がいる(事実婚を含む)」が 98.5%となっています。



## 問4 子どもの子育て(教育を含む)を主に行っている方(N=66)

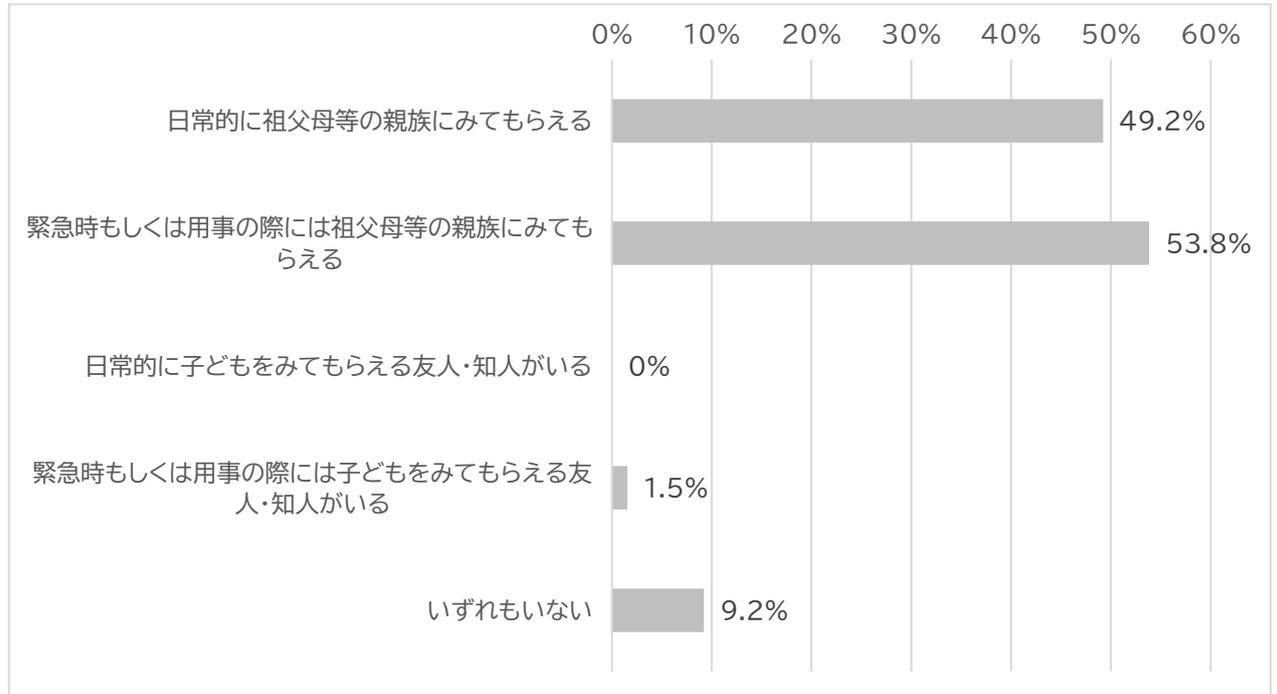
「父母ともに」が 72.7%と最も高く、次いで「主に母親」が 24.2%となっています。



## 2.子どもをめぐる環境について

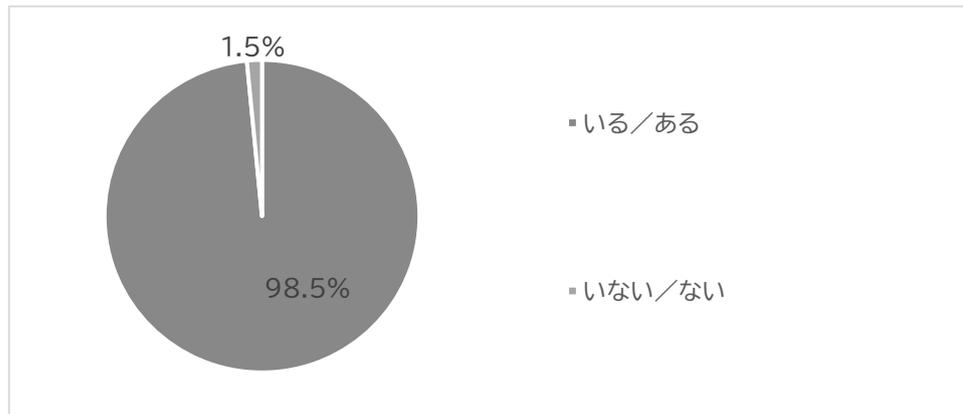
### 問5 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人(N=65)

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が53.8%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が49.2%となっています。



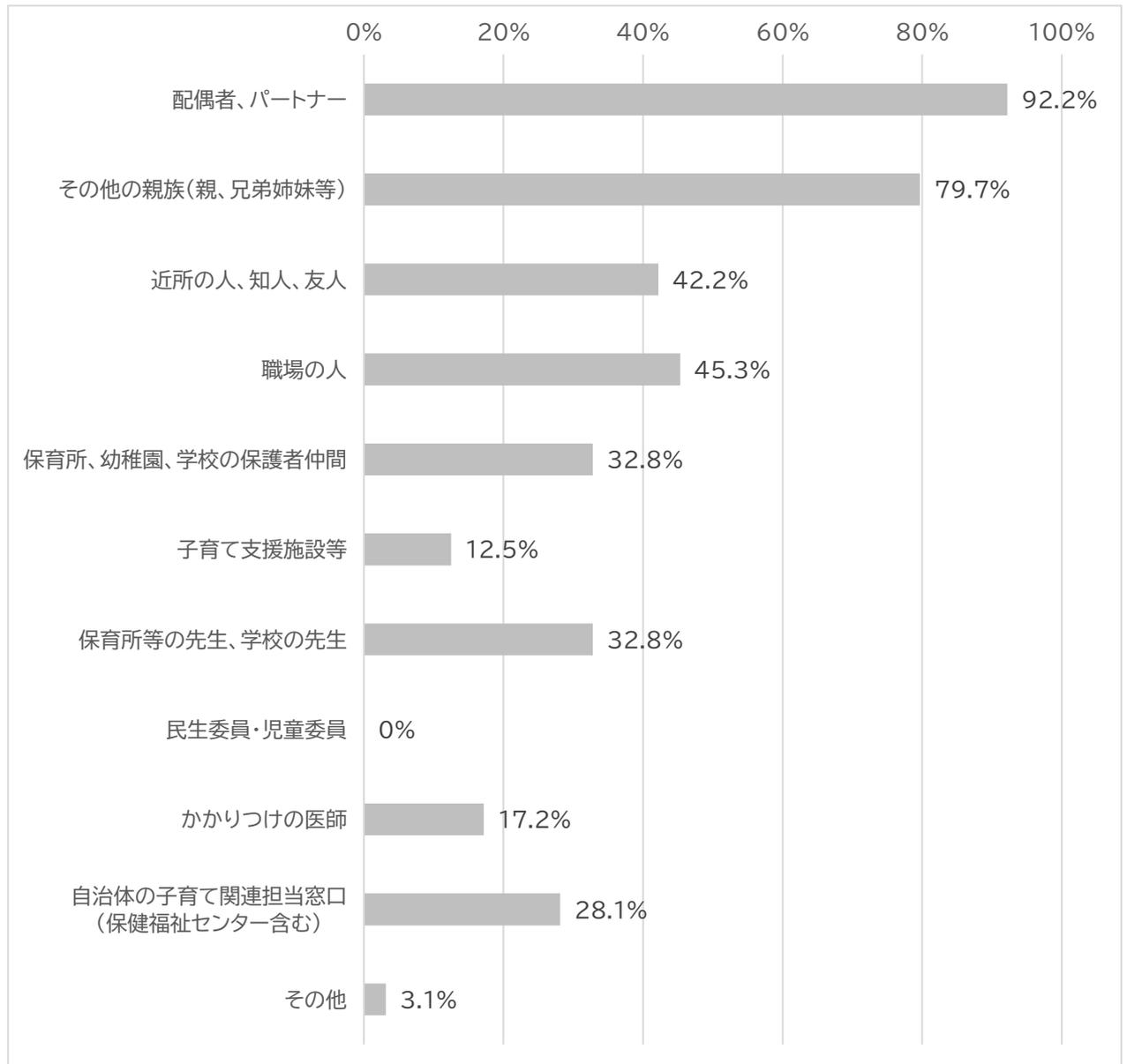
### 問6 子育て(教育を含む)についての相談先の有無(N=65)

「いる/ある」が98.5%となっています。



### 問 6-1 子育て(教育を含む)についての相談先(N=64)

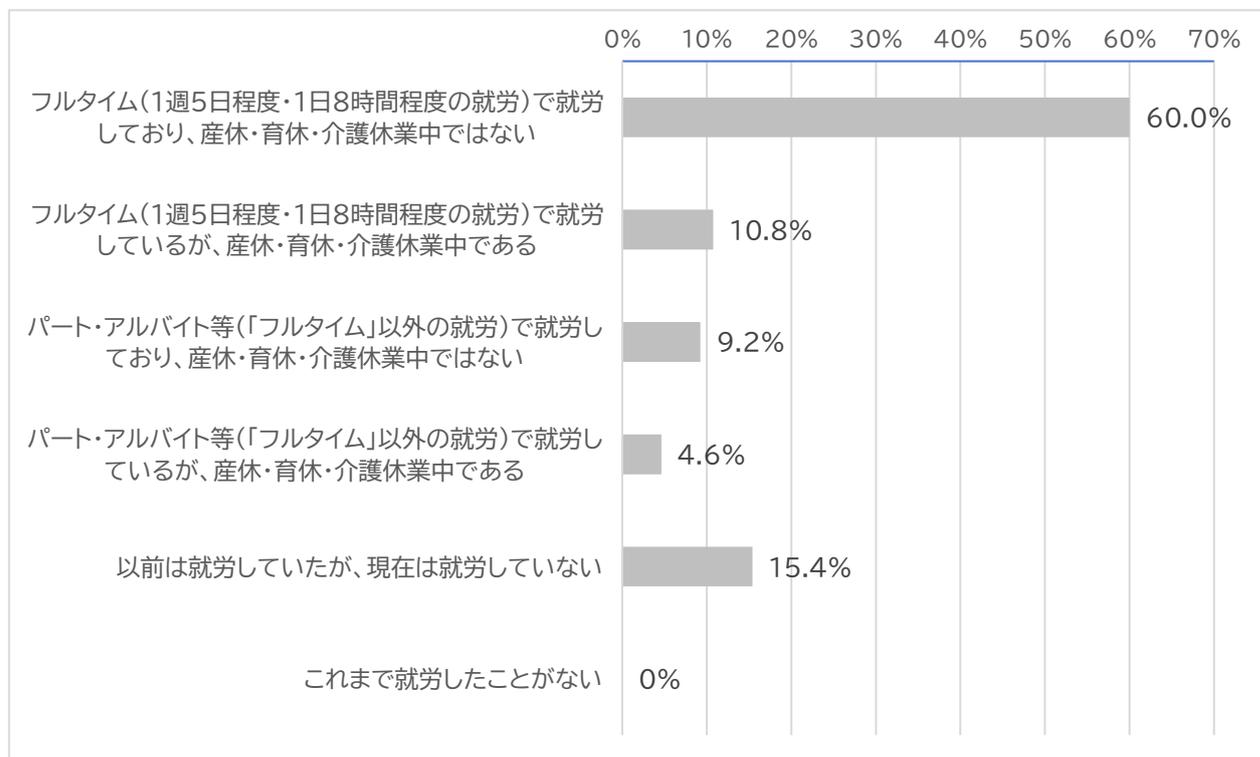
「配偶者、パートナー」が 92.2%と最も高く、次いで「その他の親族(親、兄弟姉妹等)」が 79.7%となっています。また「その他」として、SNS 等の回答がありました。



### 3.保護者の就労状況

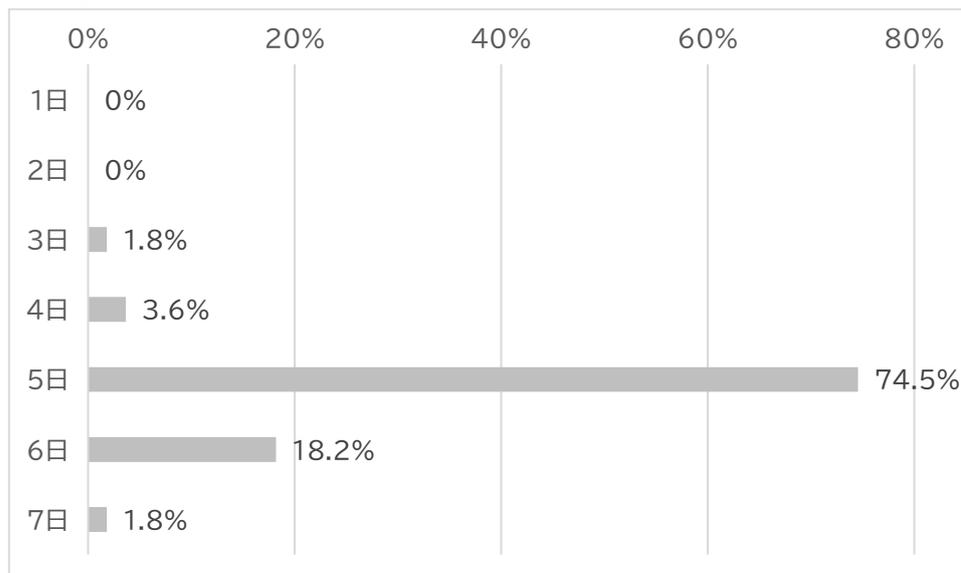
#### 問7 母親の現在の就労状況(N=65)

「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が60.0%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が15.4%となっています。



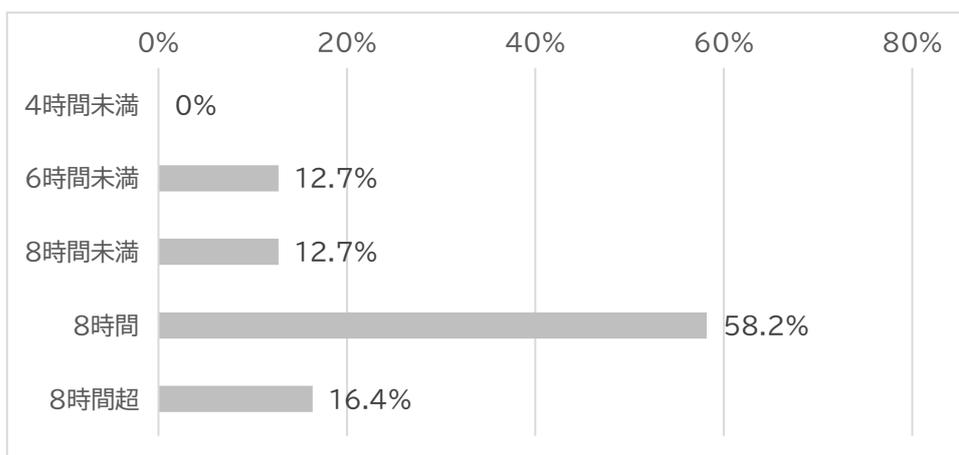
#### (1)-1① 1週当たりの「就労日数」(N=55)

「5日」が最も高く、74.5%となっています。



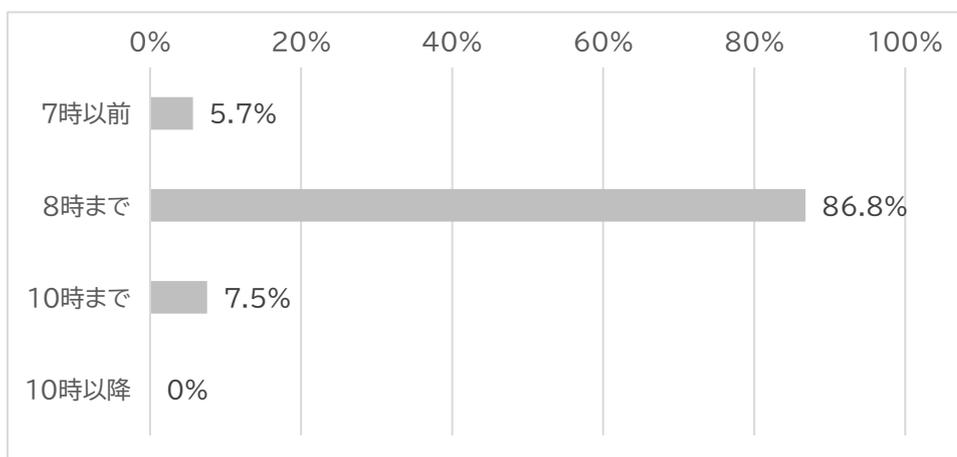
**(1)-1② 1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」(N=55)**

「8時間」が 58.2%と最も高く、次いで「8時間超」が 16.4%となっています。



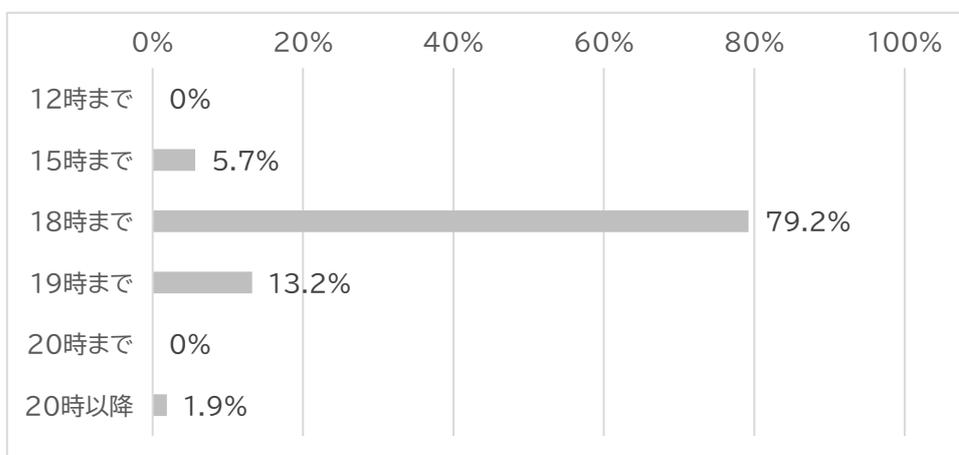
**(1)-2① 家を出る時刻(N=53)**

「8時まで」が 86.8%と最も高くなっています。



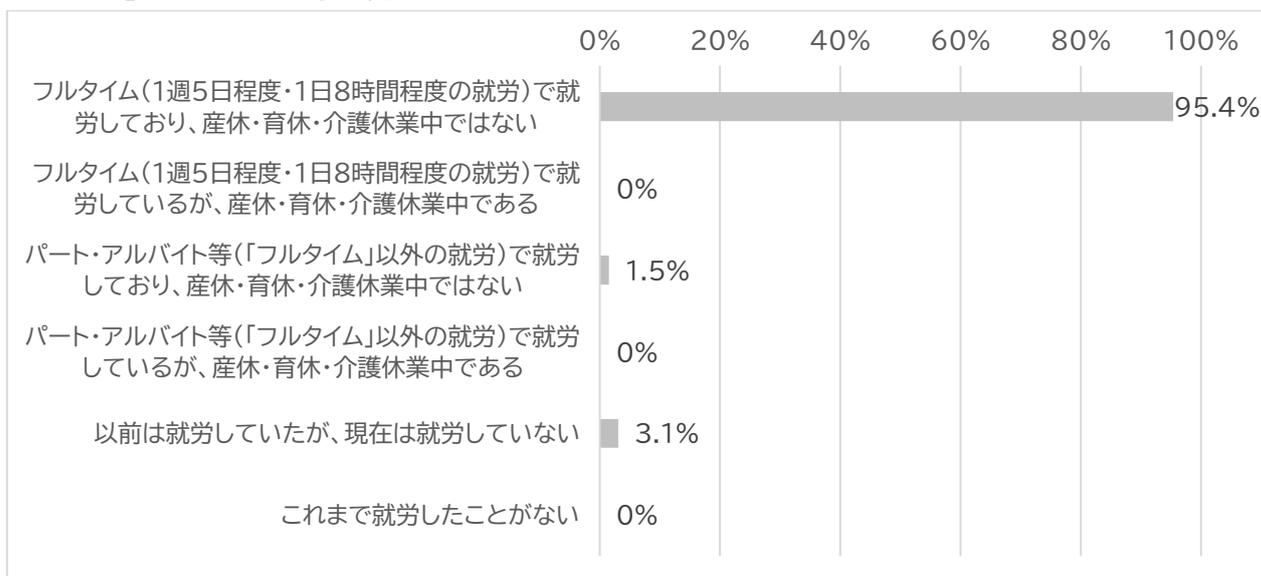
**(1)-2② 帰宅時刻(N=53)**

「18時まで」が 79.2%と最も高くなっています。



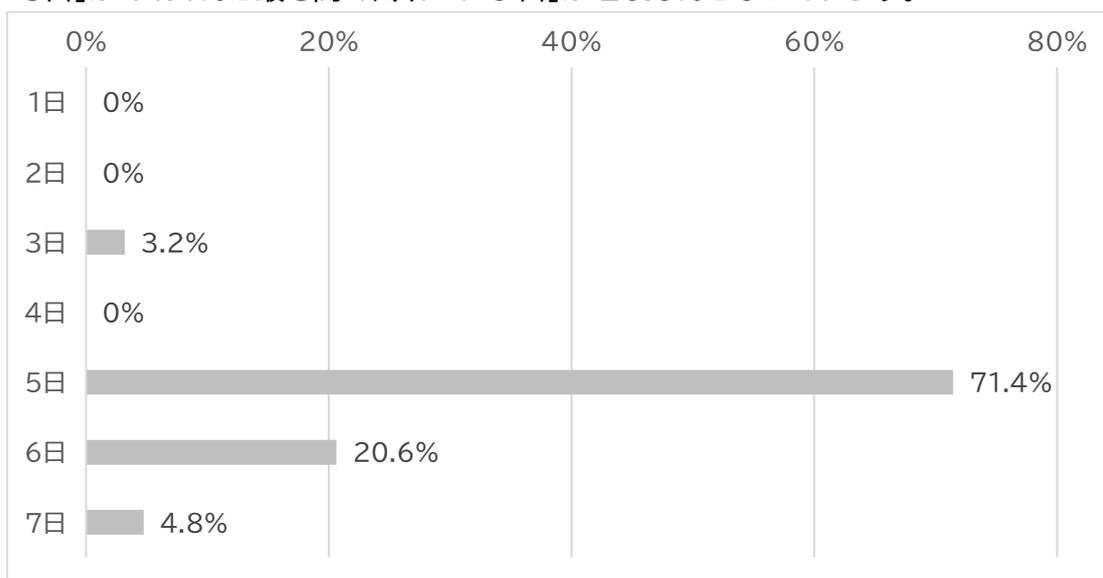
## (2)父親の現在の就労状況(N=65)

「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が95.4%と最も高くなっています。



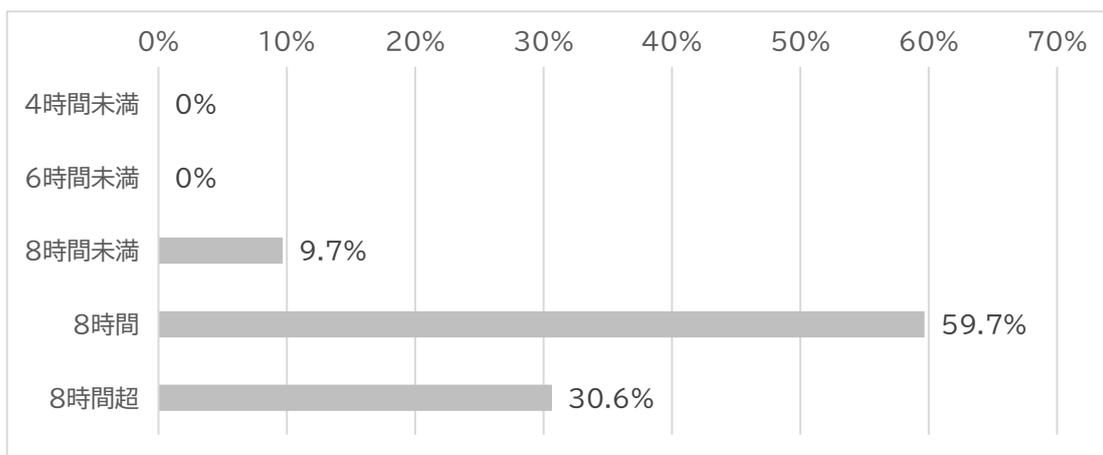
### (2)-1① 1週当たりの「就労日数」(N=63)

「5日」が71.4%と最も高く、次いで「6日」が20.6%となっています。



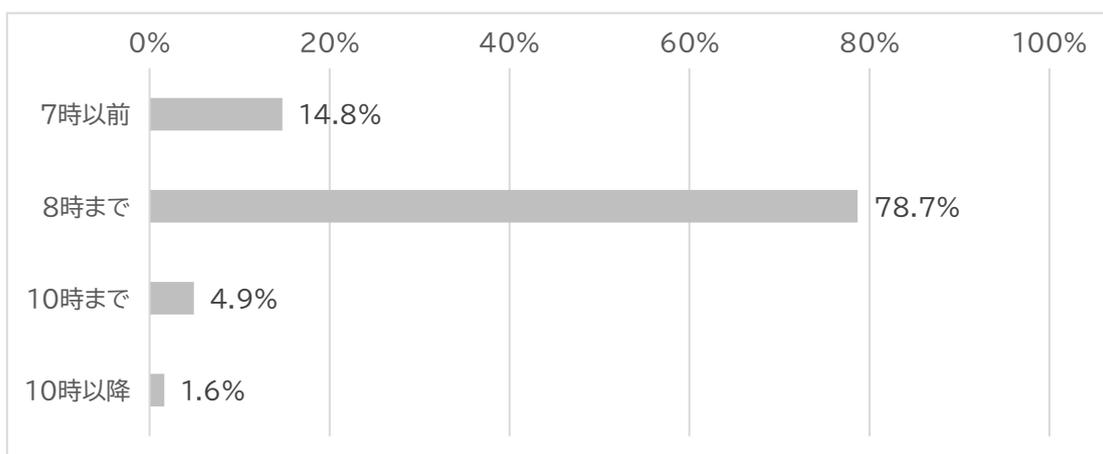
### (2)-1② 1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」(N=62)

「8時間」が 59.7%と最も高く、次いで「8時間超」が 30.6%となっており、8時間以上就労している方が約9割となっています。



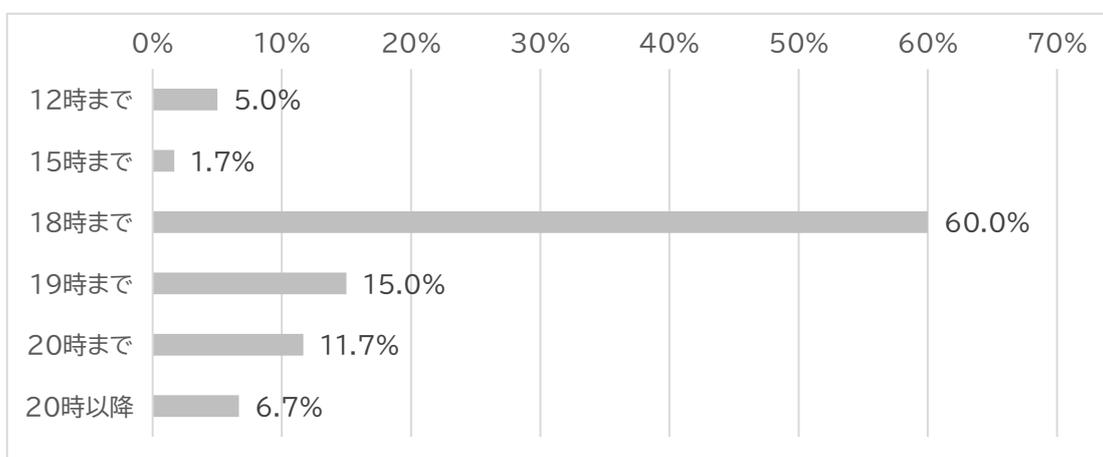
### (2)-2① 家を出る時刻(N=61)

「8時まで」が 78.7%と最も高く、次いで「7時以前」が 14.8%となっています。



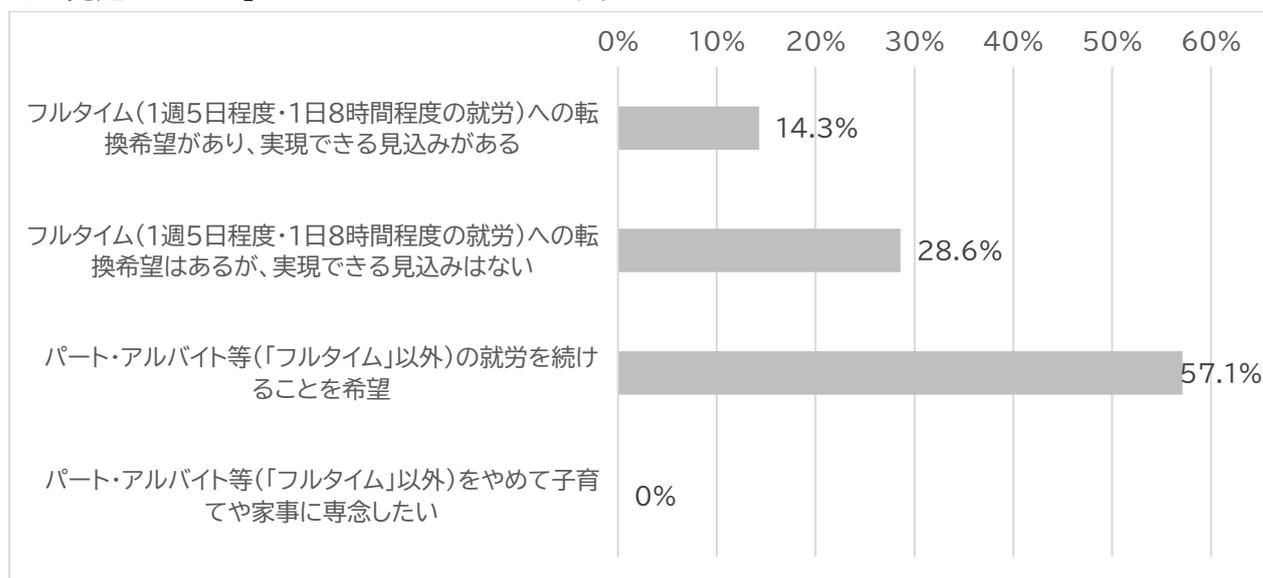
### (2)-2② 帰宅時刻(N=60)

「18時まで」が 60.0%と最も高く、次いで「19時まで」が 15.0%となっています。



### 問8 (1)フルタイムへの転換希望【母親】(N=7)

「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」が57.1%と最も高く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が28.6%となっています。

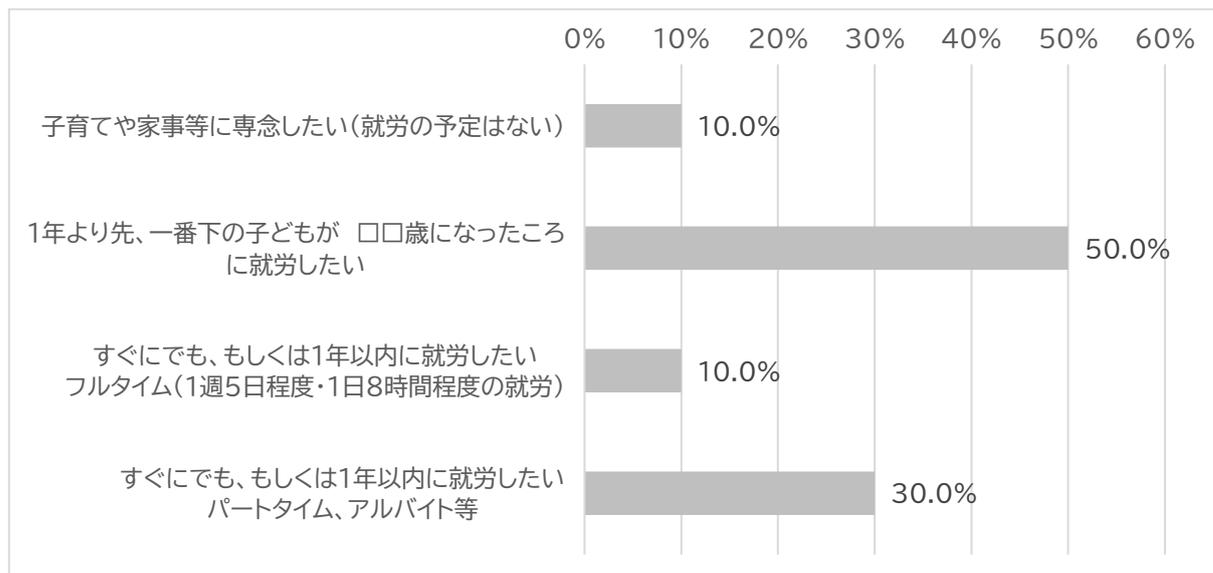


### (2)フルタイムへの転換希望【父親】

「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」が有効回答数1となっています。(グラフ省略)

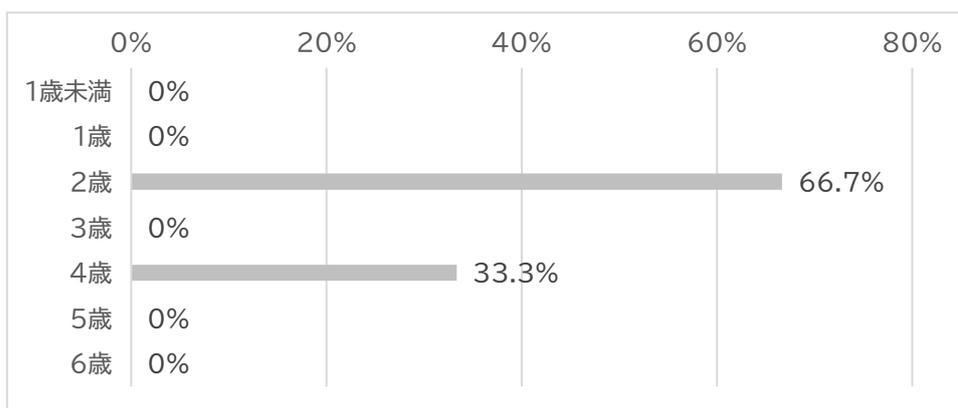
### 問9 (1)①就労希望について【母親】(N=10)

「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」が50.0%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい パートタイム、アルバイト等」が30.0%となっています。



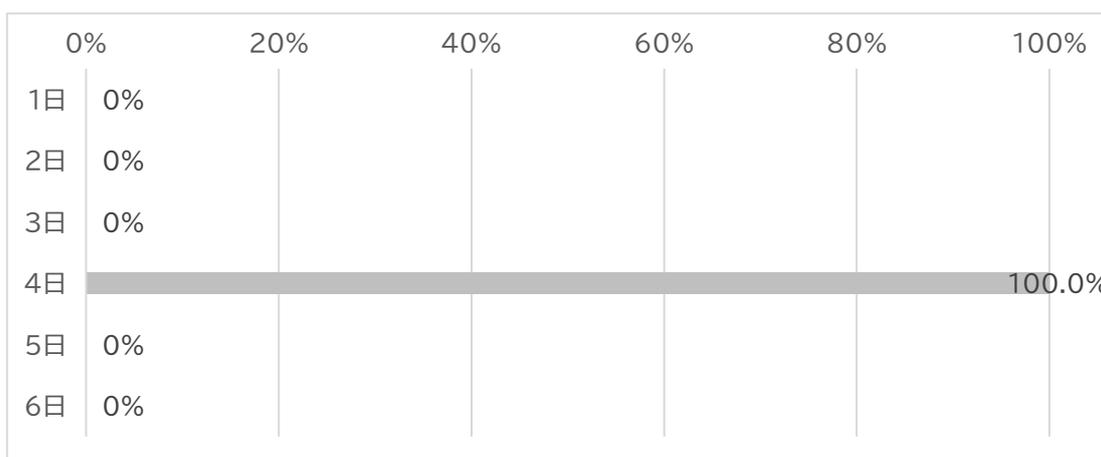
**(1)②子どもが何歳になった頃か(N=3)**

「2歳」が66.7%と最も高くなっています。



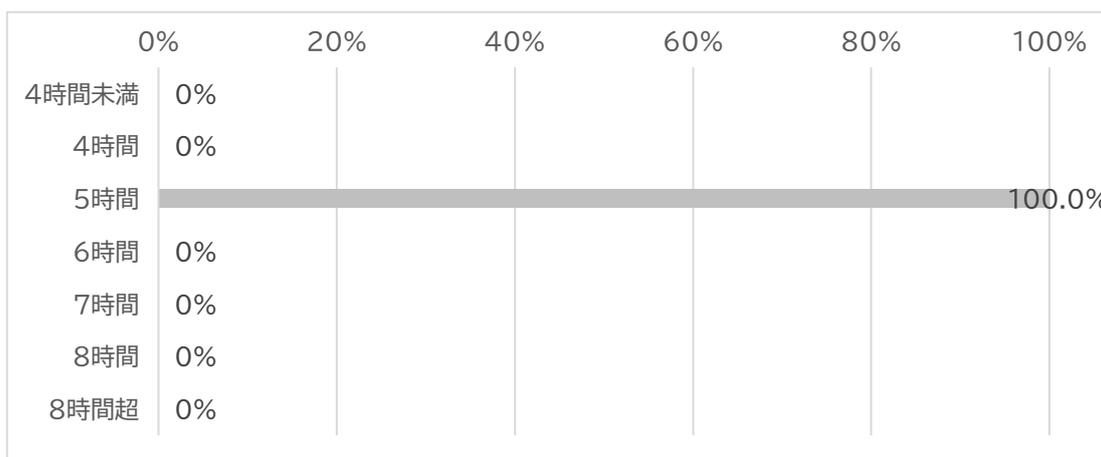
**(1)③(母親)希望する就労形態(1週当たり日)(N=2)**

「4日」勤務が最も多くなっています。



**(1)④(母親)希望する就労形態(1日当たり時間)(N=2)**

「5時間」が最も多くなっています。



**(2)(父親)就労したいという希望はありますか。**

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」が有効回答数1となっています。(グラフ省略)

#### 4.子どもの平日(月曜日から金曜日)の定期的な教育・保育事業の利用状況

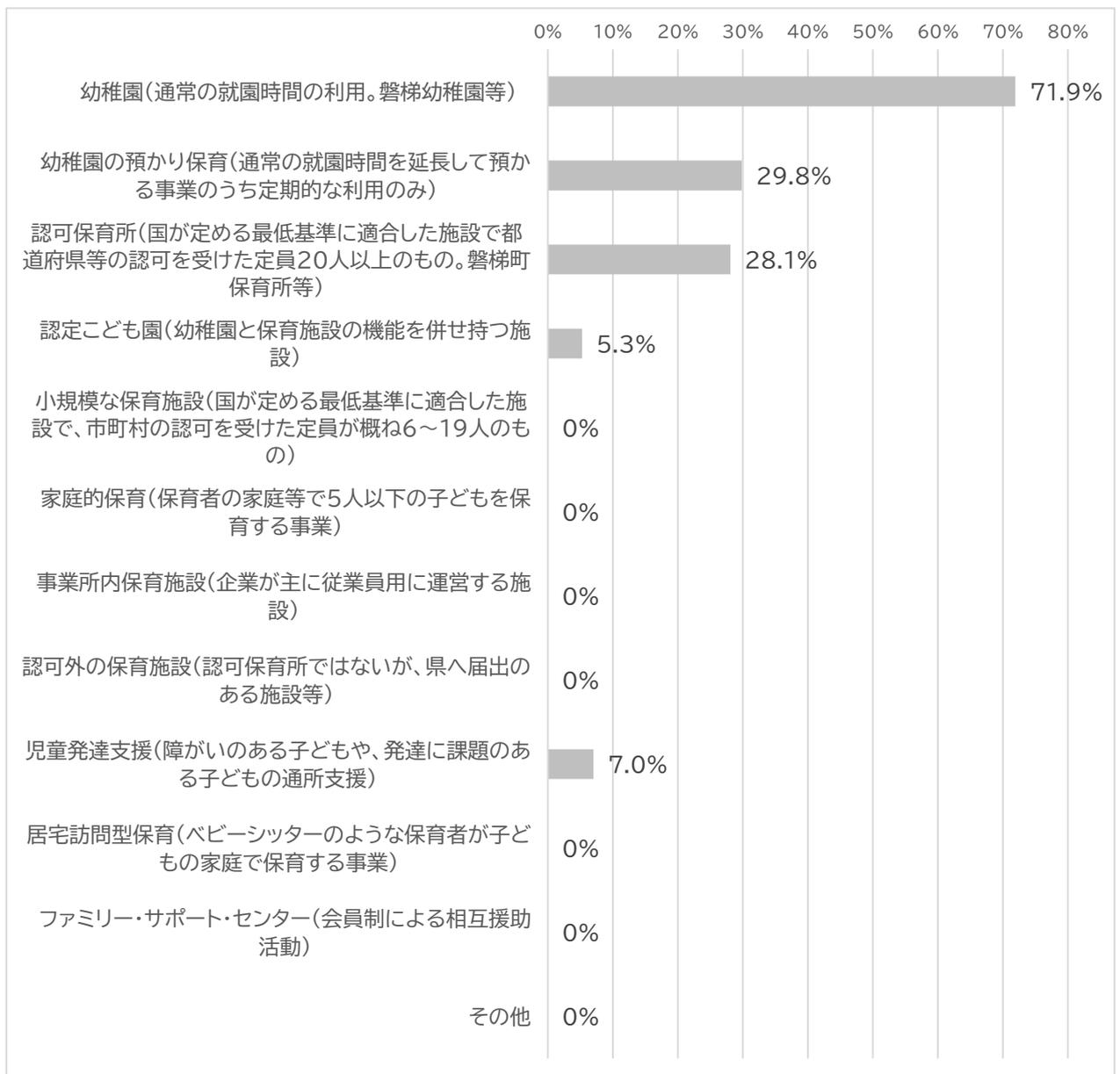
##### 問10 平日の保育所や幼稚園等の「定期的な教育・保育事業」利用の有無(N=66)

「利用している」が 86.4%となっています。



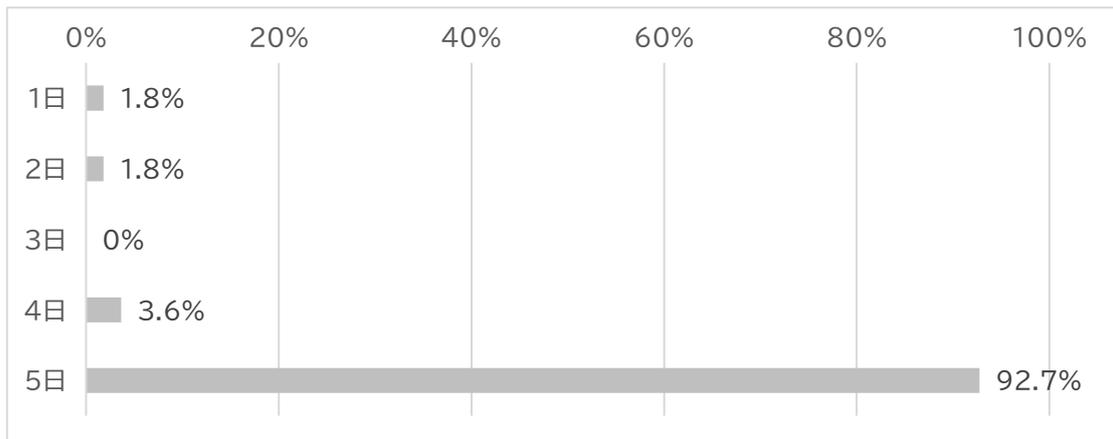
##### 問 10-1 平日の「定期的な」教育・保育事業の利用について(N=57)

「幼稚園(通常の就園時間の利用。警梯幼稚園等)」が 71.9%と最も高くなっています。



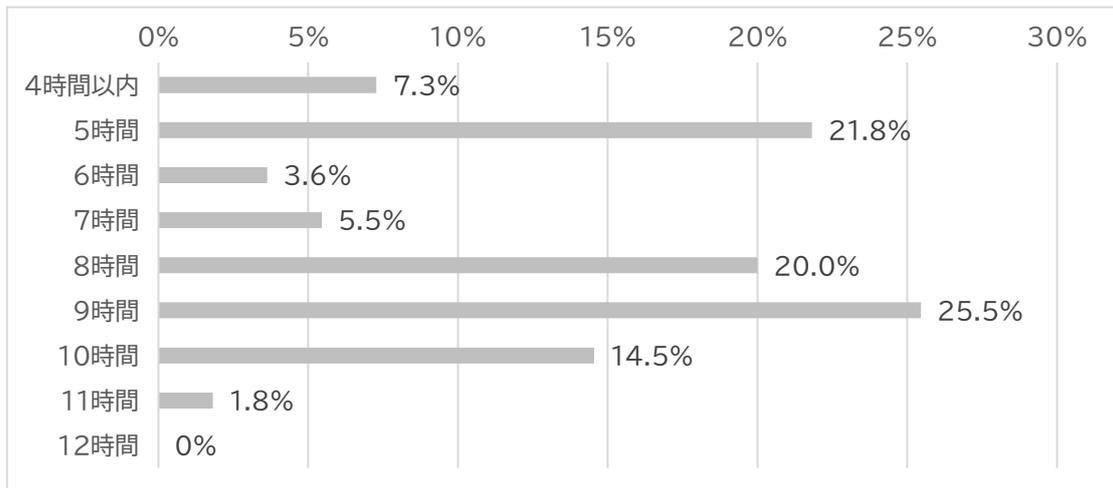
**問 10-2(1)① 一週当りの利用日数(N=55)**

「5日」が 92.7%と最も高くなっています。



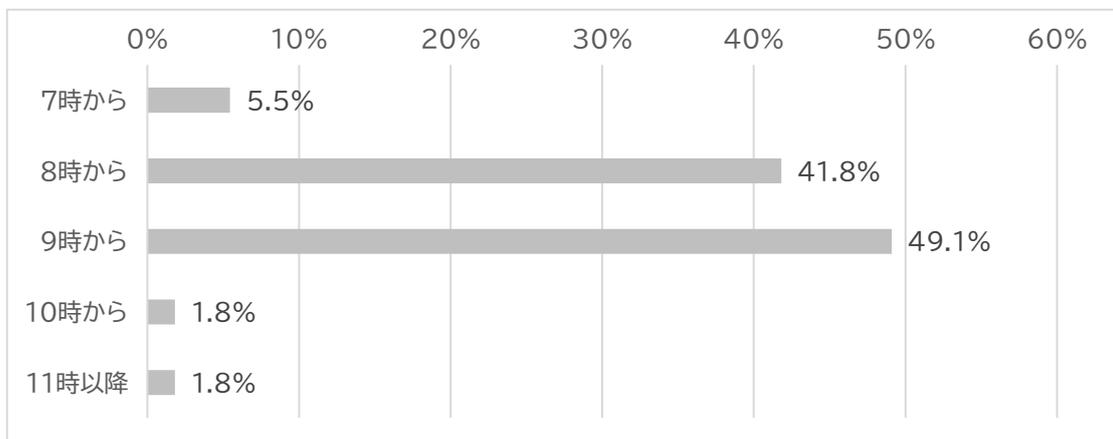
**(1)② 一日当りの利用時間(N=55)**

「9時間」が 25.5%と最も高く、次いで「5時間」が 21.8%となっています。



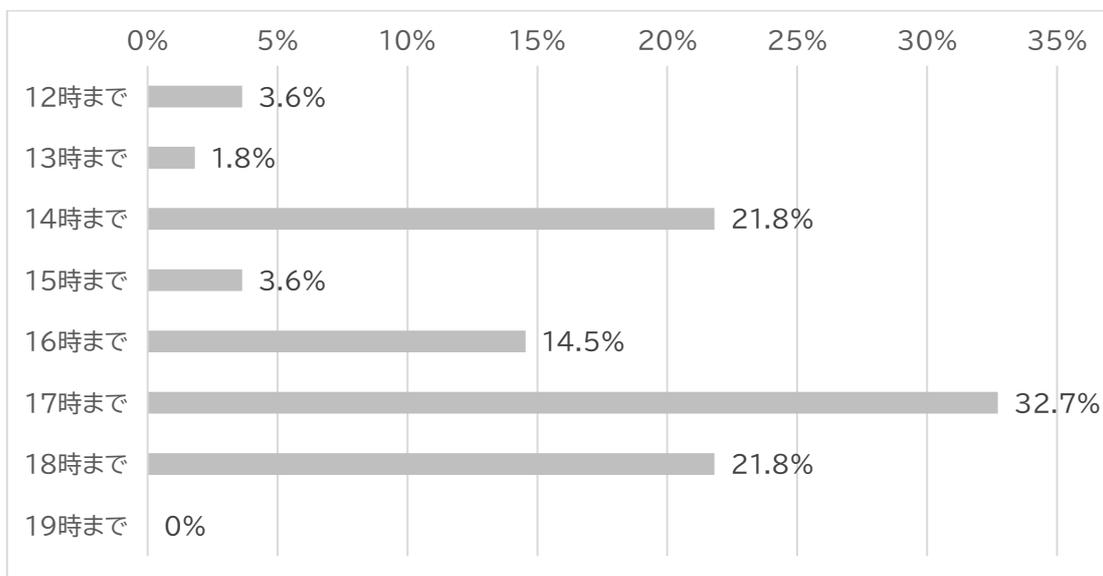
**(1)③ 利用開始時間(現在)(N=55)**

「9時から」が 49.1%と最も高く、次いで「8時から」が 41.8%となっております。



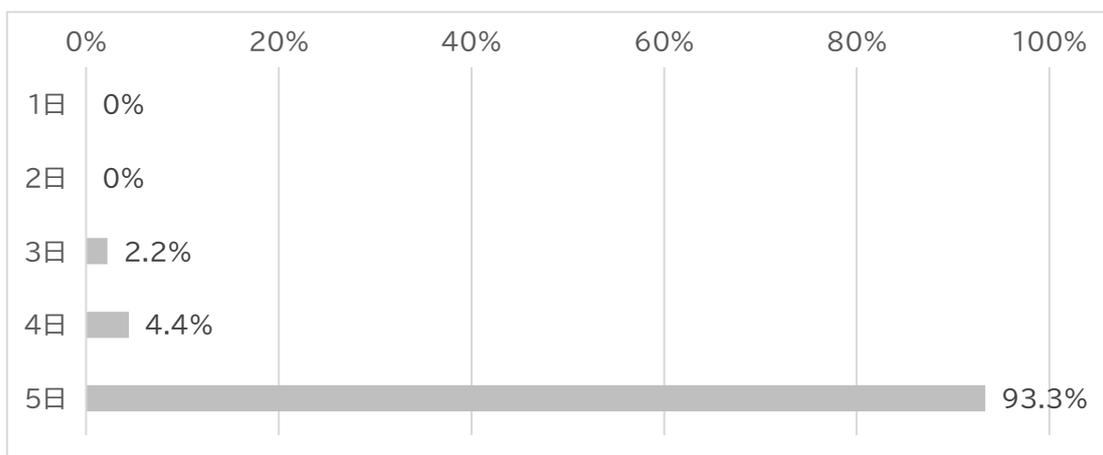
#### (1)④ 利用終了時間(現在)(N=55)

「17時まで」が 32.7%と最も高く、次いで「14時まで」と「18時まで」が 21.8%となっています。



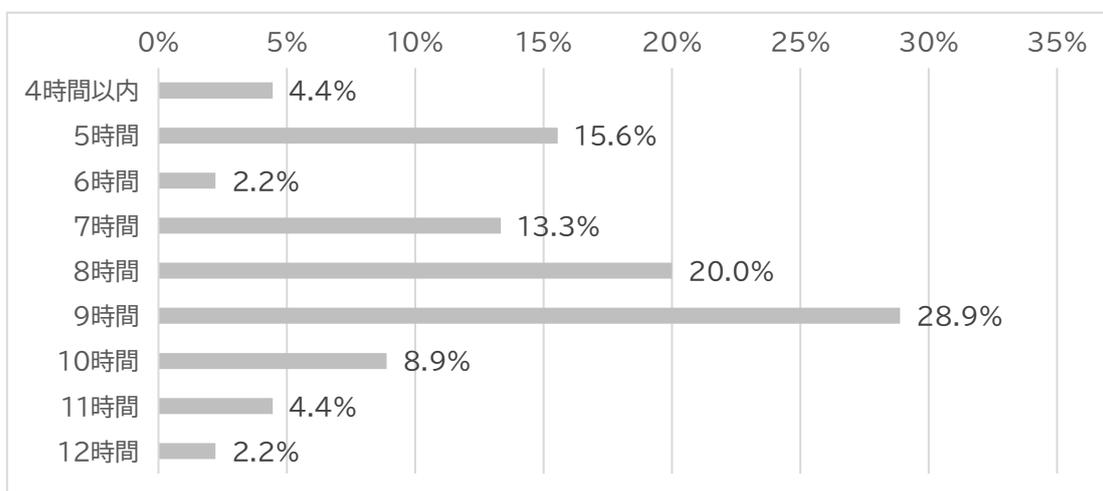
#### (2)① 一週当りの利用希望日数(N=45)

「5日」が 93.3%と最も高くなっています。



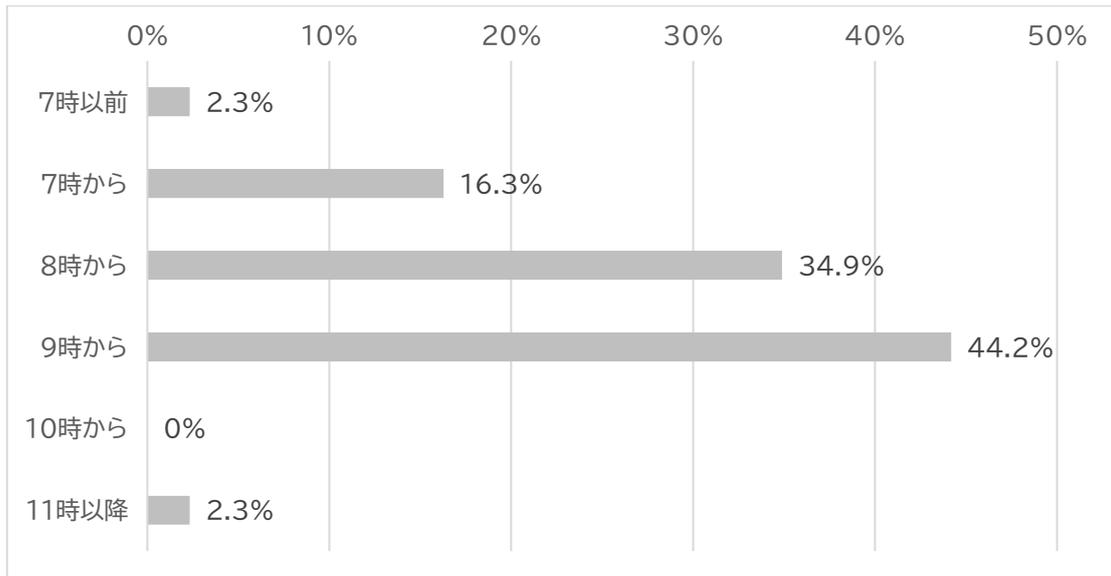
#### (2)② 一日当りの利用希望時間(N=45)

「9時間」が 28.9%と最も高く、次いで「8時間」が 20.0%となっています。



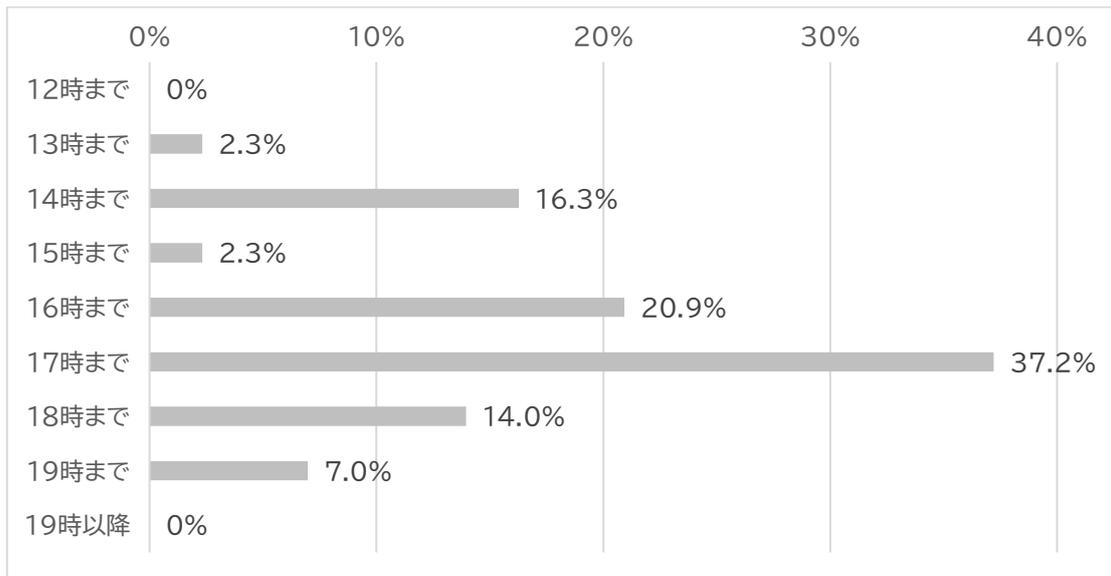
### (2)③ 利用開始希望時間(N=43)

「9時から」が44.2%と最も高く、次いで「8時から」が34.9%となっています。



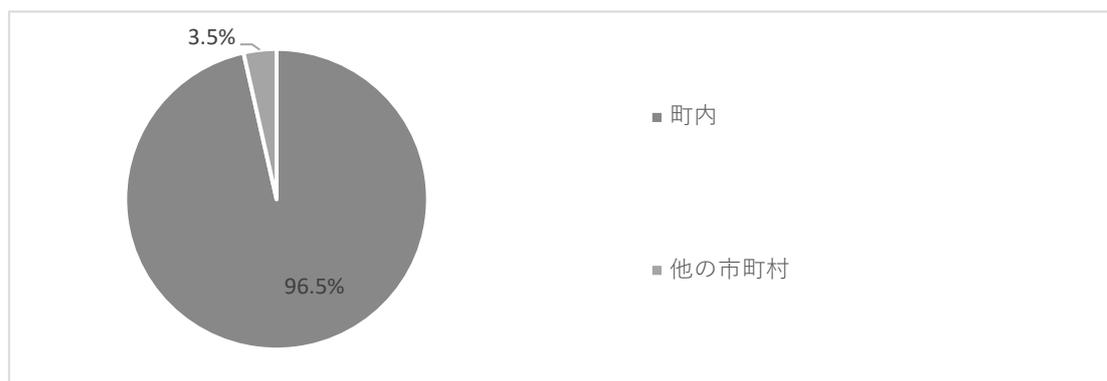
### (2)④ 利用終了希望時間(N=43)

「17時まで」が37.2%と最も高く、次いで「16時まで」が20.9%となっています。



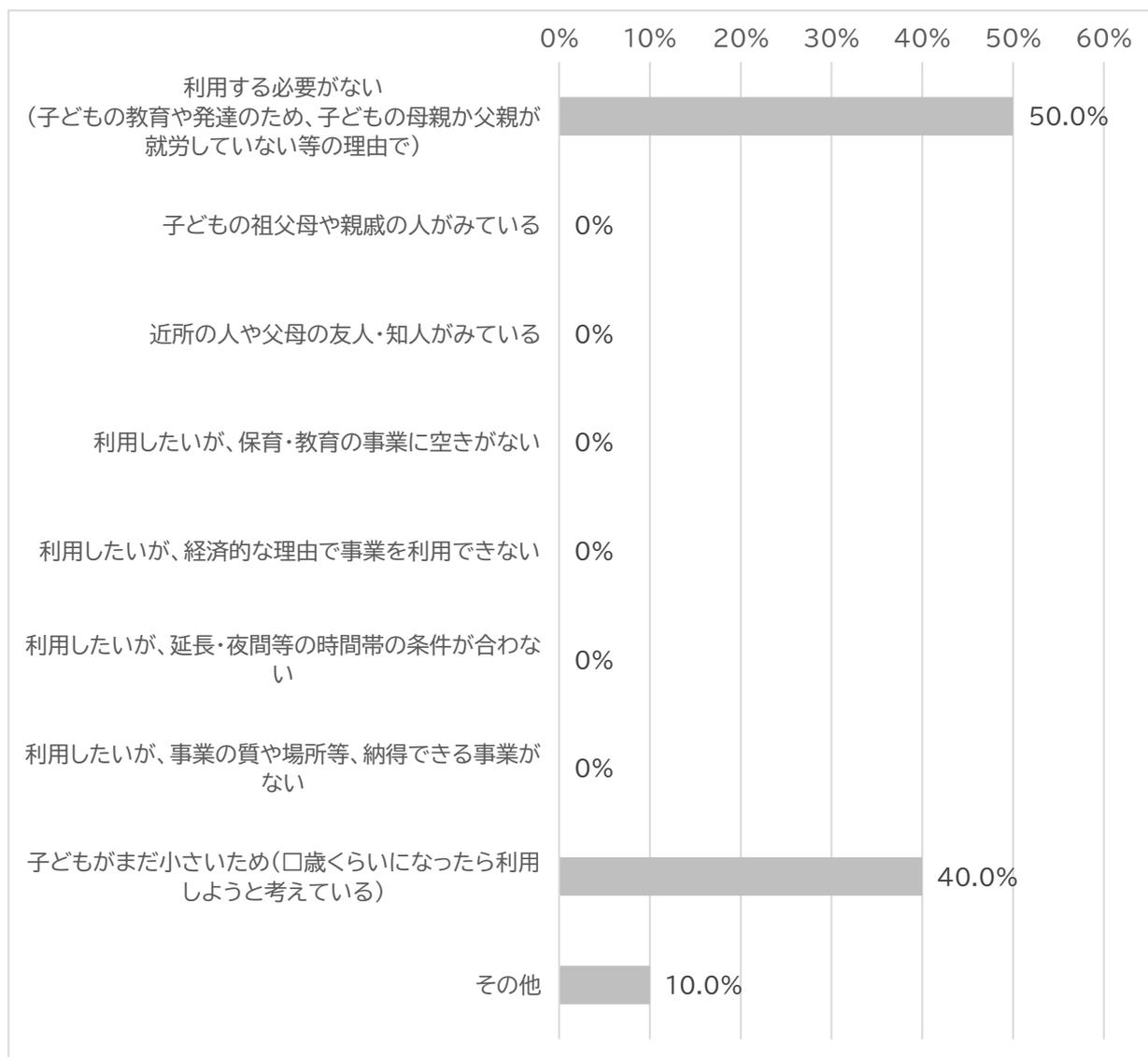
### 問 10-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所(N=57)

「町内」が 96.5%となっています。



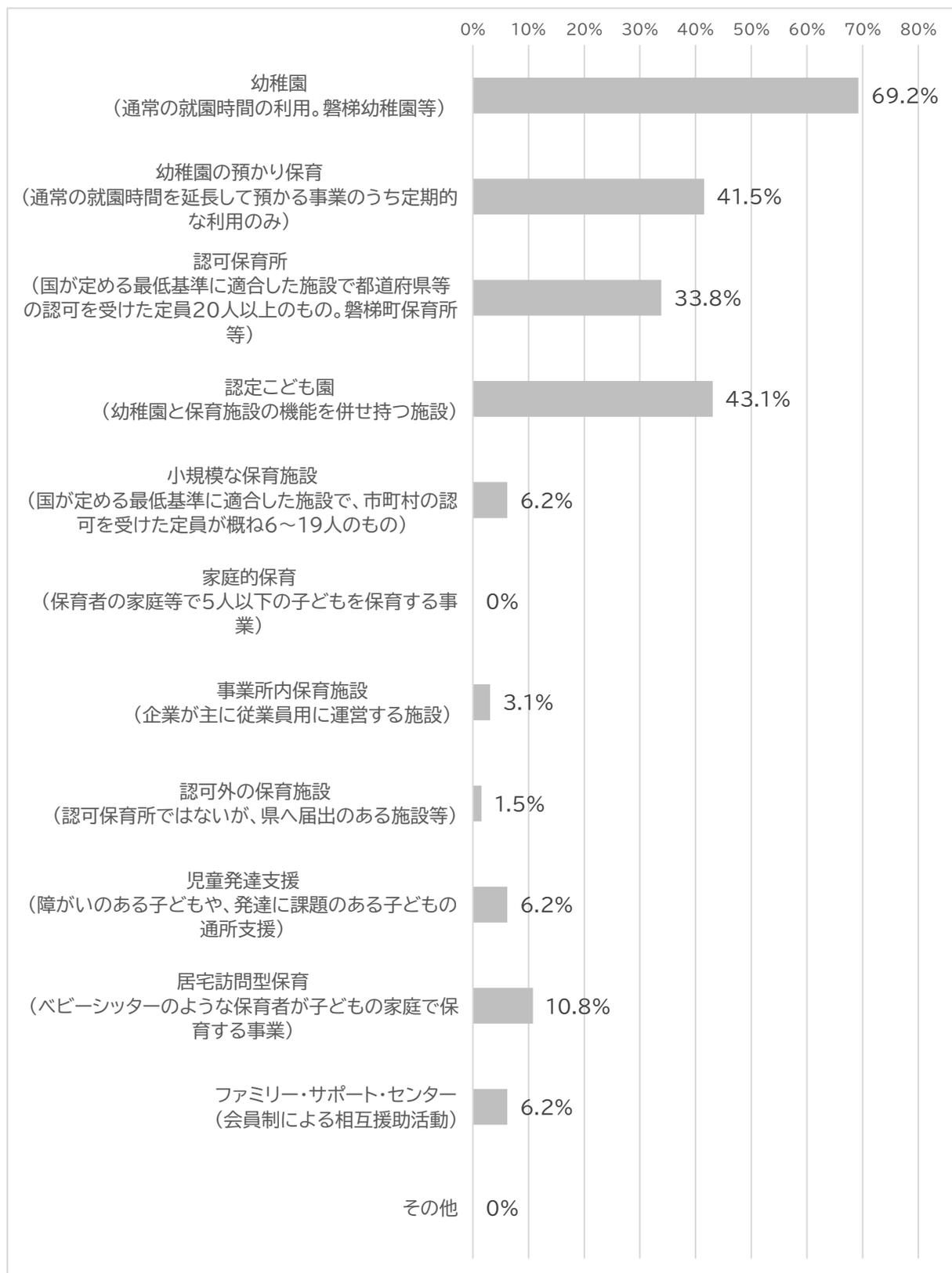
### 問 10-4 教育・保育事業を利用していない理由(N=10)

「利用する必要がない」が 50.0%と最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため(□歳くらいになったら利用しようと考えている)」が 40.0%となっています。利用を希望する子どもの年齢は「1歳」が最も多い回答でした。



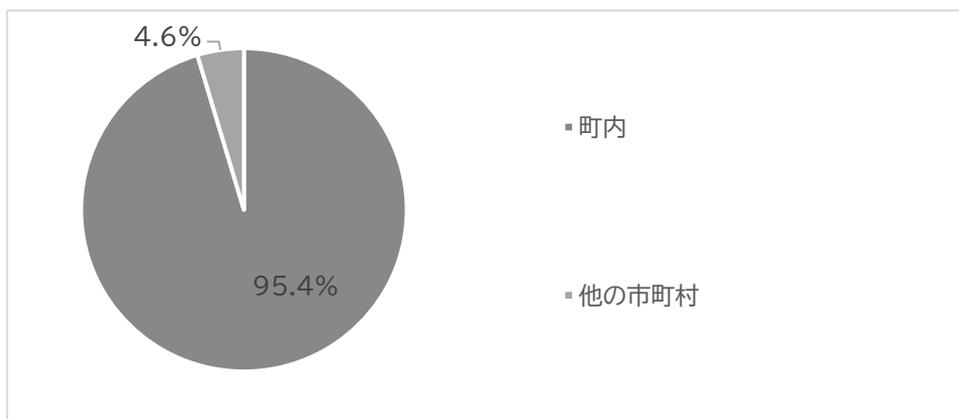
問11 「定期的に」利用したい平日の教育・保育事業(N=65)

「幼稚園(通常の就園時間の利用。警梯幼稚園等)」が69.2%と最も高く、次いで「認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)」が43.1%となっています。



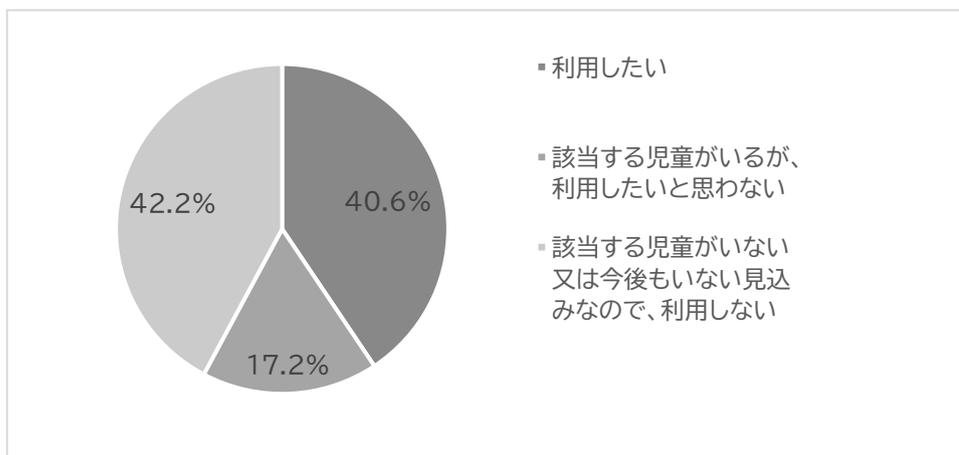
### 問 11-1 教育・保育事業を利用したい場所(N=65)

「町内」が 95.4%となっています。



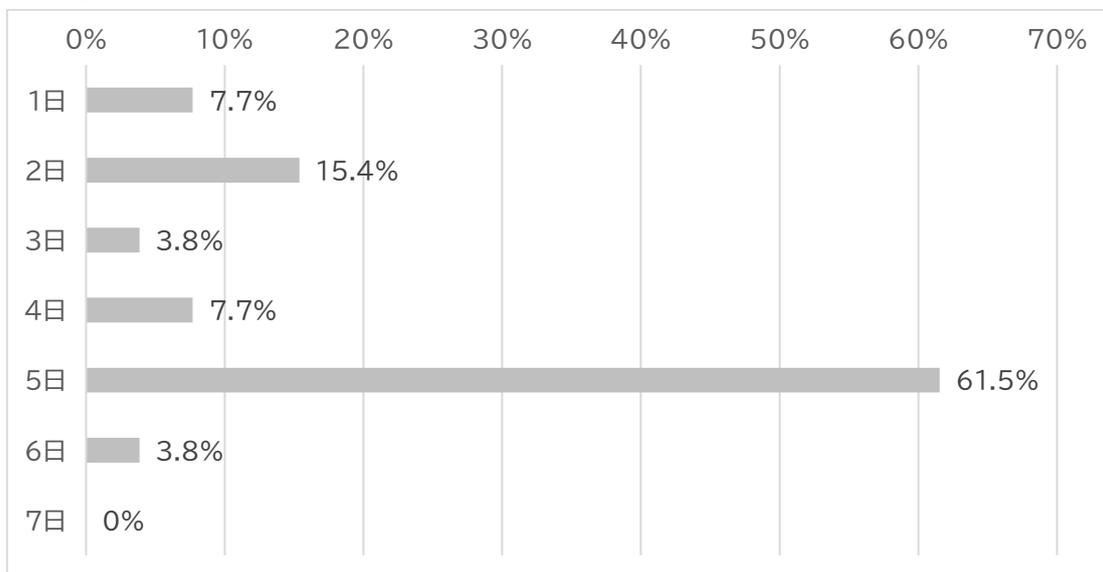
### 問12 「こども誰でも通園制度(仮称)」(下記※参照)が創設された場合の利用希望(N=64)

「該当する児童がいない又は今後もない見込みなので、利用しない」が 42.2%と最も高く、「利用したい」が 40.6%となりました。



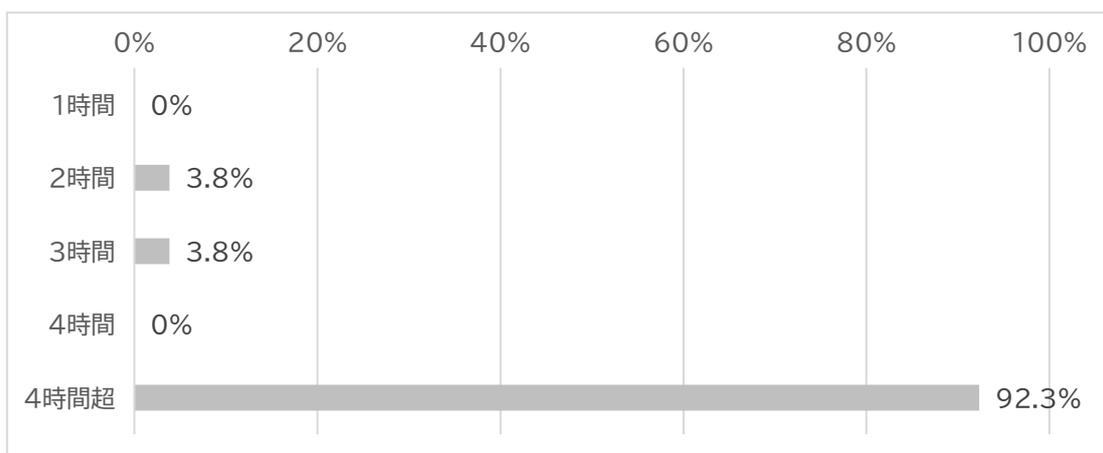
### ① 1週あたりの利用希望日数(N=26)

「5日」が 61.5%と最も高くなっています。



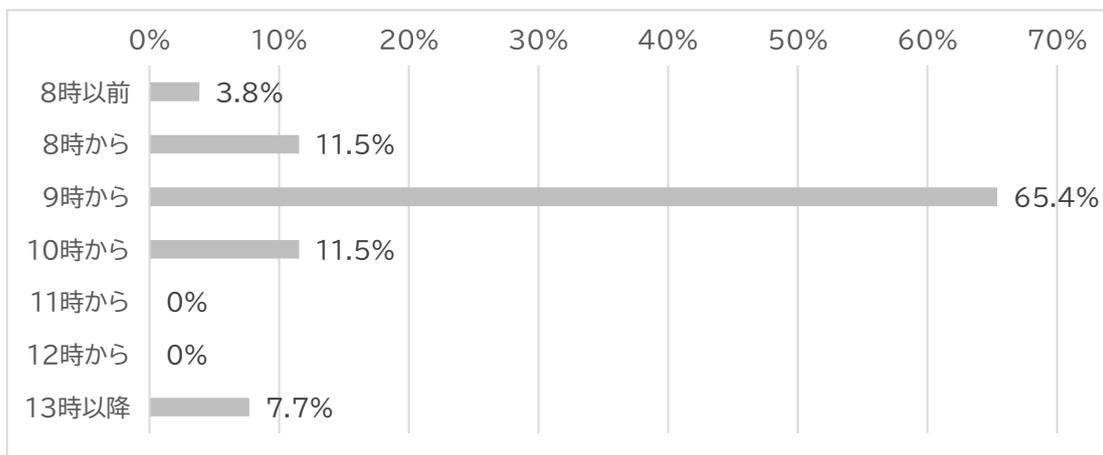
### ② 1日あたりの利用希望時間(N=26)

「4時間超」が 92.3%と最も高くなっています。



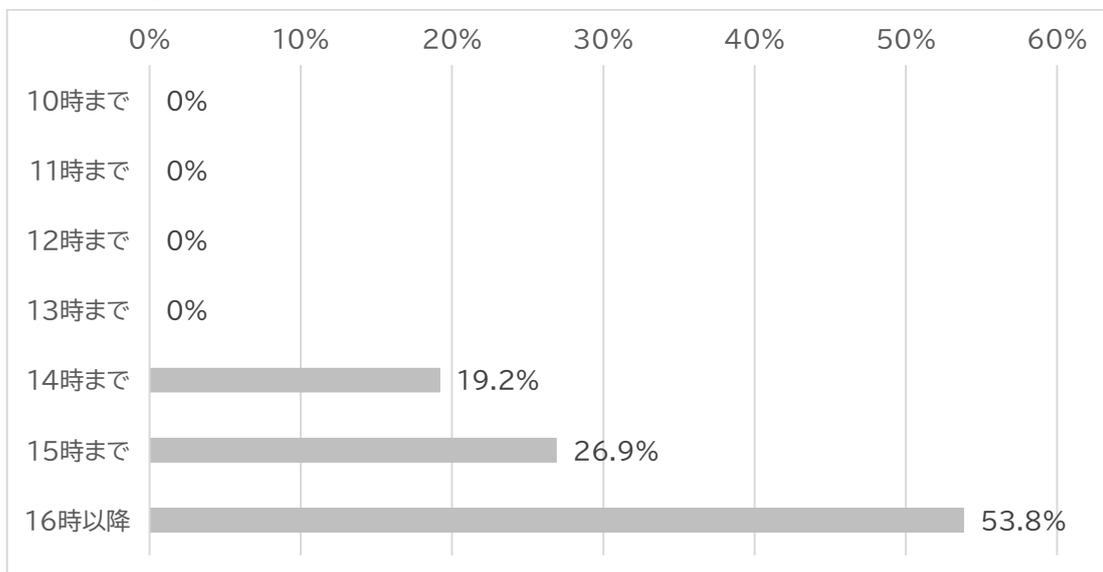
### ③ 利用開始希望時間(N=26)

「9時から」が 65.4%と最も高くなっています。



### ④ 利用終了希望時間(N=26)

「16時以降」が 53.8%と最も高くなっています。



## 5.子どもの病気の際の対応について

問13 この1年間に、子どもの病気やケガで教育・保育事業が利用できなかったことの有無  
(N=56)

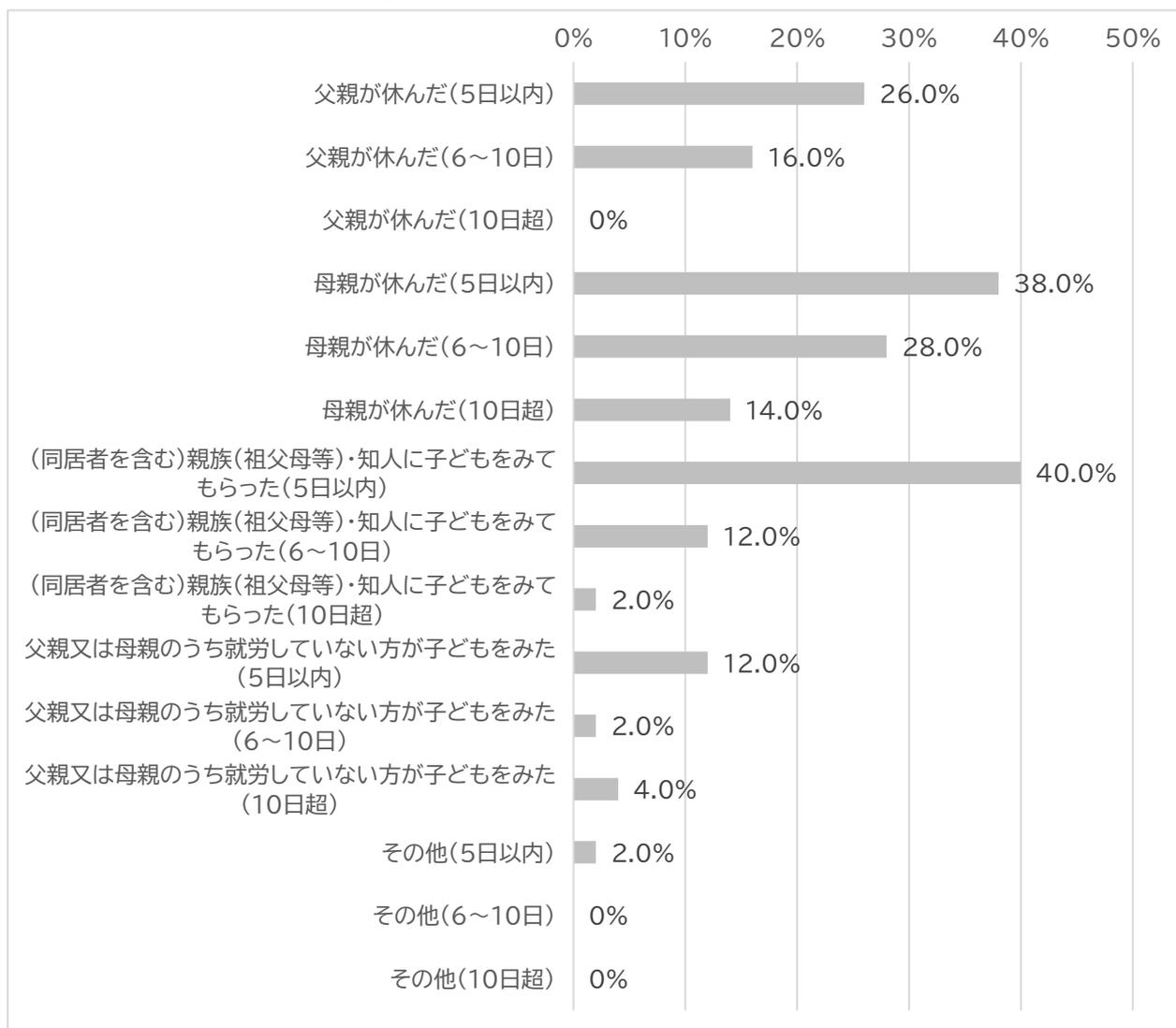
「あった」が 89.3%となっています。



問 13-1 教育・保育の事業が利用できなかった場合の対処方法(N=50)

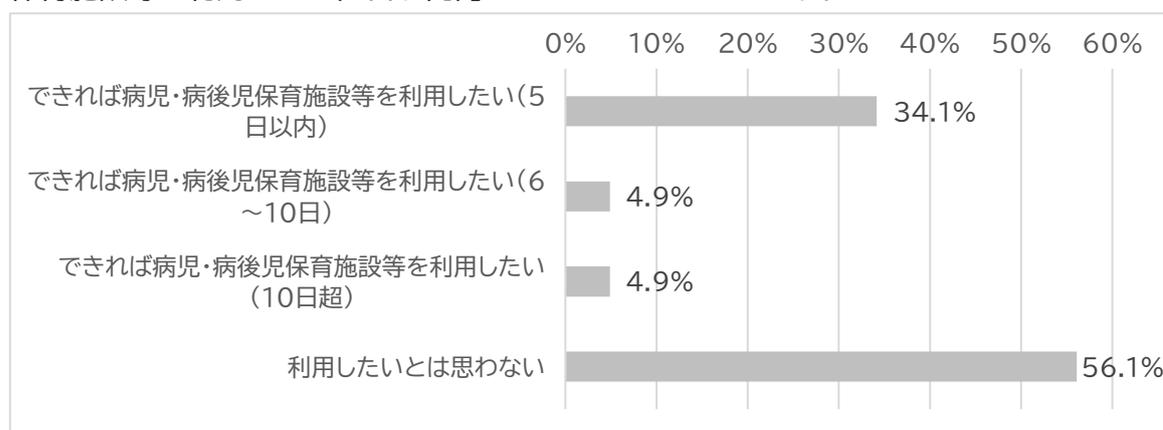
「(同居者を含む)親族(祖父母等)・知人に子どもをみてもらった(5日以内)」が 40.0%と最も高く、次いで「母親が休んだ(5日以内)」が 38.0%となっています。

また「その他」として、仕事に連れていった等の回答がありました。



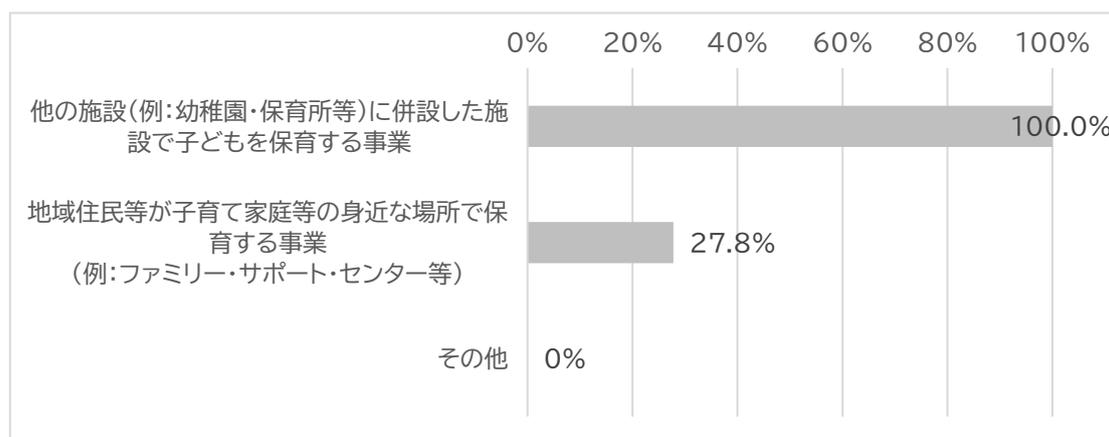
**問 13-2 「親が休んだ」場合、「病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったか (N=41)**

「利用したいとは思わない」が 56.1%と最も高く、次いで「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい(5日以内)」が 34.1%となっています。



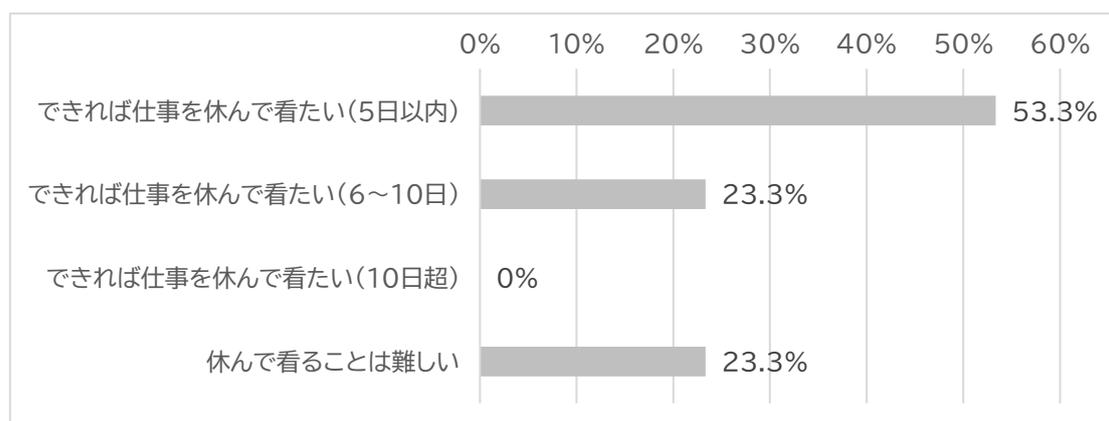
**問 13-3 子どもを預ける場合、いずれの事業形態が望ましいか(N=18)**

「他の施設(例:幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業」が 100%と最も高くなっています。



**問 13-4 「親が休んだ」以外の対処をした場合、「父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思ったか(N=30)**

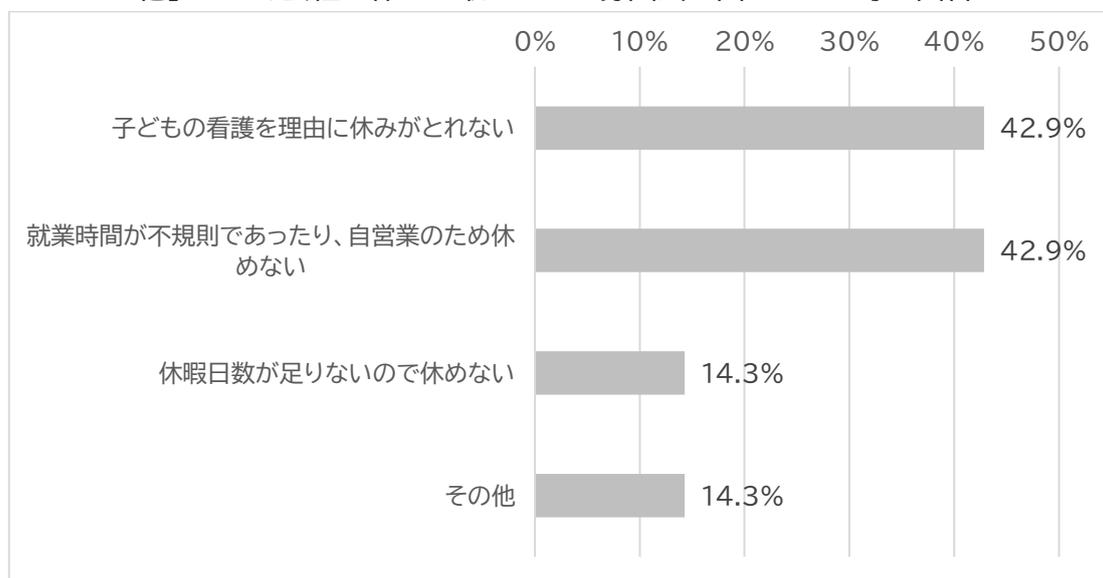
「できれば仕事を休んで看たい(5日以内)」が 53.3%と最も高くなっています。



### 問 13-5 「休んで見ることは難しい」理由(N=7)

「子どもの看護を理由に休みがとれない」と「就業時間が不規則であったり、自営業のため休めない」が 42.9%と最も高くなっています。

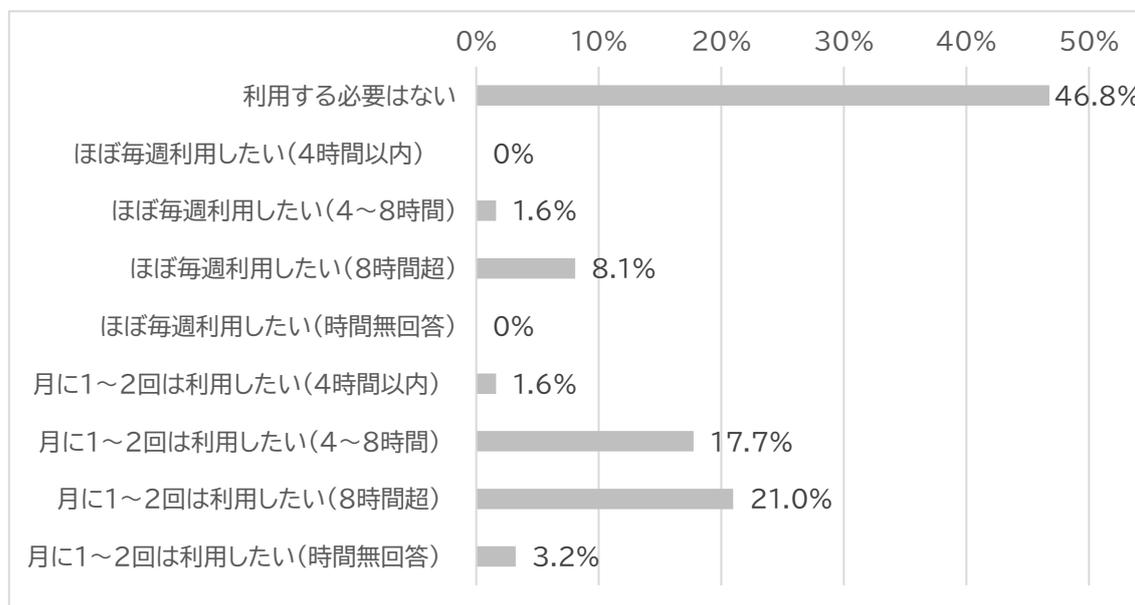
また「その他」として、会社が休みを取りづらい雰囲気を出している等の回答がありました。



## 6.土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望

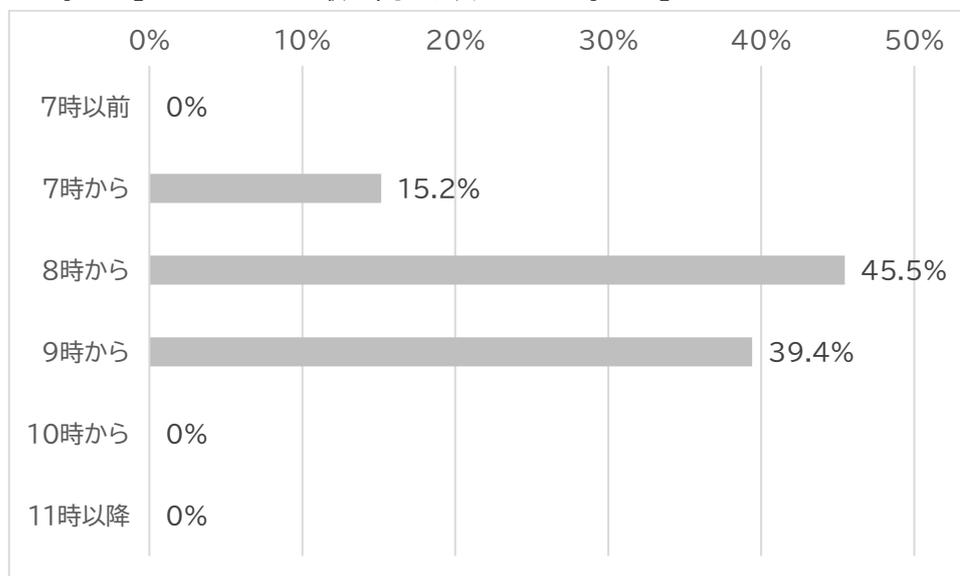
### 問14 (1)① 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望(N=62)

「利用する必要はない」が46.8%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい(8時間超)」が21.0%となっています。



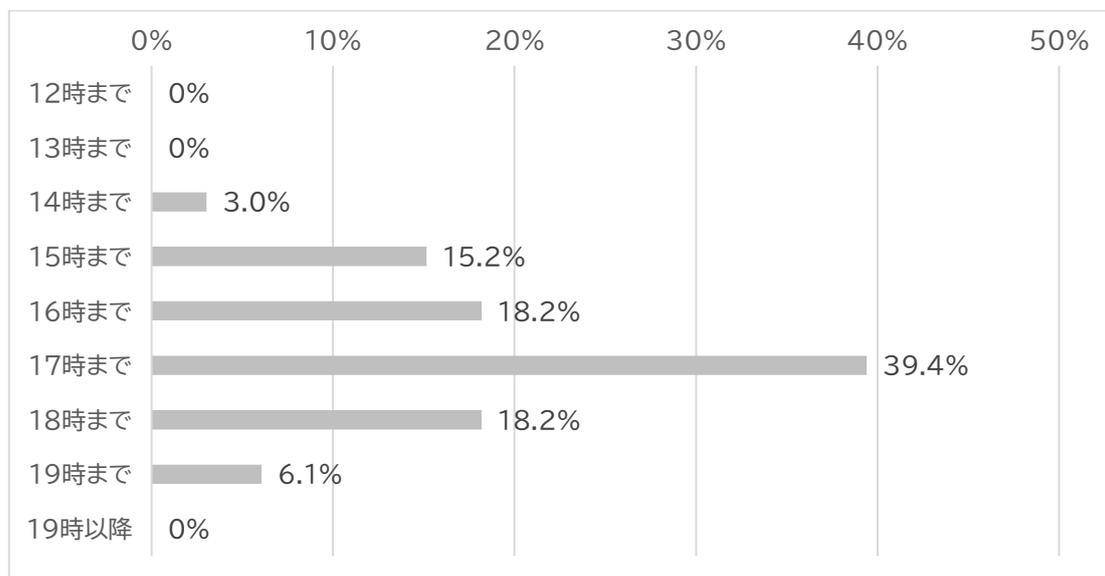
### (1)② 利用開始希望時間(N=33)

「8時から」が45.5%と最も高く、次いで「9時から」が39.4%となっています。



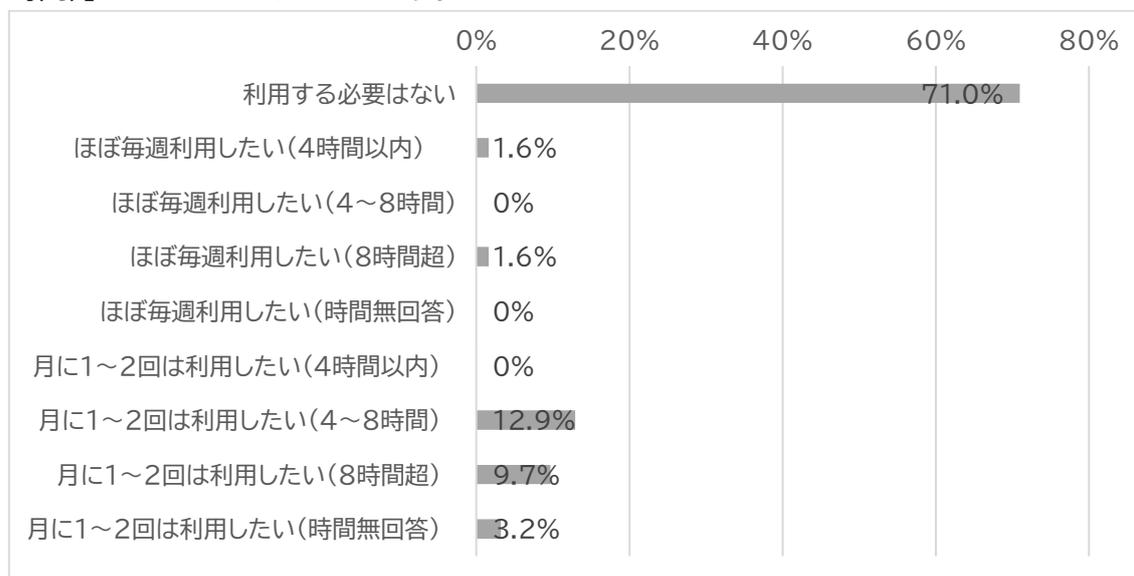
### (1)③ 利用終了希望時間(N=33)

「17時まで」が 39.4%と最も高く、次いで「16時まで」と「18時まで」が 18.2%となっています。



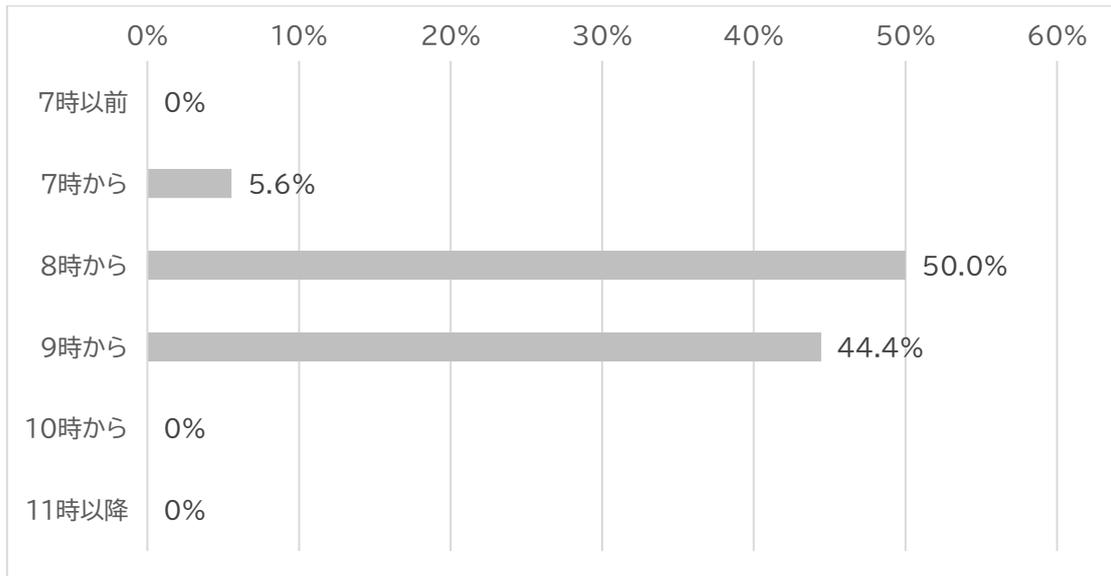
### (2)① 日曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望(N=62)

「利用する必要はない」が 71.0%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい(4～8時間)」が 12.9%となっています。



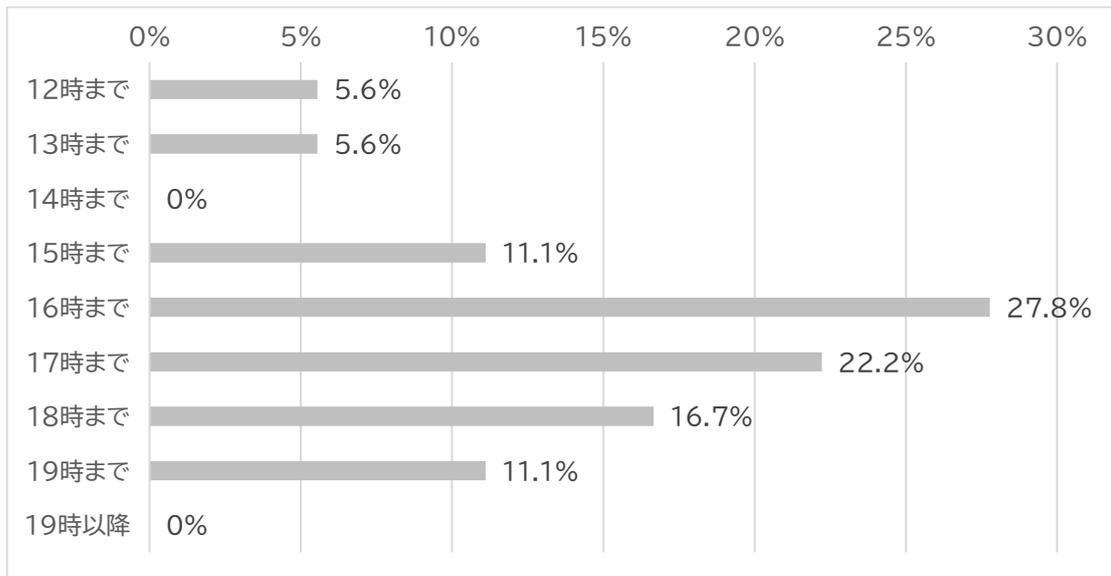
### (2)② 利用開始希望時間(N=18)

「8時から」が 50.0%と最も高く、次いで「9時から」が 44.4%となっています。



### (2)③ 利用終了希望時間(N=18)

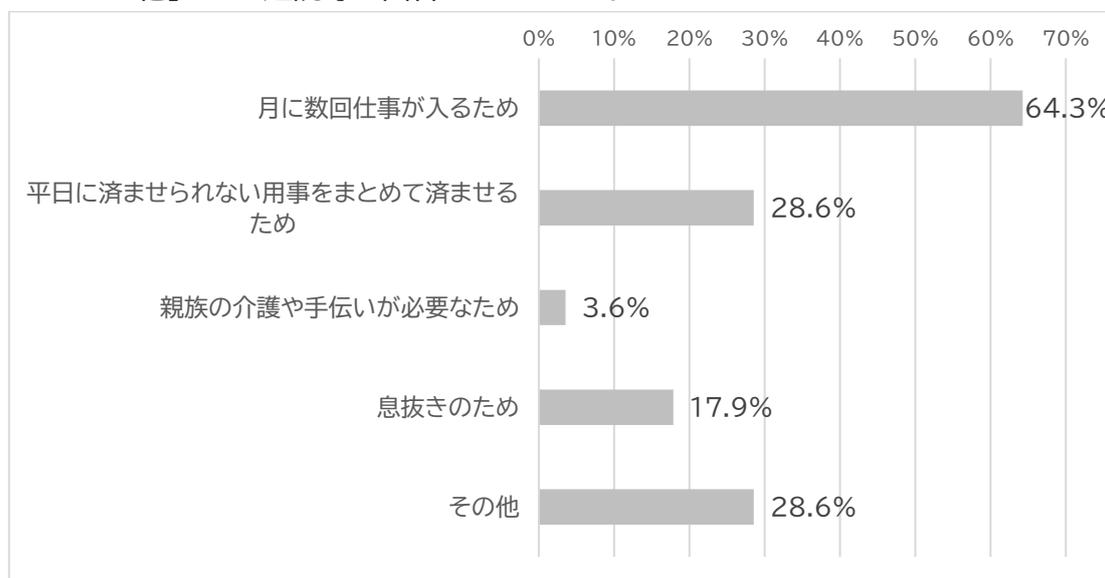
「16時まで」が 27.8%と最も高く、次いで「17時まで」が 22.2%となっています。



#### 問 14-1「月に1~2回は利用したい」場合の理由(N=28)

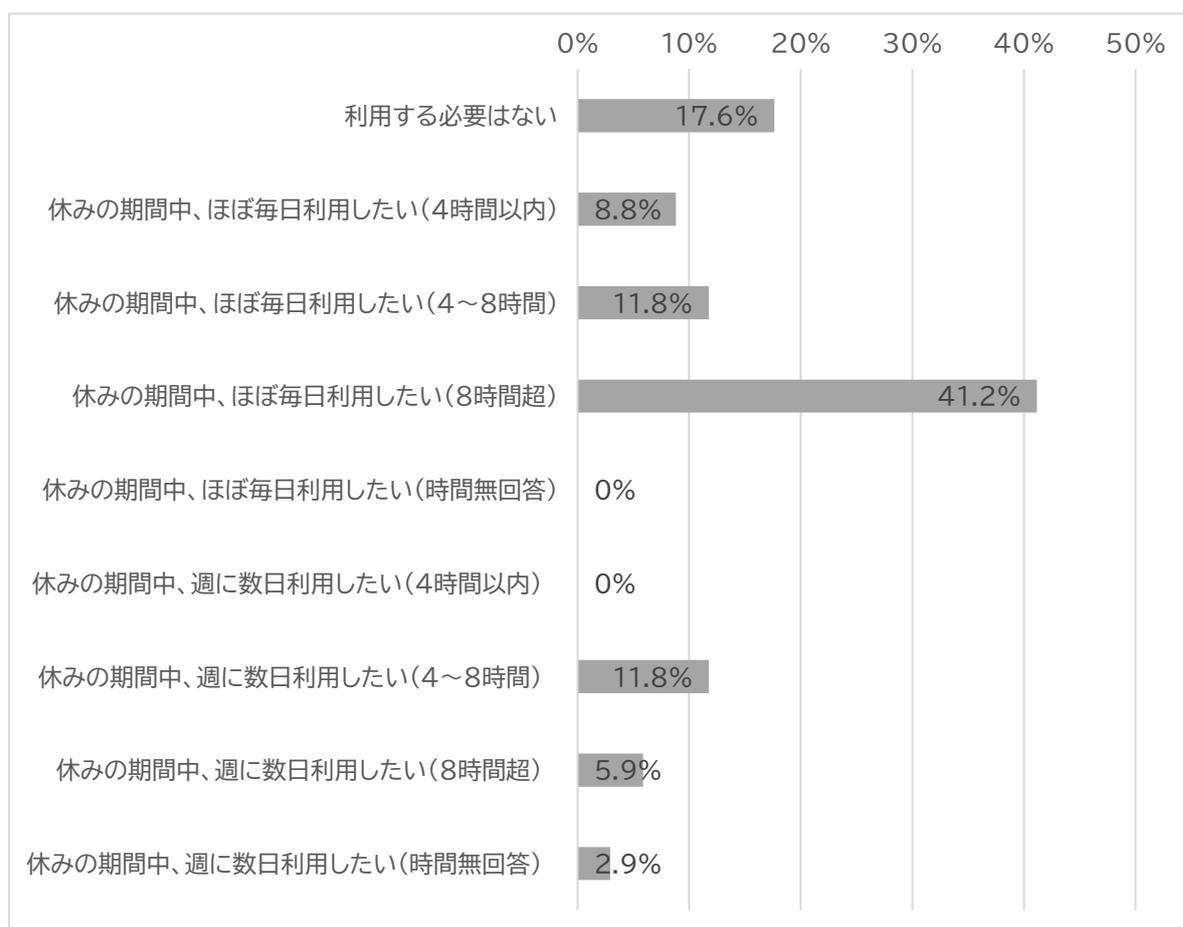
「月に数回仕事が入るため」が 64.3%と最も高くなっており、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」と「その他」が 28.6%となっています。

また「その他」として通院等の回答がありました。



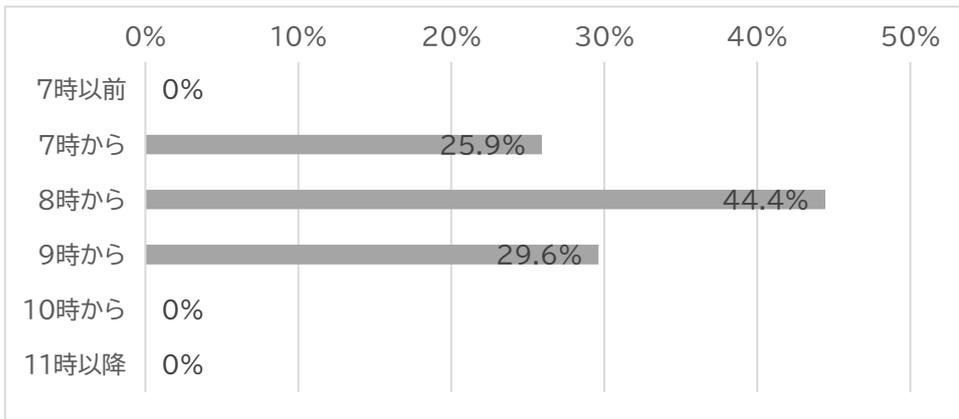
#### 問15 夏休み・冬休み等の長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望(N=34)

「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい(8時間超)」が 41.2%と最も高く、次いで「利用する必要はない」が 17.6%となっています。



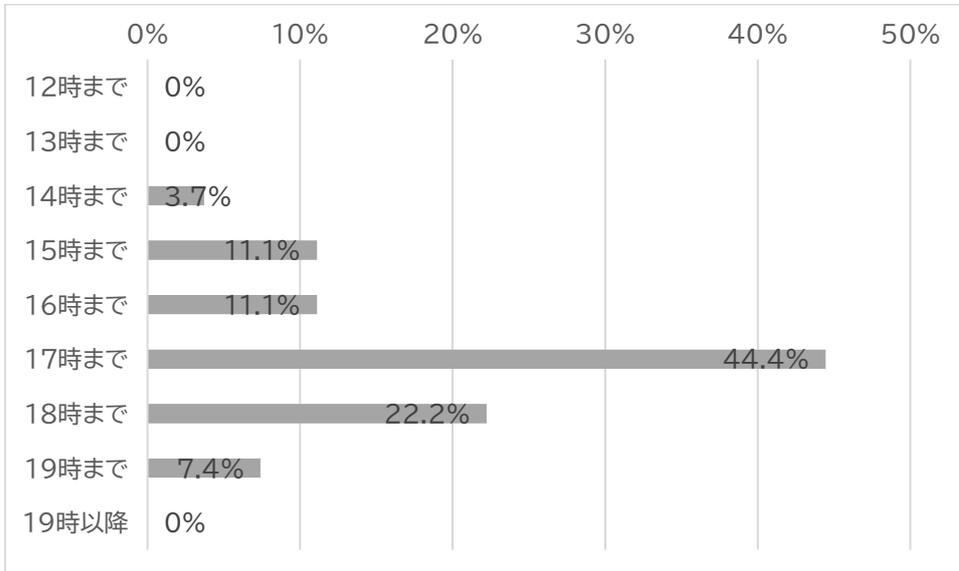
### ①利用開始希望時間(N=27)

「8時から」が44.4%と最も高く、次いで「9時から」が29.6%となっています。



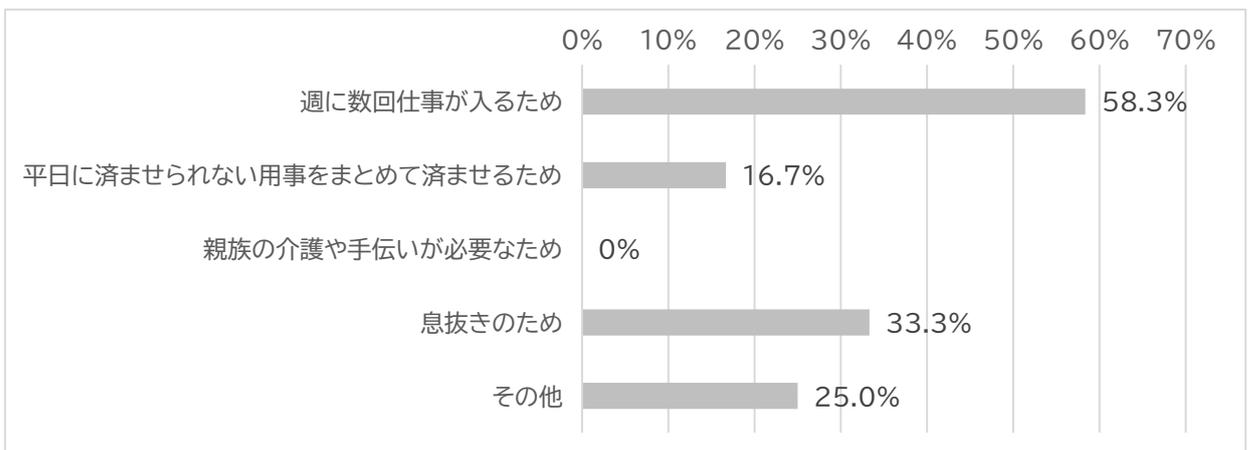
### ②利用終了希望時間(N=27)

「17時まで」が44.4%と最も高く、次いで「18時まで」が22.2%となっています。



### 問 15-1 週に数日利用したい理由(N=12)

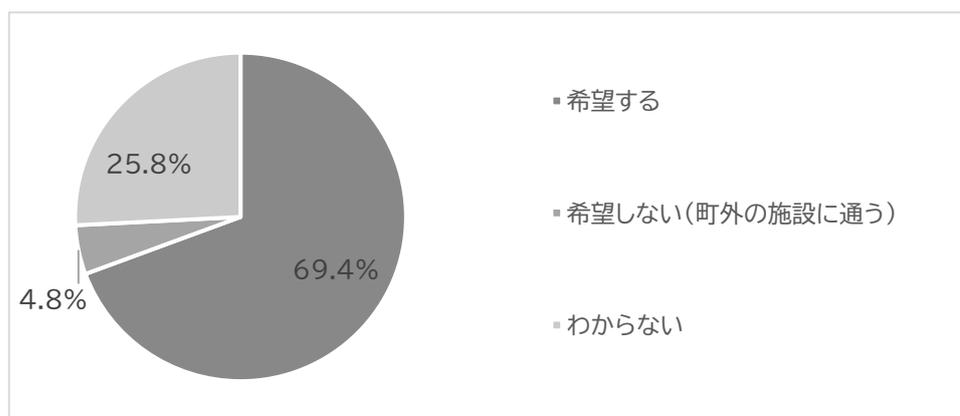
「週に数回仕事が入るため」が58.3%と最も高く、次いで「息抜きのため」が33.3%となっています。



## 7.認定こども園について

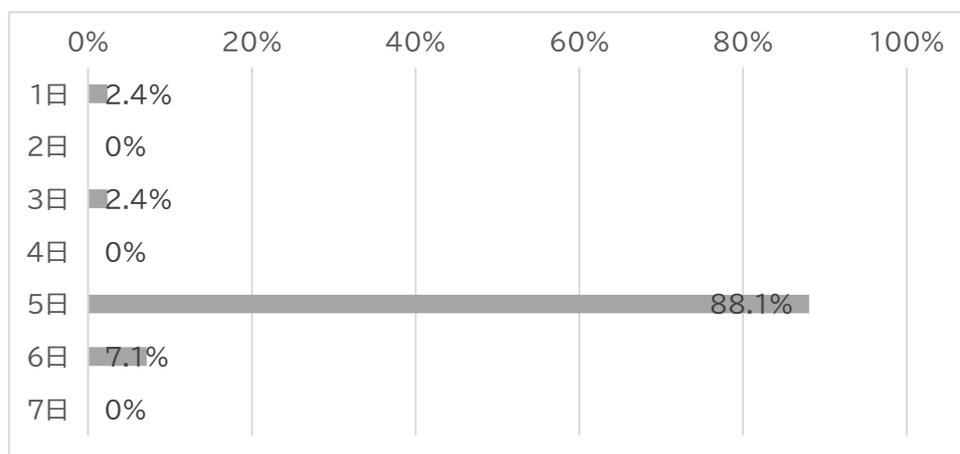
### 問16 認定こども園が開園した場合の入園希望の有無(N=62)

「希望する」が69.4%と最も高く、次いで「わからない」が25.8%となっています。



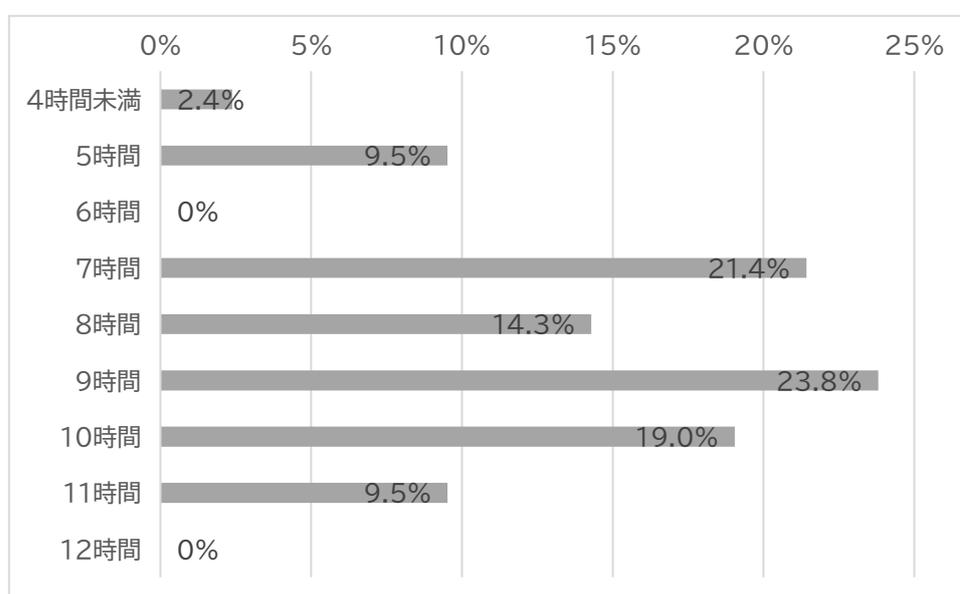
### 問17 ①認定こども園の1週間当たりの利用希望日数(N=42)

「5日」が88.1%と最も高くなっています。



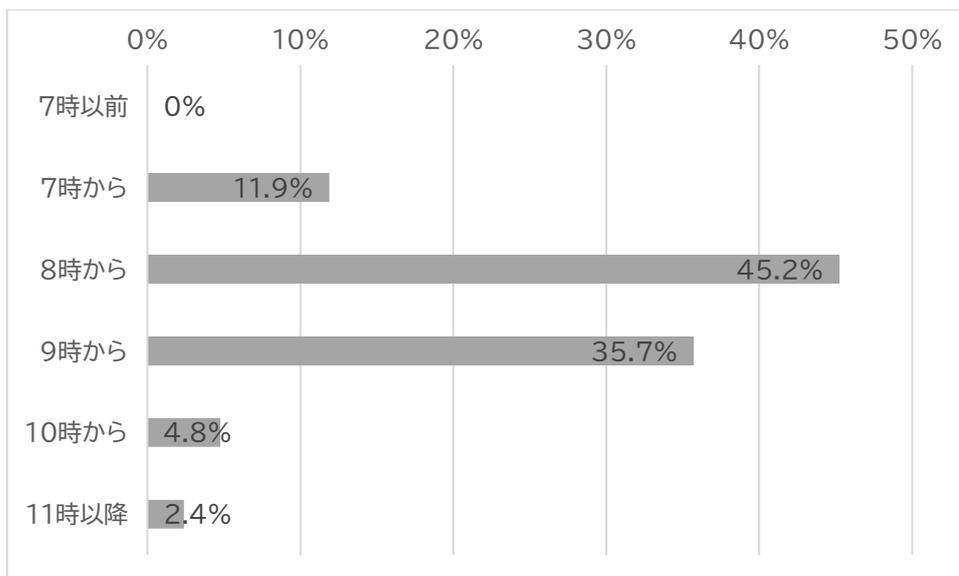
### ②1日当たりの利用希望時間(N=42)

「9時間」が23.8%と最も高く、次いで「7時間」が21.4%となっています。



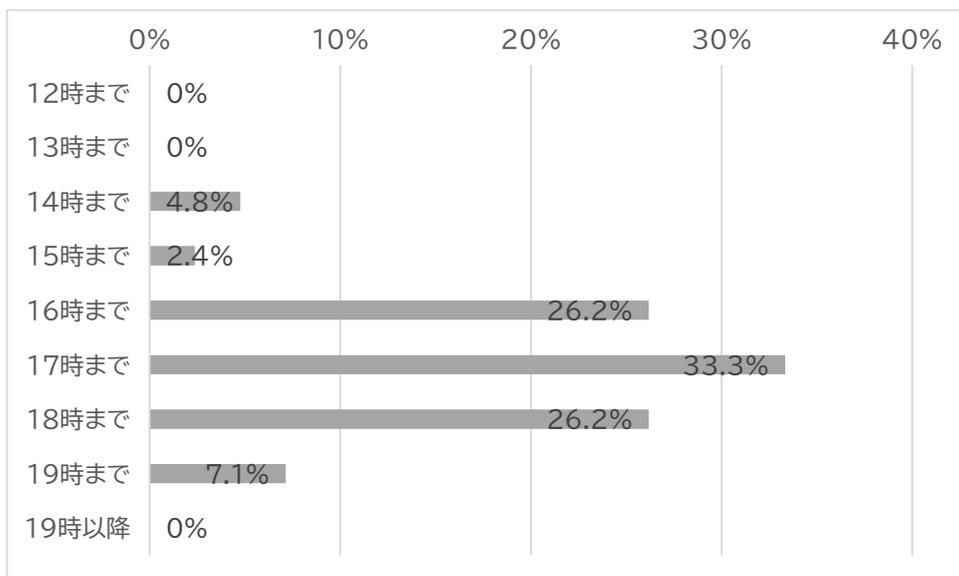
### ③利用開始時間(希望)(N=42)

「8時から」が45.2%と最も高く、次いで「9時から」が35.7%となっています。



### ④利用終了時間(希望)(N=42)

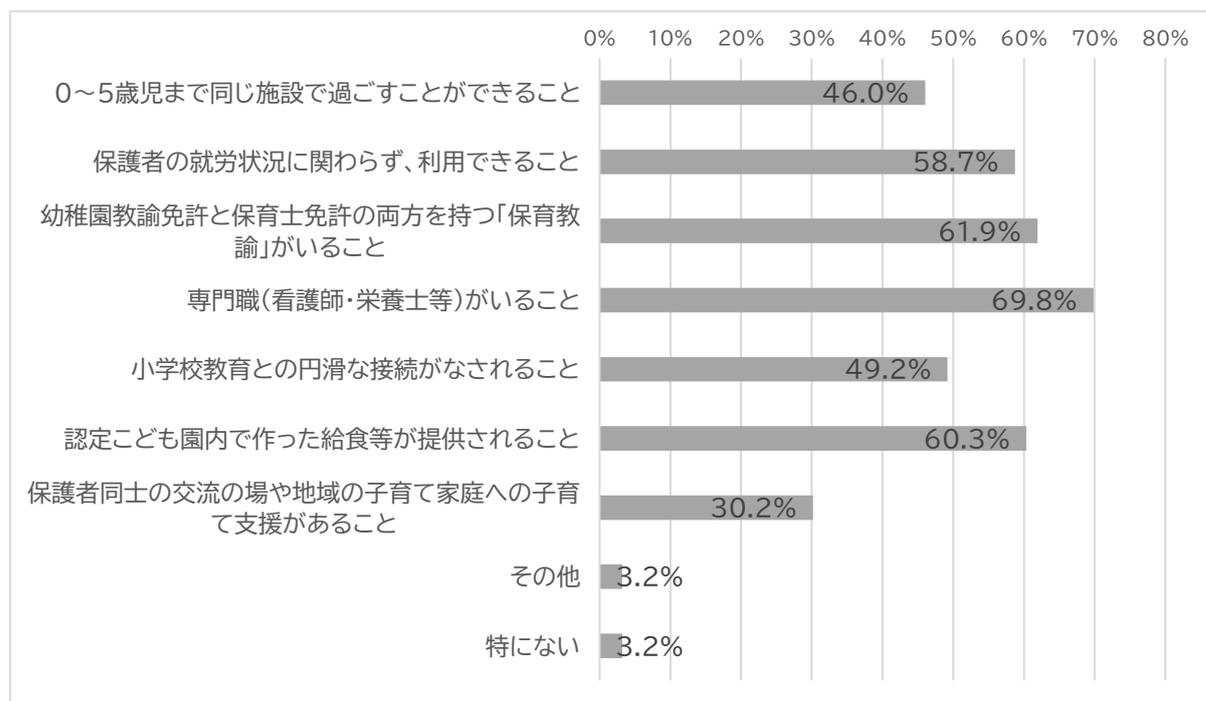
「17時まで」が33.3%と最も高く、次いで「16時まで」と「18時まで」が26.2%となっています。



### 問18 認定こども園に期待すること(N=63)

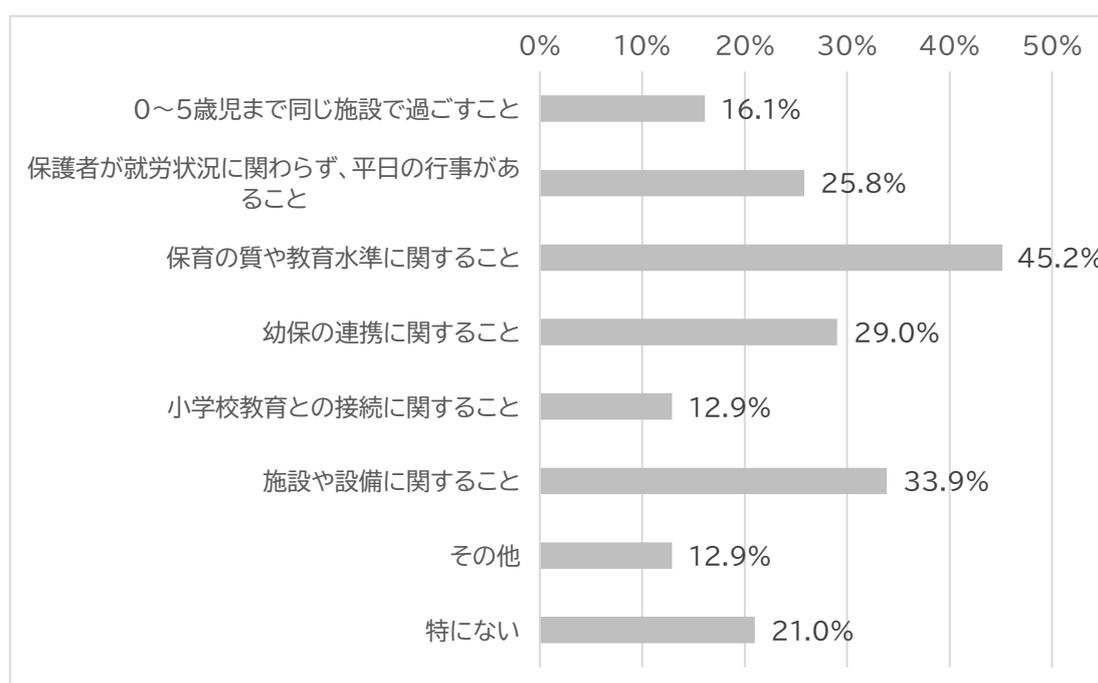
「専門職(看護師・栄養士等)がいること」が69.8%と最も高く、次いで「幼稚園教諭免許と保育士免許の両方を持つ「保育教諭」がいること」が61.9%、「認定こども園内で作った給食等が提供されること」が60.3%となっています。

また「その他」として、地域住民との交流の場になること等の回答がありました。



### 問19 認定こども園の不安なこと(N=62)

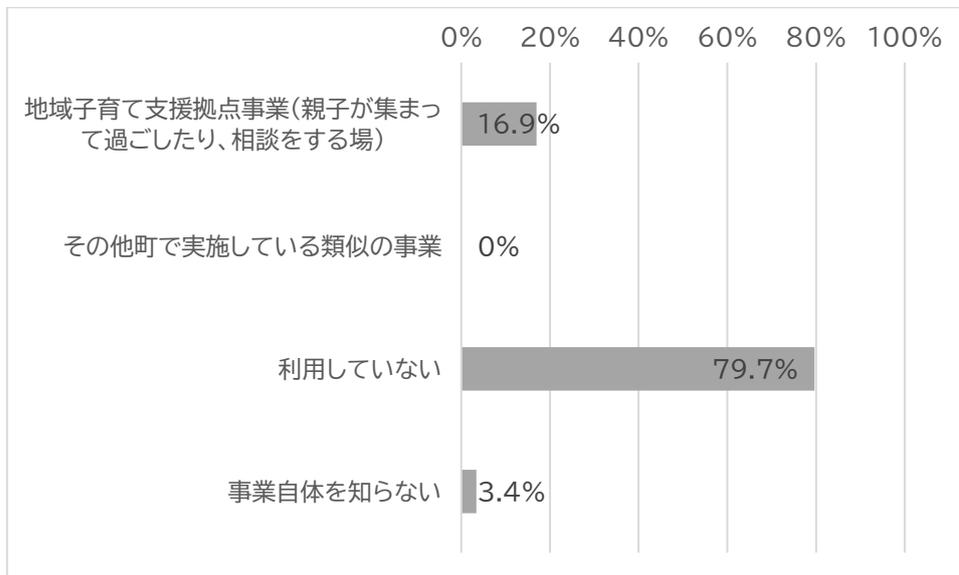
「保育の質や教育水準に関すること」が45.2%と最も高く、次いで「施設や設備に関すること」が33.9%となっています。また「その他」として、教諭同士の連携や工事中の活動の制限と安全性等の回答がありました。



## 8.地域の子育て支援事業の利用状況について

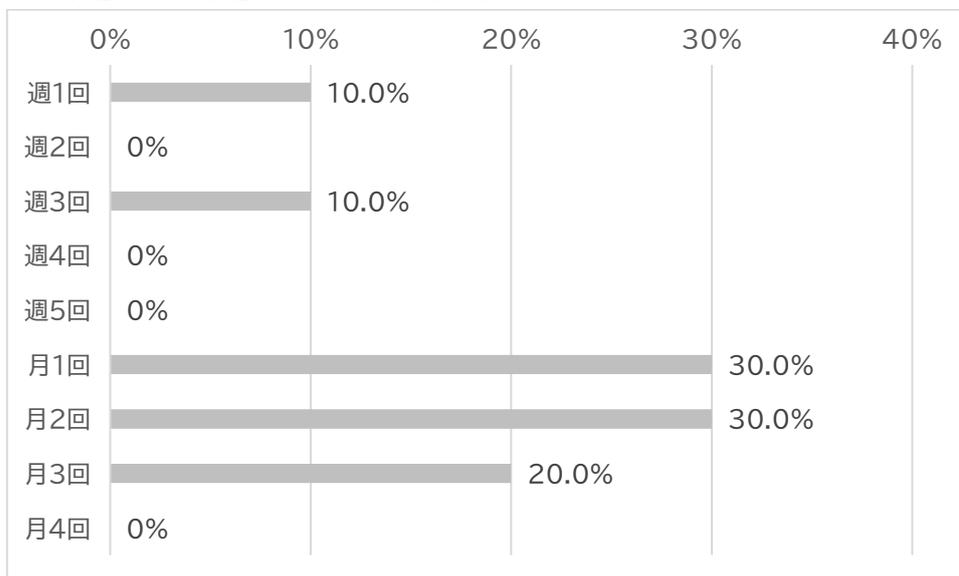
### 問20 地域子育て支援拠点事業利用状況について(N=61)

「利用していない」が79.7%と最も高く、次いで「地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をする場)」が16.9%となっています。



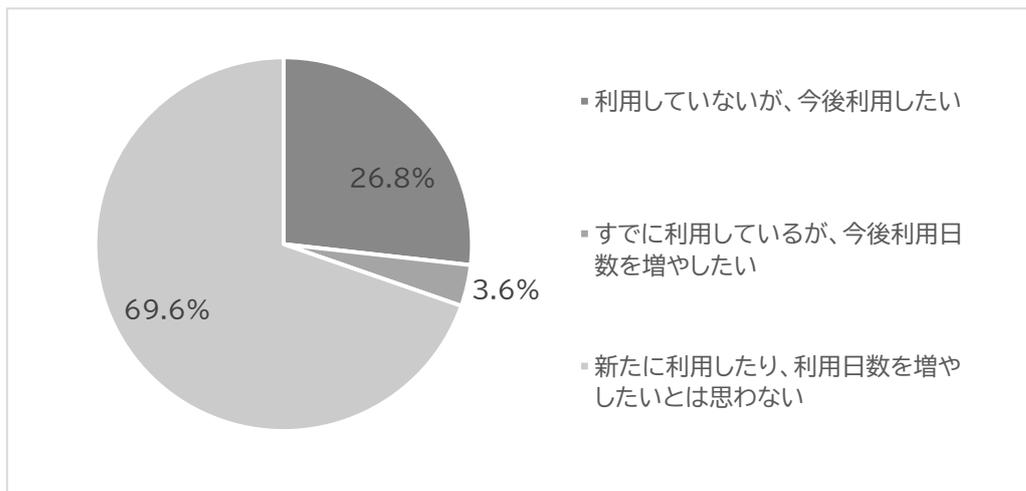
### ①地域子育て支援拠点事業の利用回数(頻度)(N=10)

「月1回」と「月2回」が30.0%と最も高くなっています。



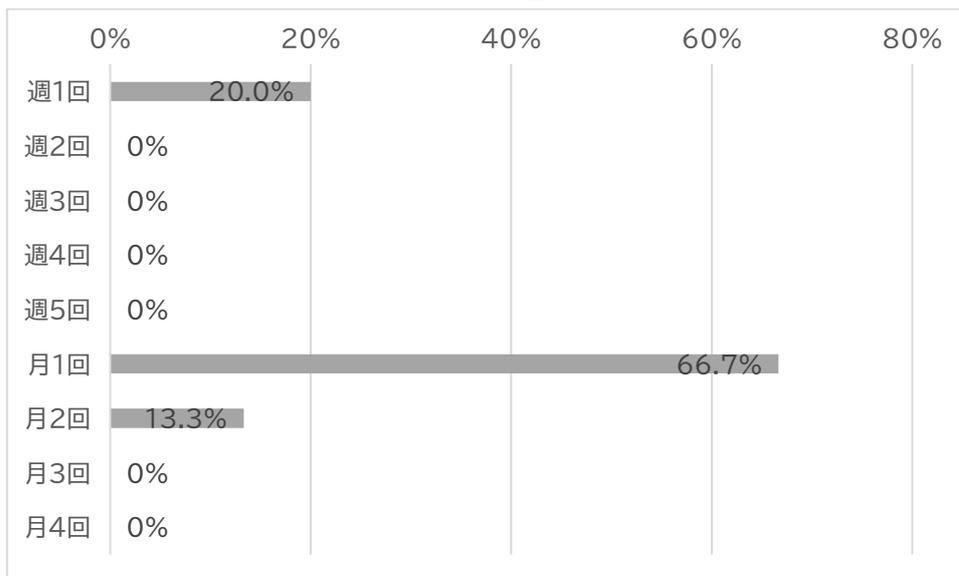
**問21 地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望について(N=56)**

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 69.6%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が 26.8%となっています。



**①地域子育て支援拠点事業の希望利用回数(頻度)(N=15)**

「月1回」が 66.7%と最も高く、次いで「週1回」が 20.0%となっています。



問22 知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うもの  
各事業ともに知ってはいるものの「これまでに利用したことがない」の割合が高くなりました。  
また「今後必要があれば利用したい」もほとんどの事業で高い割合となっています。

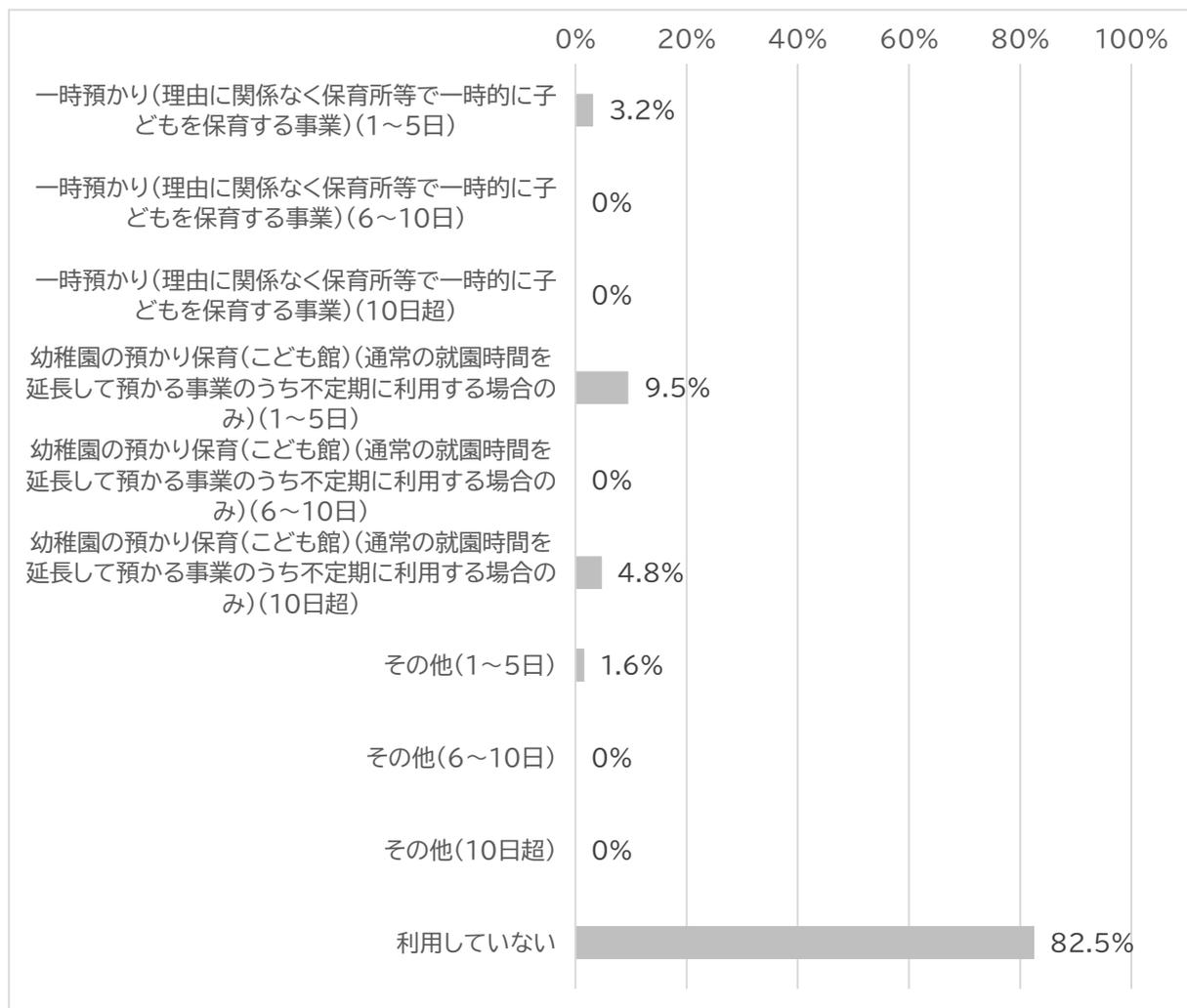
事業名 (N=A,B,C)	A		B		C	
	知っている	知らない	これまでに利用したことがある	これまでに利用したことがない	今後必要があれば利用したい	今後利用する必要はない
① 磐梯ネウボラセンター (妊娠・出産・子育ての相談窓口、キッズふれあいひろば) (N=61, 65, 61)	98.4%	1.6%	86.2%	13.8%	83.6%	16.4%
② 地域学校協働活動 (ほうかごあそぼーよ会等) (N=64,62,62)	32.8%	67.2%	19.4%	80.6%	83.9%	16.1%
③ まなびときばんだい (N=64,60,61)	50.0%	50.0%	10.0%	90.0%	86.9%	13.1%
④ ばんだいつ子クラブ (N=64,60,61)	42.2%	57.8%	8.3%	91.7%	82.0%	18.0%
⑤ 体調不良児支援事業 (N=64,60,62)	56.3%	43.8%	5.0%	95.0%	69.4%	30.6%
⑥ 子育て電話相談(保育所) (N=64,59,63)	20.3%	79.7%	0%	100%	46.0%	54.0%
⑦ 子育てガイドブック (町のホームページに掲載) (N=65,59,62)	53.8%	46.2%	18.6%	81.4%	69.4%	30.6%
⑧ 磐梯弘報、町のホームページ (子育て関連) (N=62,58,59)	74.2%	25.8%	34.5%	65.5%	76.3%	23.7%
⑨ 生活保護、児童扶養手当、 就学援助 (N=65,59,61)	72.3%	27.7%	32.2%	67.8%	62.3%	37.7%
⑩ 障がい児相談支援・ 障がい福祉サービス (N=65,59,59)	53.8%	46.2%	11.9%	88.1%	57.6%	42.4%

## 9. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問23 日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業の有無(N=63)

「利用していない」が82.5%と最も高くなっています。

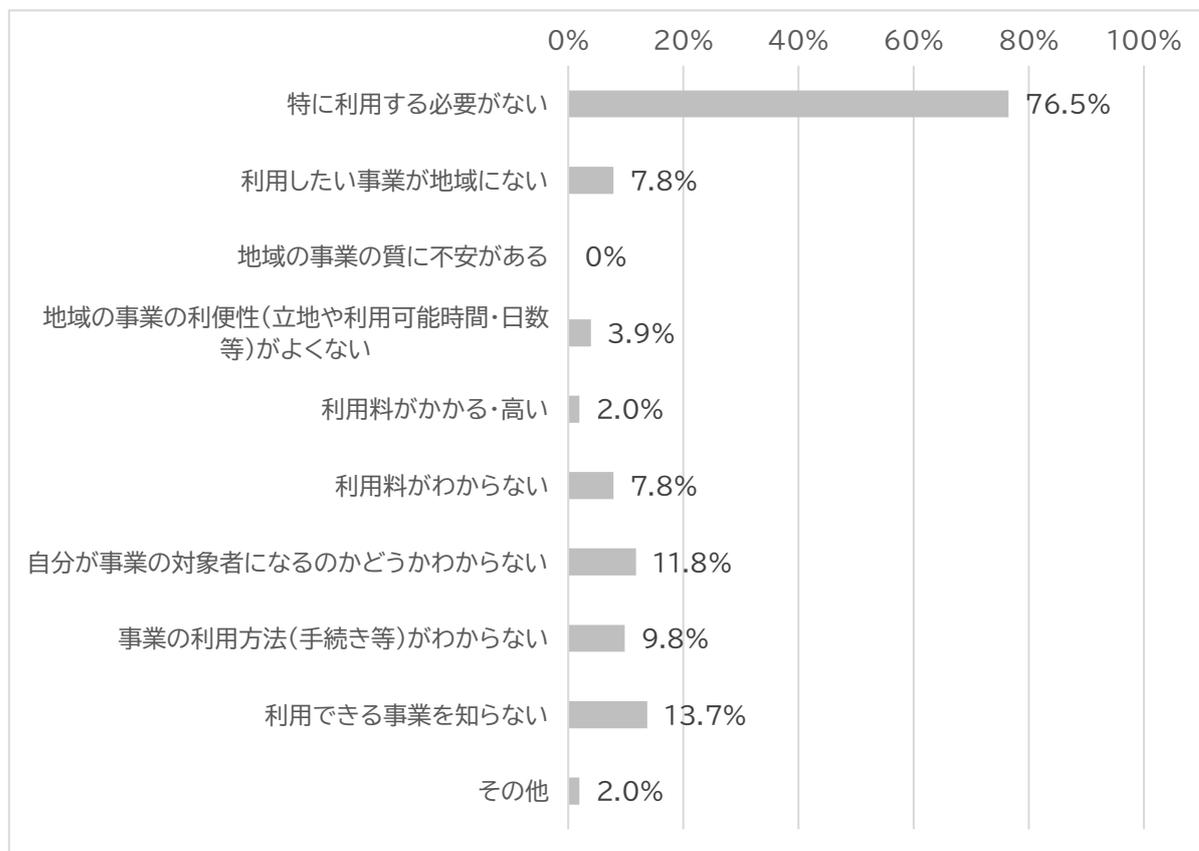
なお「ファミリー・サポート・センター」と「ベビーシッター」は回答がなかったため、表記を省略しています。



### 問 23-1 利用していない理由(N=51)

「特に利用する必要がない」が 76.5%と最も高くなっており、次いで「利用できる事業を知らない」が 13.7%となっています。

また「その他」には、近くの親族に預ける等の回答がありました。



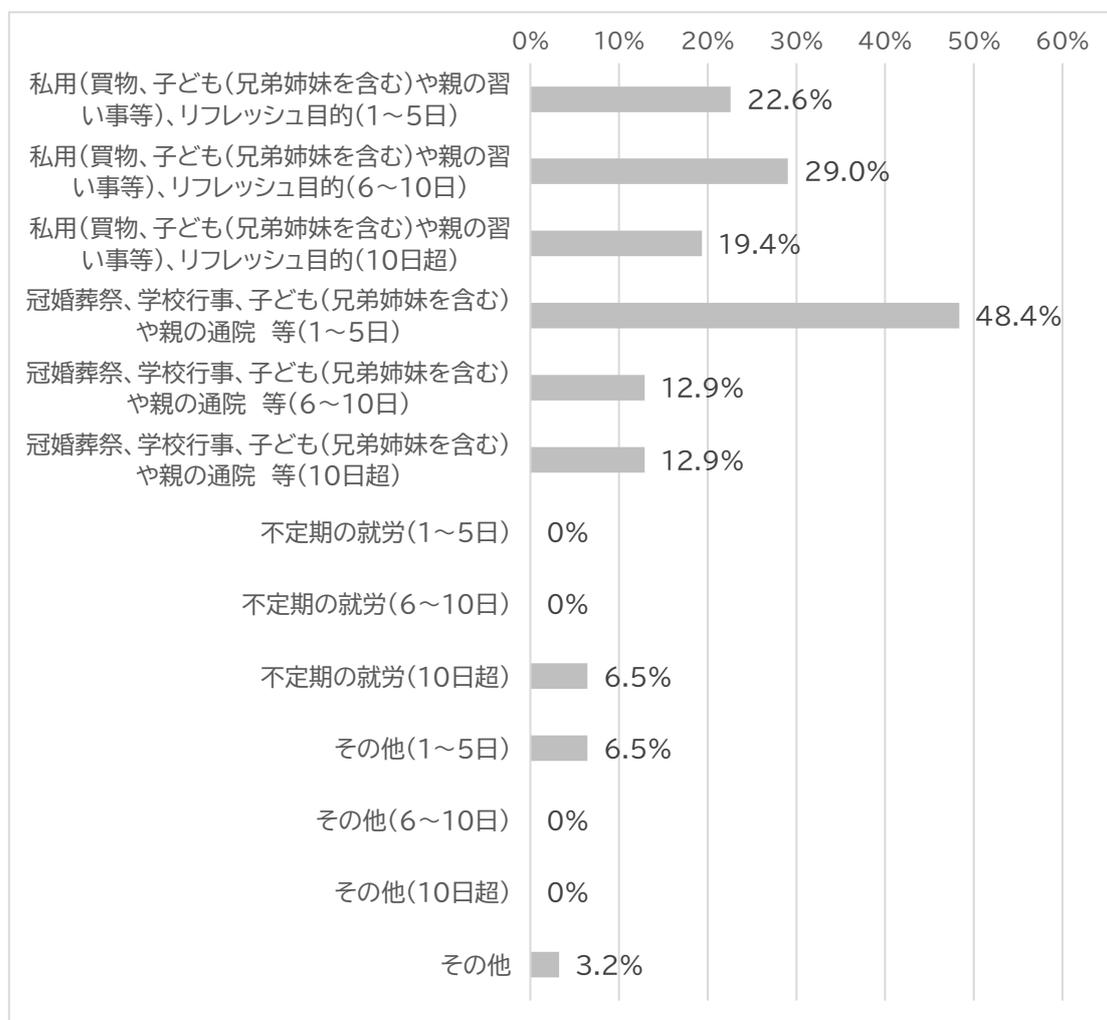
問24 私用、親の通院、不定期の就労等の目的での事業利用希望の有無(N=57)

「利用したい」が 52.6%となっています。

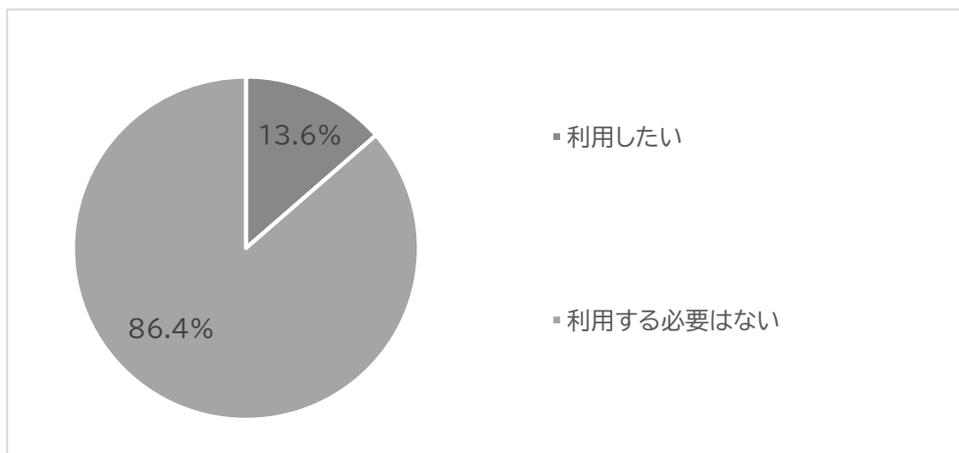


①事業利用希望理由(N=31)

「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等(1~5日)」が 48.4%と最も高く、次いで「私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的(6~10日)」が 29.0%となっています。



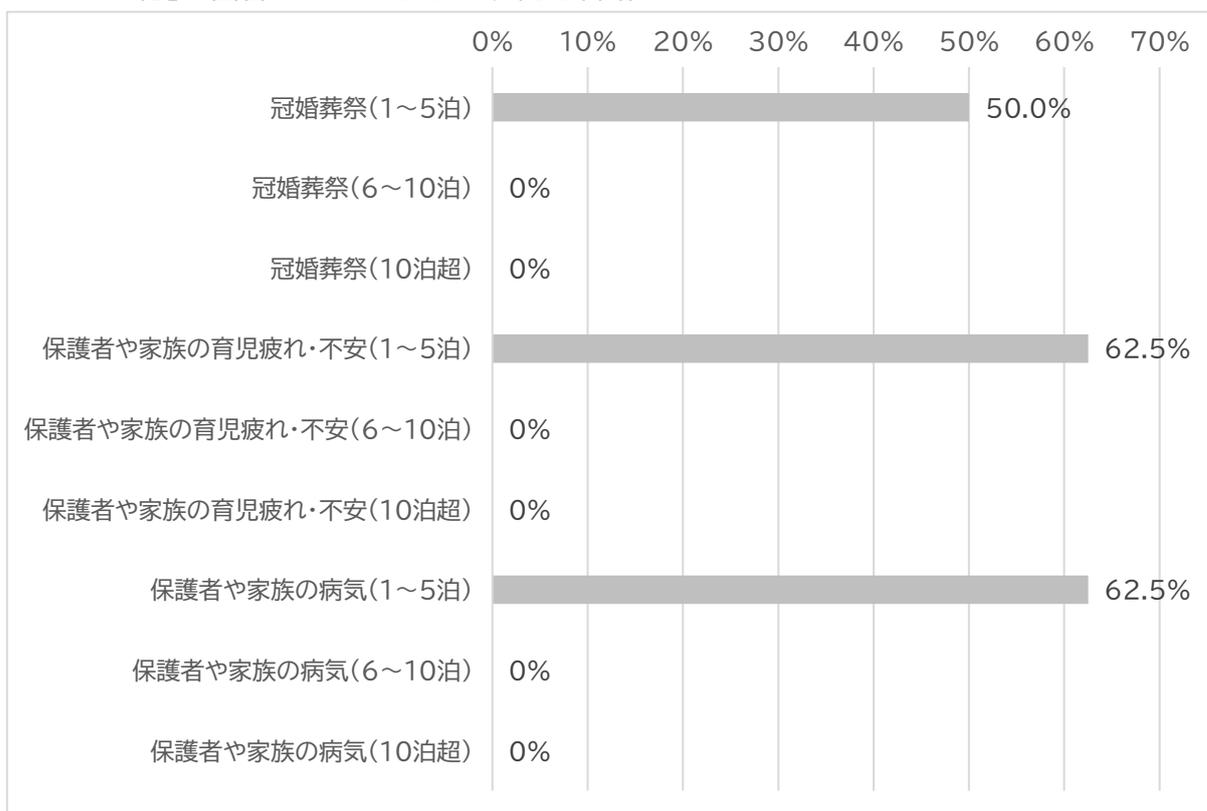
問25 保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む)の育児疲れや育児不安、病気等)により、泊りがけで子どもを家族以外に預ける事業を利用したいか(N=59)  
 「利用する必要はない」が 86.4%となりました。



①事業利用希望日数(N=8)

「保護者や家族の育児疲れ・不安(1~5泊)」と「保護者や家族の病気(1~5泊)」が 62.5%と最も高くなっています。

なお「その他」は回答がなかったため、表記を省略しています。



## 10.小学校入学後の子どもの放課後の過ごし方

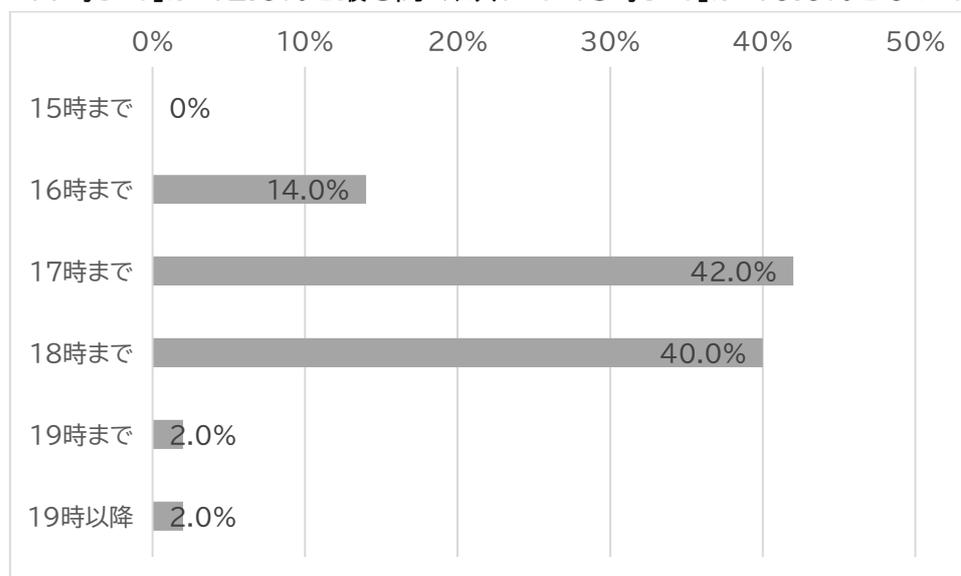
### 問26 小学校低学年の放課後(平日の小学校終了後)の過ごし方

「磐梯町児童館(放課後児童クラブ)」の回答が最も多く、次いで「自宅」「地域学校協働活動(ほうかご あそぼーよ会等)」となっています。

	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事(ピアノ教室、スポーツ少年団、学習塾等)	磐梯町児童館 (放課後児童クラブ)	まなびときばんだい	地域学校協働活動 (ほうかご あそぼーよ会等)	ファミリー・サポート・センター	放課後等デイサービス	その他 (公民館、預かり教室等)
N	16	5	12	51	4	16	2	4	1
1日	0%	0%	83.3%	0%	25.0%	68.8%	100%	0%	100%
2日	12.5%	40.0%	0%	2.0%	0%	0%	0%	25.0%	0%
3日	12.5%	0%	16.7%	7.8%	0%	12.5%	0%	0%	0%
4日	0%	0%	0%	9.8%	25.0%	0%	0%	0%	0%
5日	75.0%	60.0%	0%	80.4%	50.0%	18.8%	0%	75.0%	0%

#### ①児童館の利用希望時間【低学年】(N=50)

「17時まで」が42.0%と最も高く、次いで「18時まで」が40.0%となっています。



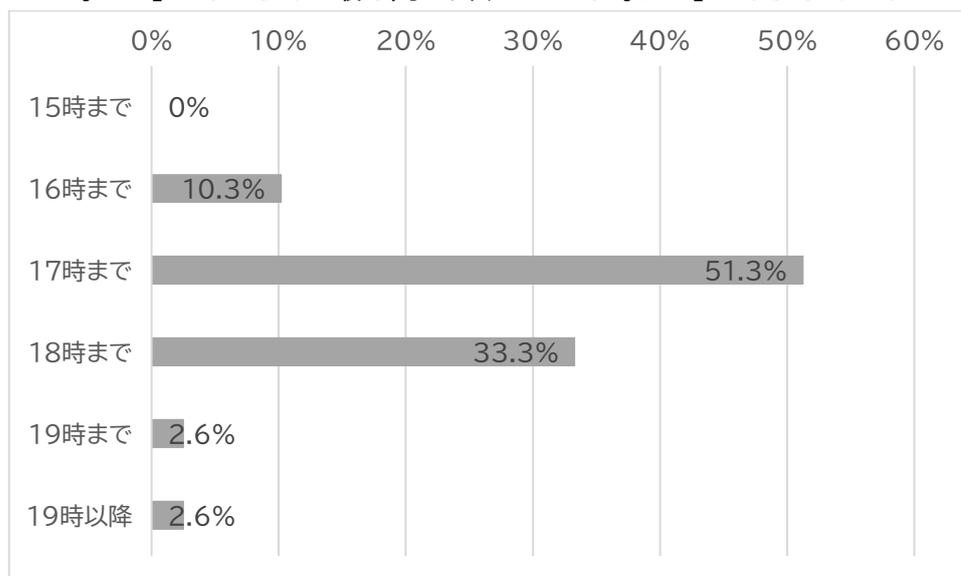
### ②小学校高学年の放課後(平日の小学校終了後)の過ごし方

「磐梯町児童館(放課後児童クラブ)」が最も多く、次いで「自宅」となっています。  
 なお「ファミリー・サポート・センター」「その他(公民館、預かり教室等)」は回答がなかったため、表記を省略しています。

	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	スポーツ少年団、学習塾等 習い事(ピアノ教室、)	磐梯町児童館 (放課後児童クラブ)	まなびときばんだい	地域学校協働活動 (ほっかご あそぼーよ会等)	放課後等デイサービス
N	25	6	17	40	14	17	3
1日	0%	33.3%	58.8%	0%	42.9%	52.9%	0%
2日	8.0%	0%	23.5%	20.0%	28.6%	17.6%	33.3%
3日	20.0%	0%	17.6%	10.0%	7.1%	11.8%	0%
4日	0%	16.7%	0%	5.0%	7.1%	0%	0%
5日	72.0%	50.0%	0%	65.0%	14.3%	17.6%	66.7%

### ③児童館の利用希望時間【高学年】(N=39)

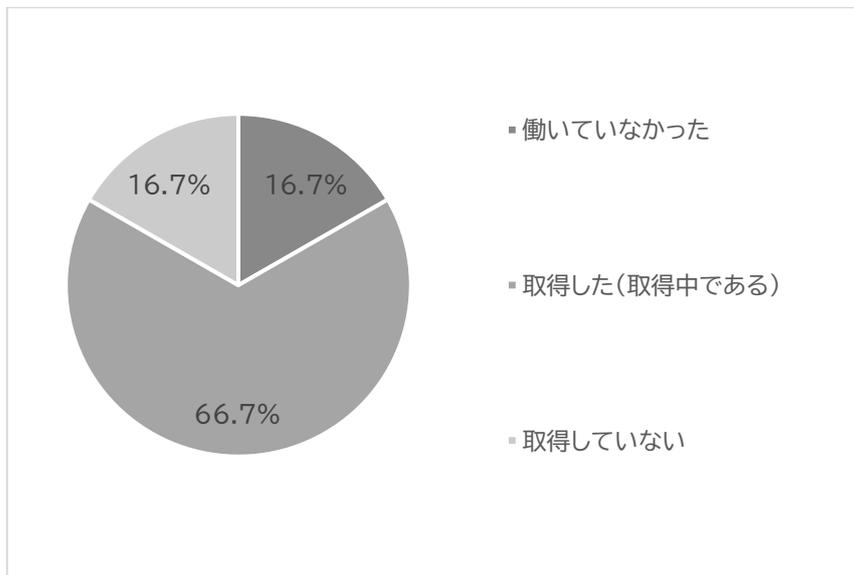
「17時まで」が 51.3%と最も高く、次いで「18時まで」が 33.3%となっています。



## 11.育児休業について

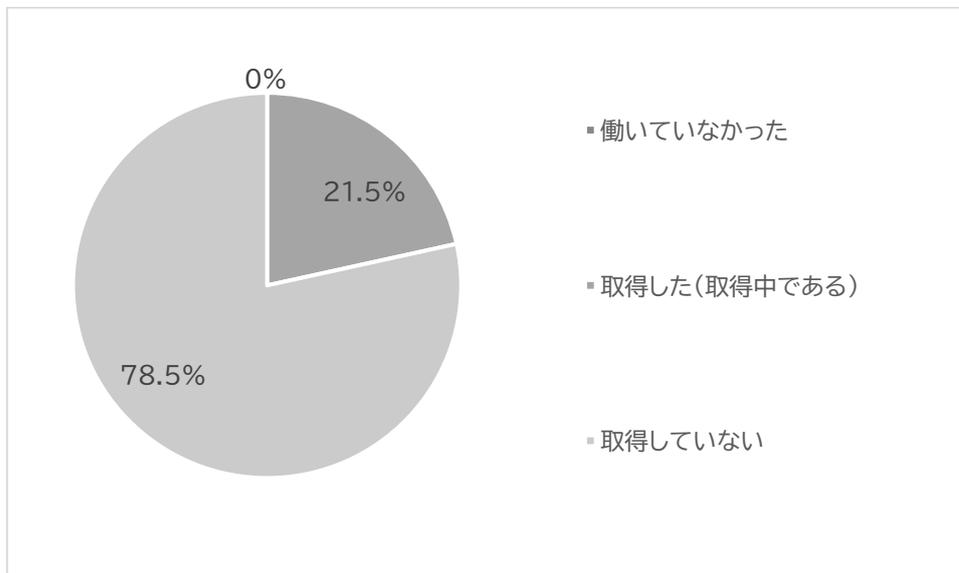
### 問27 ① 母親の育児休業について(N=66)

「取得した(取得中である)」が66.7%と最も高く、次いで「働いていなかった」と「取得していない」が16.7%となっています。



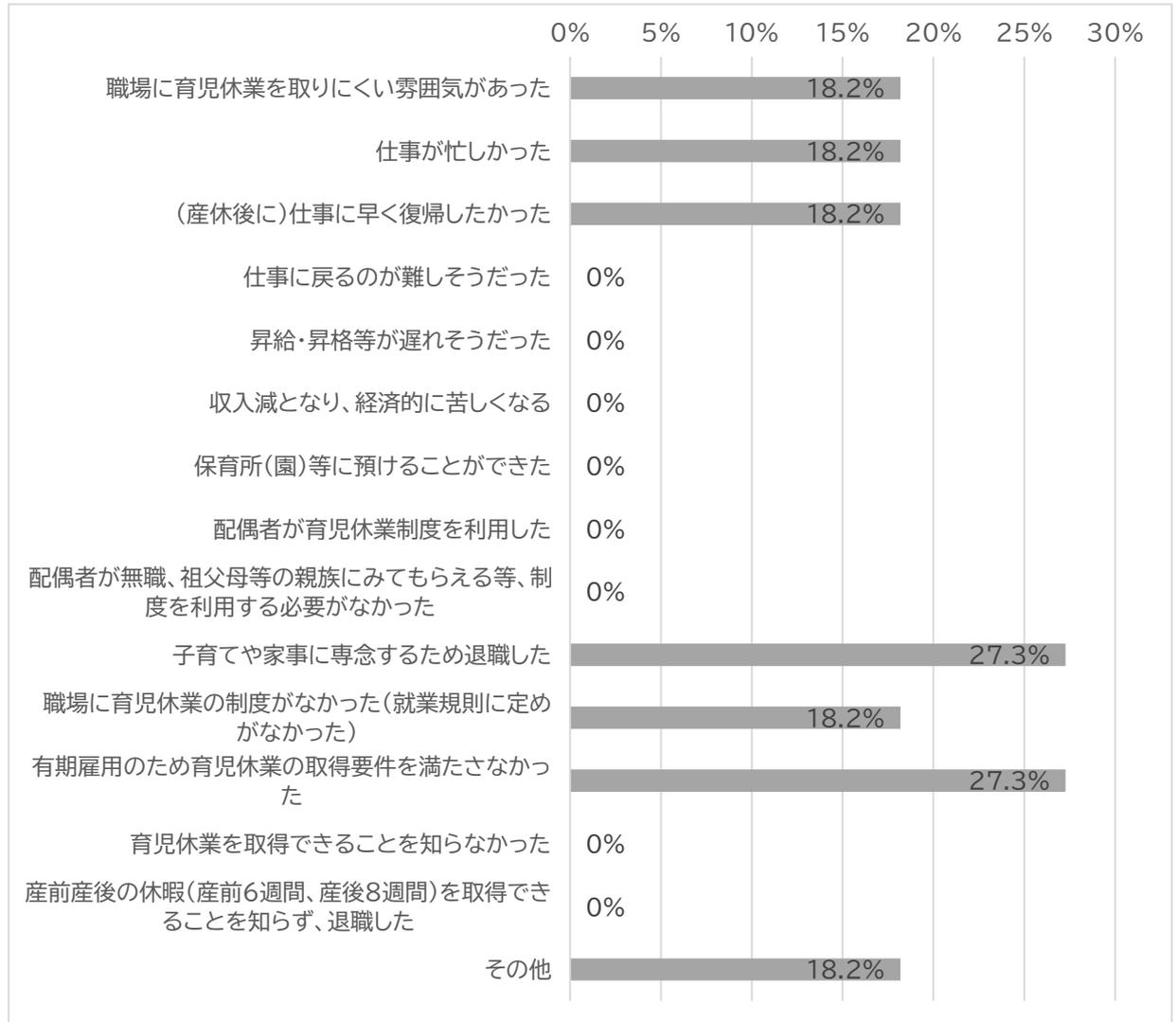
### ② 父親の育児休業について(N=65)

「取得していない」が78.5%と最も高く、次いで「取得した(取得中である)」が21.5%となっています。



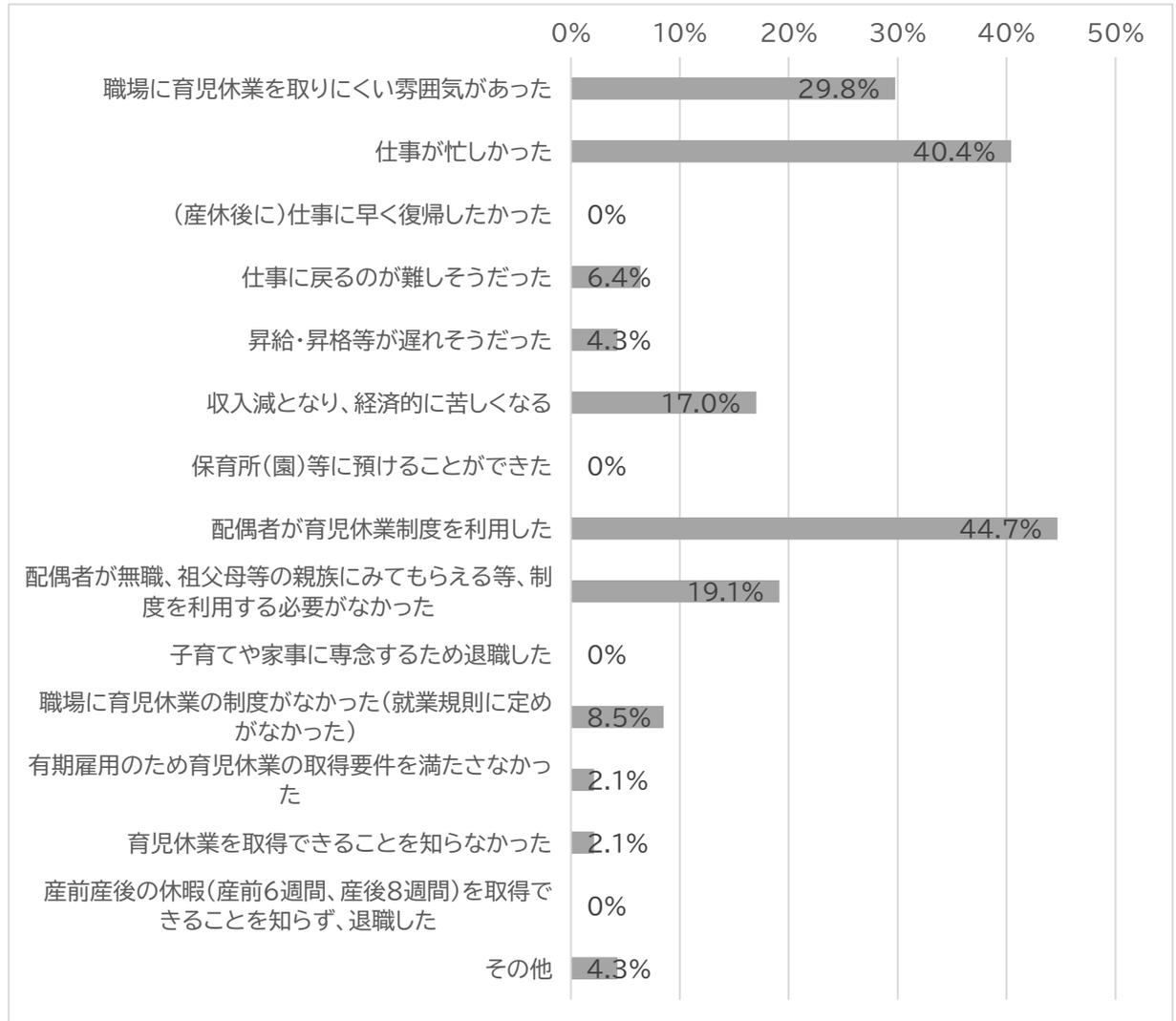
### ③ 母親が育児休業を取得していない理由(N=11)

「子育てや家事に専念するため退職した」と「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」が 27.3%と最も高くなっています。



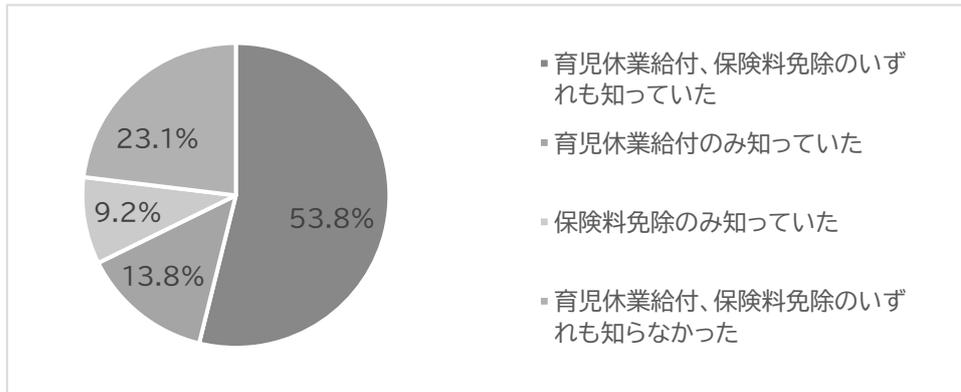
④ 父親が育児休業を取得していない理由(N=47)

「配偶者が育児休業制度を利用した」が44.7%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」が40.4%となっています。



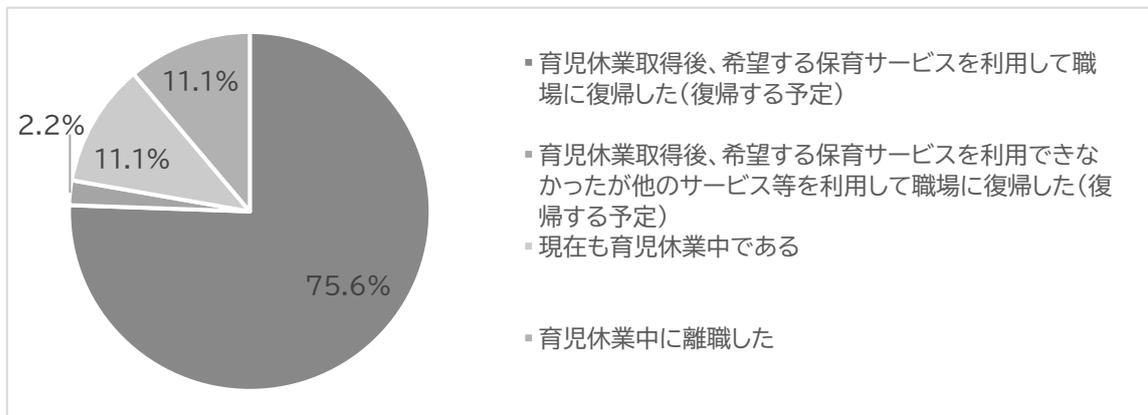
問 27-1 子どもが原則1歳(保育所における保育の実施が行われない等一定の要件を満たす場合は2歳)になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みを知っているか(N=65)

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が53.8%と最も高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が23.1%となっています。



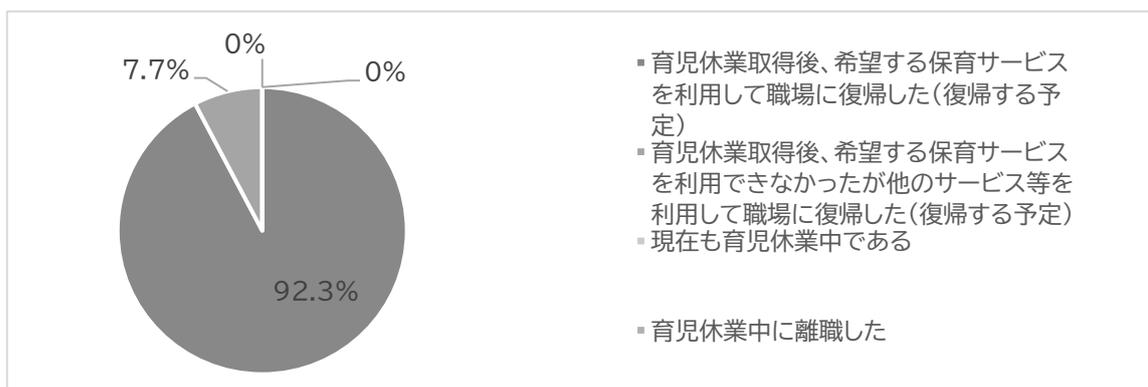
問 27-2(1)母親が育児休業取得後、職場復帰したか(N=45)

「育児休業取得後、希望する保育サービスを利用して職場に復帰した(復帰する予定)」が75.6%と最も高くなっています。



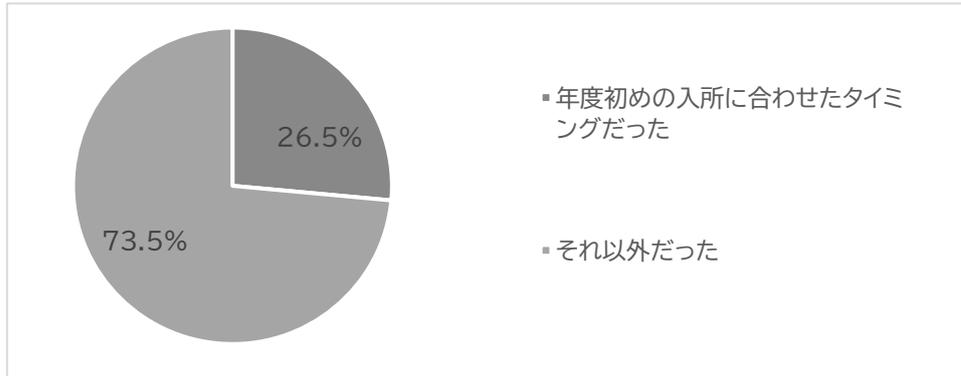
(2)父親が育児休業取得後、職場復帰したか(N=13)

「育児休業取得後、希望する保育サービスを利用して職場に復帰した(復帰する予定)」が92.3%と最も高くなっています。



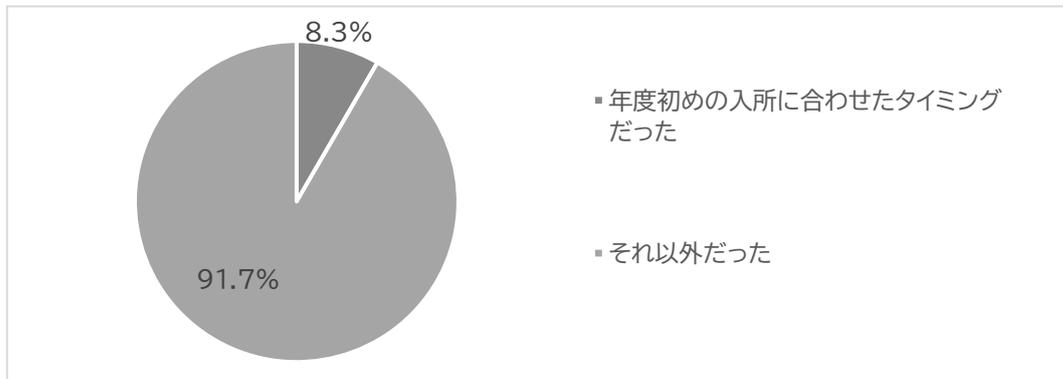
問 27-3(1)母親の職場復帰は、年度初めの保育所等の入所に合わせたタイミングだったか  
(N=34)

「それ以外だった」が 73.5%と最も高くなっています。



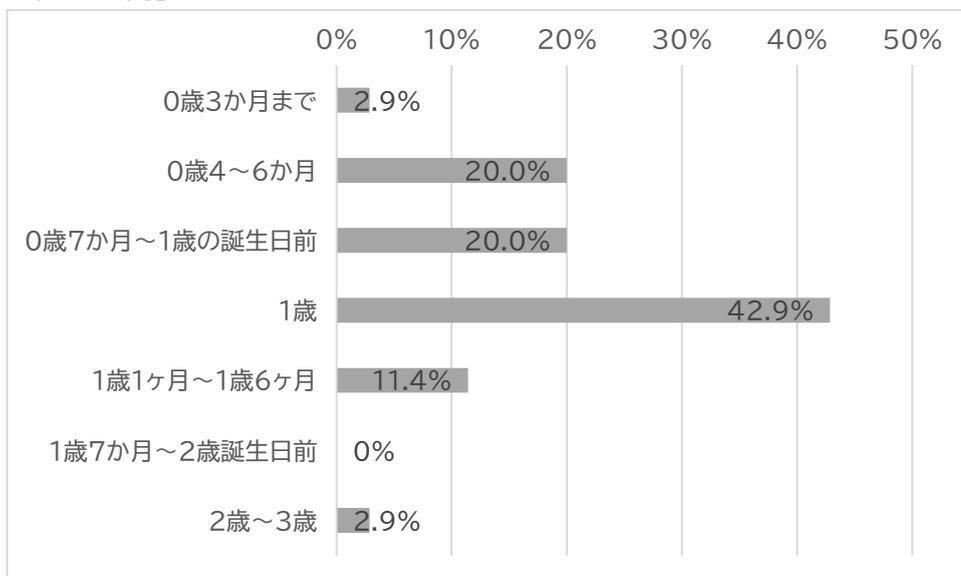
(2)父親の職場復帰は、年度初めの保育所等の入所に合わせたタイミングだったか  
(N=12)

「それ以外だった」が 91.7%と最も高くなっています。



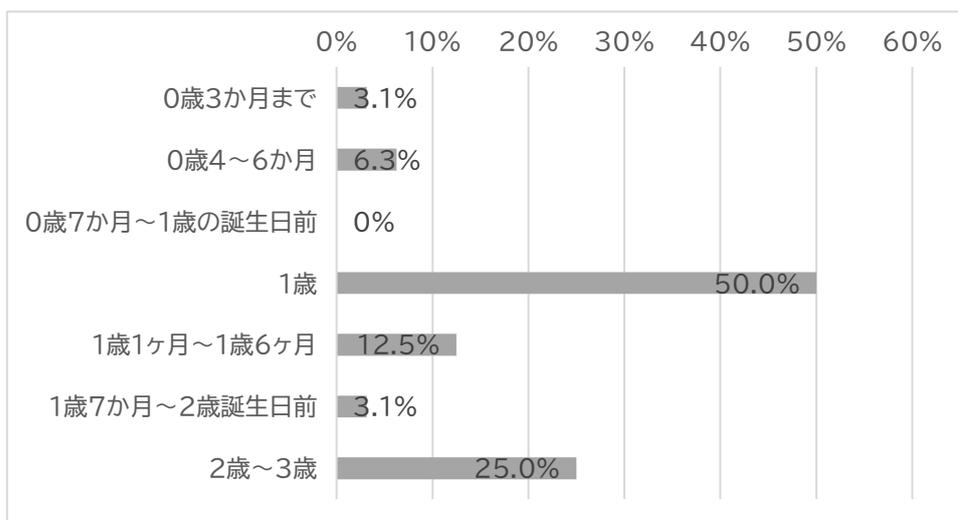
問 27-4(1)① 母親の育児休業からの職場復帰時期【実際】(N=35)

子どもが「1歳」の時が 42.9%と最も高く、次いで「0歳 4～6 か月」と「0歳 7か月～1歳の誕生日前」が 20.0%となっています。



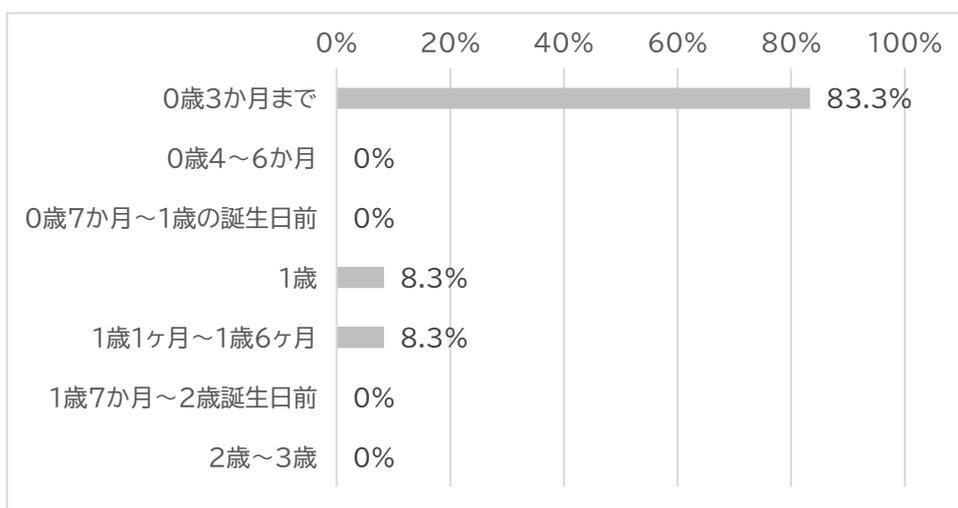
### (1)② 母親の育児休業からの職場復帰時期【希望】(N=32)

子どもが「1歳」の 때가 50.0%と最も高く、次いで「2～3歳」が 25.0%となっています。



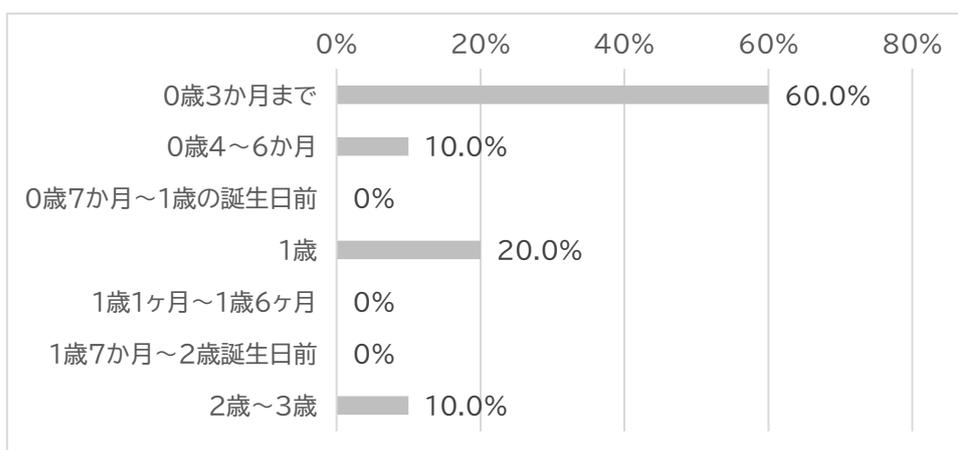
### (2)① 父親の育児休業からの職場復帰時期【実際】(N=12)

子どもが「0歳3か月まで」が 83.3%と最も高くなっています。



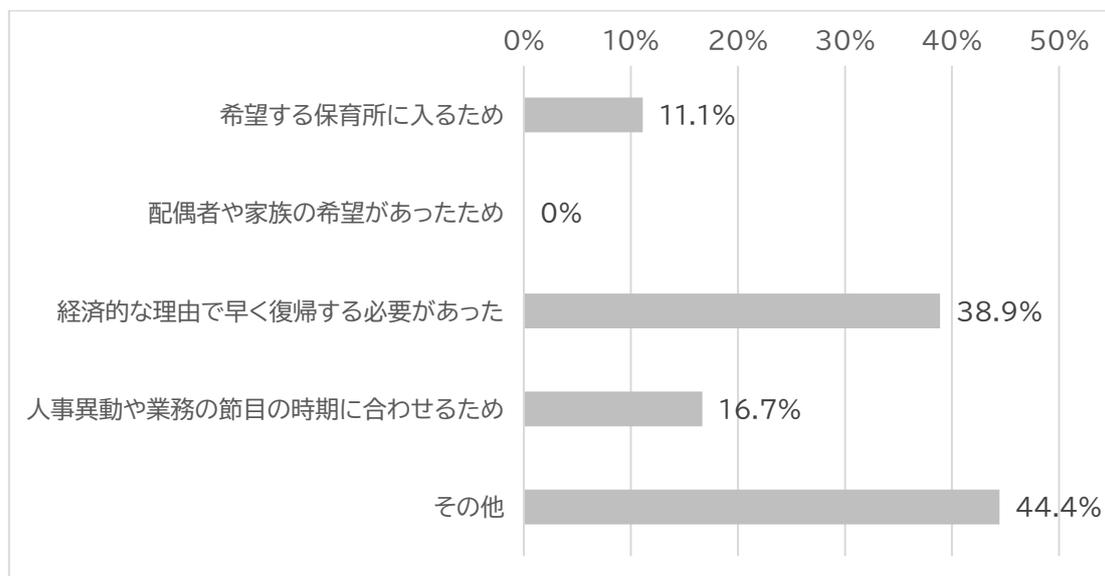
### (2)② 父親の育児休業からの職場復帰時期【希望】(N=10)

子どもが「0歳3か月まで」が 60.0%と最も高くなっています。



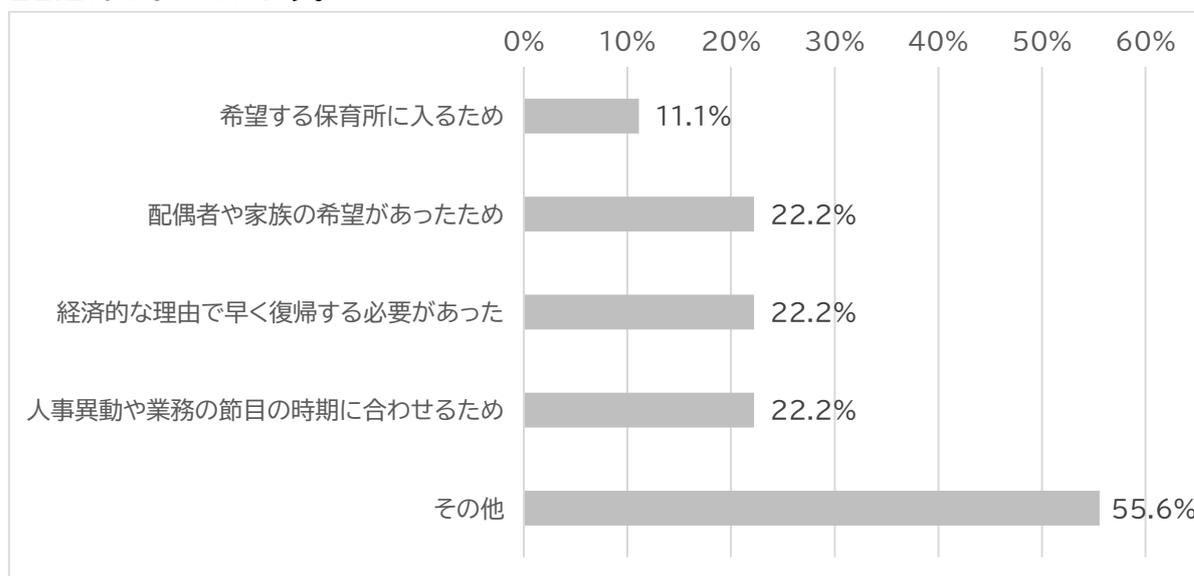
問 27-5(1)① 希望より早く職場復帰した理由について【母親】(N=18)

「その他」が44.4%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が38.9%となっています。



(1)② 希望より早く職場復帰した理由について【父親】(N=9)

「その他」が55.6%と最も高く、次いで「配偶者や家族の希望があったため」「経済的な理由で早く復帰する必要があった」「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が22.2%となっています。



「その他」の内訳(一部抜粋)

- 雇用条件に育休がなかった
- サービス等は利用せず、祖母に預けて復帰した。
- 会社より早めに戻ってくれと言われたため
- 保育所に入れたのでのばす理由がなかった。
- 会社に迷惑がかかるから
- そんなに休む人いないし、休めない

(2)①希望より遅く職場復帰した理由について【母親】

(2)②希望より遅く職場復帰した理由について【父親】

有効回答はありませんでした。

問 27-6 (1)子どもが1歳になったときに必ず預けられる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するか。預けられる事業があっても1歳になる前に復帰するか。【母親】  
(N=5)

「1歳になるまで育児休業を取得したい」が100%となっています。



問 27-6 (2)子どもが1歳になったときに必ず預けられる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するか。預けられる事業があっても1歳になる前に復帰するか。【父親】  
有効回答はありませんでした。

## 12.自由記述

### 問28 教育・保育環境の充実等子育ての環境や支援に関する意見(一部抜粋)

#### 保護者の意見

##### 【教育・保育事業施設について】

- ・ 仕事のお休みの時、「今日お休みなんですね。早くお迎え来れますね」と言われるのが、少し不愉快。休日であってもやらなくてはいけないことが多く有るなかで、子供を最優先にできない時もある。
- ・ 休みの時でもストレスなく預けられる環境があったら嬉しいです。
- ・ 土日仕事をしている、帰りも遅い、決して遊んでいる訳ではない。うしろめたさを感じない保育環境が欲しい。
- ・ 子供を預かってくれる時間が7:00~19:00にしてもらえると助かります。サービス業をしていると、18:30のお迎えに間に合わず、ご迷惑をお掛けしているので。
- ・ 親が休みの時にどんな理由であれ預けられる場所(先生も理由をきかないなど)  
←毎日、朝から最後まで休みでも預けるのは子どもにとって不利である為それは除外するなど。
- ・ 朝、7時ごろから預かってもらうことができると、仕事に行く時に一緒に家を出ることができる。  
親の準備が大変になるが、朝出る時子どもが泣かなくて良くなると思う。
- ・ 保育所の(保育士さんは親身になって対応してくれている)対応が不誠実でとても残念です。  
「決まりだから預かれない。できない」  
こちらが(困っている、大変で苦しい)助けを求めているのに、決まりだからできないの返答ばかりで、突き放された様でとても辛い。どこに頼ったら良いのか分からない。  
子どもを預かる施設がこの様な対応では不信感がつるばかりで、子どもを預けることにも不安を覚える。早急に改善してほしいと思います。
- ・ 核家族での子育てには限界がある。  
助けを求めているのに、現在の保育所の対応はあまりにも事務的で冷淡で、子どもを預けることに不安を覚える。  
この様な状況は磐梯町で考えている「磐梯版ネウボラ」とはかけ離れている。もう少し誠実に対応してほしい。

- ・ 自治体の場合、日・祝の預けが不可なので大変不便。シフト制の仕事の人も多くあり、休みづらい職場だと日曜の希望が叶わない。  
呼び出しがあると迷惑な顔をされるので、お迎えの時はコドモンでメールほしい。  
とにかく希望は日・祝の運営。半日でもいいので預けたい。宜しくお願い致します。
- ・ 猪苗代町のように幼稚園とこども園が同じ 1 つの施設で完結できるところがあると嬉しい。
- ・ 現在、こども園開園に向けて準備をされていると思いますが、一番重視していただきたいことは、こども達が安全に過ごせる場所を確保してほしいです。人を動かすことは思っている以上に大変なことだと思います。しかし、こども達の命が関わっていると思っていただければと思います。人数が少ないからこそ手あつい保育を期待しております。
- ・ 個性を大事にした関わりをしてください。(園での教育)
- ・ 教育に力を入れるのはいいが、発達検査をして勝手に不安をあおってくるような事はしてほしくない。  
発達はもう少し大きくなると判断できないと思う。  
個人差があると思う。データだけできめつけてほしくない。  
親にストレスをあたえる事になる。
- ・ これから益々少子化が進むので、学年で分ける、ではなく「磐梯町の子ども」として異年齢で交流できる機会があると尚良いのではと思います。
- ・ 月額・定額で使い放題のおむつとお尻拭きが保育所へ届くサービス「おむつのサブスク」
- ・ 私の周囲の保護者の中には保育所の延長料金や給食費、早朝料金、ミルク代、おやつ代が無料なことが当たり前慣れすぎている人が多いです。なんでも無料にすれば良いということではないと思います。お金を取ってください。

#### 【子どもの遊び場について】

- ・ 屋内の子どもの遊び場がほしい。
- ・ 喜多方市のめぐらざのような施設ができるとうれしいです。  
外で遊ぶ公園も駐車場がない所や小さな所ばかりで、大きなところがあると嬉しいです。

- ・ 屋内・屋外の走りまわられるような子どもの楽しめる施設があるといい。(喜多方にあるめぐらざのような)
- ・ 喜多方のめぐらざのような施設があるとうれしいです。室内で遊べる場所がぜんぜんないので。保健センターも行きたくても平日のみなので、なかなか行けません。外で遊ぶ公園も駐車場がない所や小さな所ばかりで、大きな所や近くにあると(小さくても)うれしいです。
- ・ 雨の日でも遊べる場所がほしいです
- ・ 室内・室外で0才児～小学校まで幅広い年齢の子どもが安全に体を動かして楽しめる施設を建ててほしいです。他の市町村に行かないと遊べません。数百円料金を取っても、他の市町村から遊びに来ると思います。
- ・ 屋内施設の遊び場がほしい。
- ・ ブランコ設置してください(農村公園)。遊具が不足しています。
- ・ 公園など子供を遊ばせる施設がほしい。
- ・ 公園が少なく遊べる場所がないです。実際今は車で町外の公園へ行き遊ばせています。公園が、一つでもあれば若い人たちが集まり移住者も増える良い機会になるのではないのでしょうか。ぜひ検討していただきたいです。

#### 【子育て支援行政について】

- ・ 子育て世代に(それ以外もできたら)商品券などの支援があったら助かります。
- ・ 要介護者がもらっている「オムツ券」が小さい子どもにも欲しい。
- ・ 入学祝金を増やして欲しい。
- ・ 子供に対するお金も、もっと支給があるとうれしいです。
- ・ 紙オムツ券、粉ミルク券の交付
- ・ 税金免除等
- ・ リオンドールが町にできてとても助かってますが、薬局をつくってほしいです。病院受診までではなくても、ちょっとした風邪薬や頭痛薬などすぐそこで買えるようになったら助かります。

- ・ 他の市町村に足並みを揃えるのではなく、磐梯町だからできる子育て支援をして頂けたらと思います。
- ・ 習い事をさせる上で送迎サービスがあると嬉しい。(若松のスイミング、塾等)若松で働いていて子供を迎えに行き、また連れていくのが困難である。ファミサポさんの方が連れていってくれて、帰りは親が迎えに行くのが理想です。
- ・ 子どもが習いたい、やりたい事が出来る、住んでる町にある、又、幼稚園、小学、中学からまっすぐ行ける送迎をしてもらえる。(施設⇔幼稚園等)  
夕方など家に来て、子どもたちをみてくれるベビーシッターのような人がいたら、私は家事などをしている間に、子どもたちと遊んだりしてくれる人がいればなあと思います。  
ベビーシッターを利用したいと思い調べましたが、見つけることができず…でした。家に来てもらって、子どもたちと遊んでもらったりしてもらったら、私も助かります。なので、ベビーシッターのような、家に来てもらえるような人がいたらいいなと思います。

#### 【教育について】

- ・ 登下校の見守りの代替手段の充実。
- ・ 同級生が少ないことが心配。他地域の子たちと関わるイベントや団体活動が増えるとうれしいです。(小・中の部活動等)小学校での夏休みにサマーキャンプなど。
- ・ 小学校を1つにしてほしい。幼稚園で仲良くなったのに、一小二小で別々、中学校でまた一緒にするのはなぜですか？人数も少ないので、1つにしてほしいです。河東学園のように、小中学校が同じだったり、猪苗代のように合併してほしいです。
- ・ 幼稚園、小学校等で体調不良になってもその日は見ていただけるような支援があると有難い。

#### 【学校給食について】

- ・ 給食の内容をもっと良くして欲しい(量や質の見直し)
- ・ 魅力あるおいしそうな給食をお願いします。
- ・ 給食費を無料にして頂けたら助かります。
- ・ 幼稚園に入った途端、給食センターでの給食となり、味付けも濃くなるのが気になった。小学校前までは保育所と同じ給食、おやつを希望したい。

### 【町内施設について】

- ・ 町の病院内の一部で病(後)児保育。
- ・ 保健福祉センターは常時エアコンを入れていても良いのではと思います。センター内で活動していると、暑さで乳児が機嫌悪くなることが多いと感じます。
- ・ 土日祝日に利用できるフリースペースをもうけてほしい。保健師の有無に関係なく、いつでも利用できるのがベスト。親同士の情報交換の場も大切!!  
様々な体験をしてほしい。ここ、田舎でしかできないような事をしてほしい。保育園留学など、他の地域の人を受け入れて、移住者を増やしてほしい。  
スポーツ施設(プール、スキー場など)が充実しているので、小さな頃から体験できるようにしてほしい。  
図書館もキレイで気軽に借りれる所だと嬉しいです。大人の本もたくさん置いてほしいです。子育てをはじめから読みたくても読めない、借りに子連れだと行きにくい。

### お子さんの意見

- ・ 幼稚園とふれあいセンターのプールがつながった道がほしい。(雨だと行けないのが悲しいようです)
- ・ ブランコ設置してください。
- ・ 友達と遊びたい。
- ・ たのしい公園があったらいいな。
- ・ 好きな遊びをいっぱいできるこども園が良いそうです。



# 小学生児童保護者調査結果

## 【調査の概要】

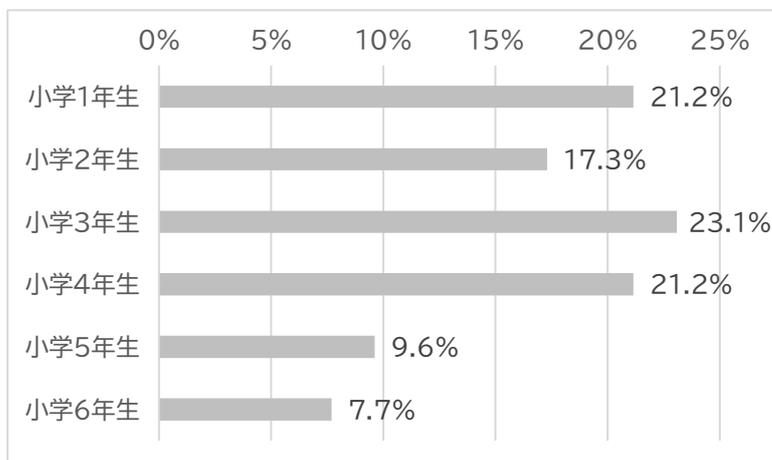
- 1 調査目的: 磐梯町内の子ども・子育て支援に関する現状と課題の把握を行い、次期子ども・子育て支援事業計画を策定するにあたっての基礎資料作成のため
- 2 調査対象: 磐梯町内在住の小学生児童を持つ保護者(全世帯)
- 3 対象者数: 124 名(兄弟姉妹がいる場合、学年が下の子が対象)
- 4 調査方法: 郵送または町内小学校を通じての配布。郵送または小学校等を通じての回収。
- 5 調査日程: 令和 6 年 7 月 8 日から令和6年 7 月 31 日まで
- 6 調査内容: 小学生児童の子育てに関する保護者ニーズ調査、設問項目 18 問
- 7 回収結果: 回収票 54 票、回収率 43.5%
- 8 注意事項: ①今回の調査結果は、小数点第 2 位を四捨五入し、構成比率(パーセント)で小数点第 1 位までを表示している。  
②アンケートの選択肢の語句が長い場合、本文中や表・グラフでは省略した表現を用いることがある。  
③各設問の「N」は回答者数を表している。  
④複数回答の設問についても、設問に対する回答者の総数(=当該設問全体の回答件数)を基数(N)とし、各選択肢を回答した件数の割合を算出している。回答は 2 つ以上ありうるため、合計は 100 を超えることがある。

# 1.子どもと家族の状況

## 問1 子どもの状況

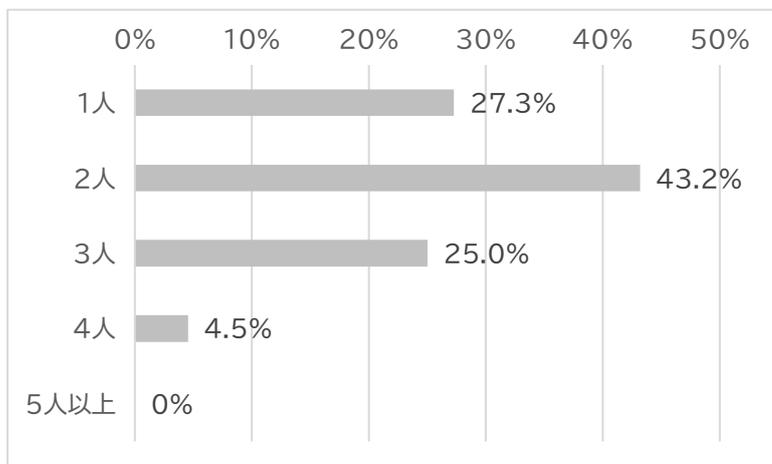
### (1) 学年(N=52)

「小学3年生」が 23.1%と最も高く、次いで「小学1年生」と「小学4年生」が 21.2%となっています。



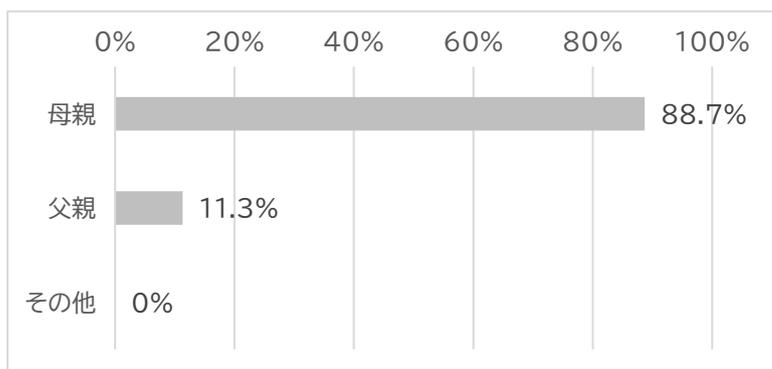
### (2) 兄弟姉妹の人数(N=44)

「2人」が 43.2%と最も高く、次いで「1人」が 27.3%となっています。



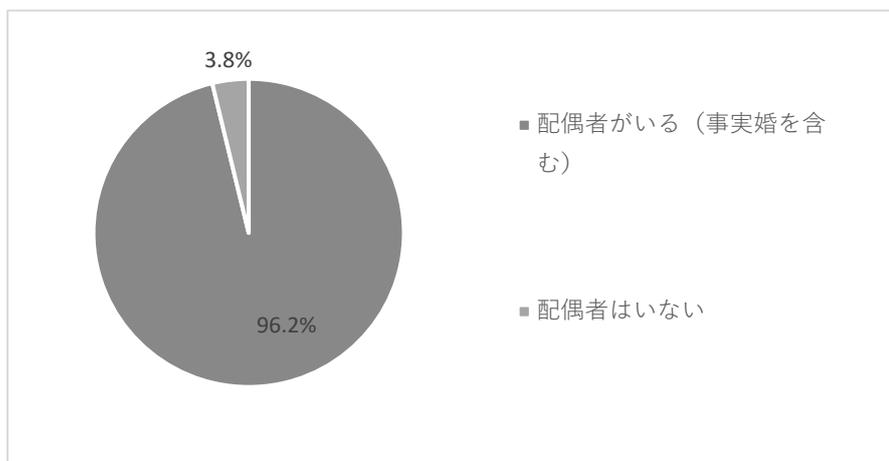
## 問2 アンケートの回答者(N=53)

「母親」が 88.7%となっており、回答者の約 9 割を占めています。



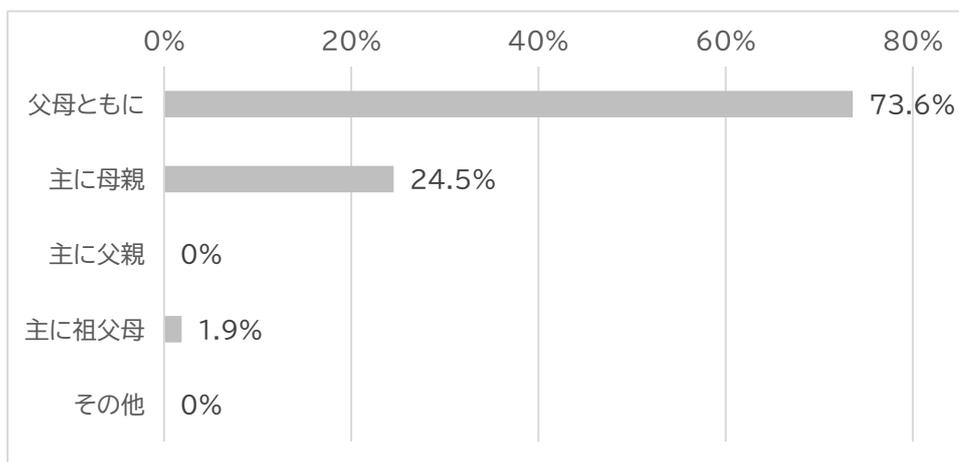
### 問3 回答者の配偶者の有無(N=53)

「配偶者がいる」が96.2%と最も高くなっています。



### 問4 家庭での子育て(教育を含む)を主に行っている方(N=53)

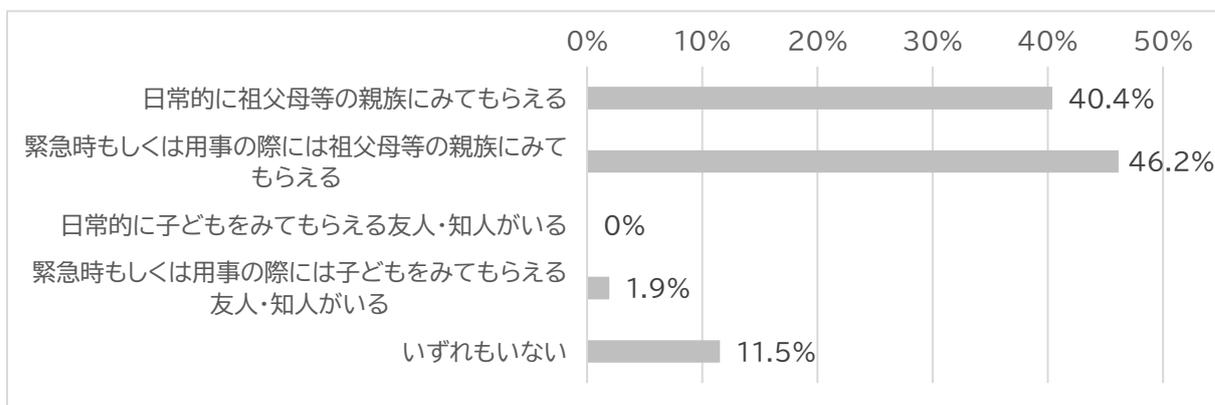
「父母ともに」が73.6%と最も高く、次いで「主に母親」が24.5%となっています。



## 2. 子育てをめぐる環境

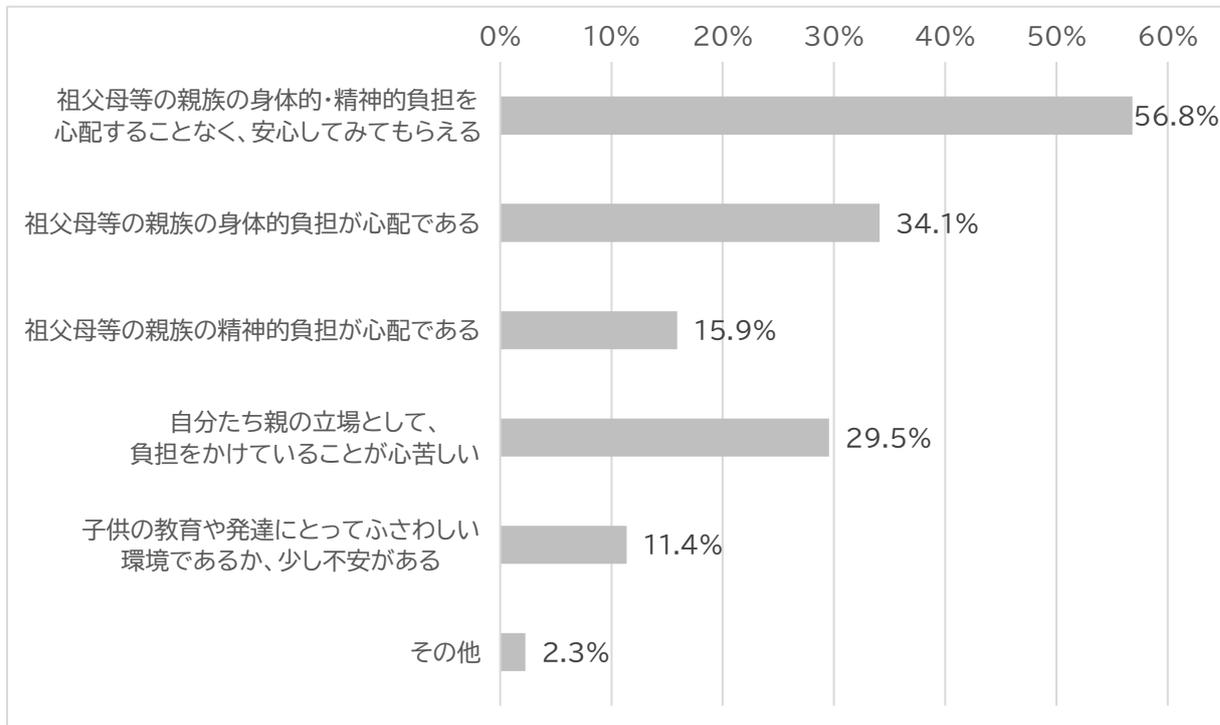
### 問5 子どもをみてもらえる親族・知人の有無(N=52)

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が46.2%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が40.4%と、祖父母等の親族に見てもらえることができる家庭が約9割となっています。



### 問5-1 子どもを祖父母等の親族にみてもらっている状況について(N=44)

「祖父母等の親族の身体的・精神的負担を心配することなく、安心してみてもらえる」が56.8%と最も高くなり、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が心配である」が34.1%となっています。

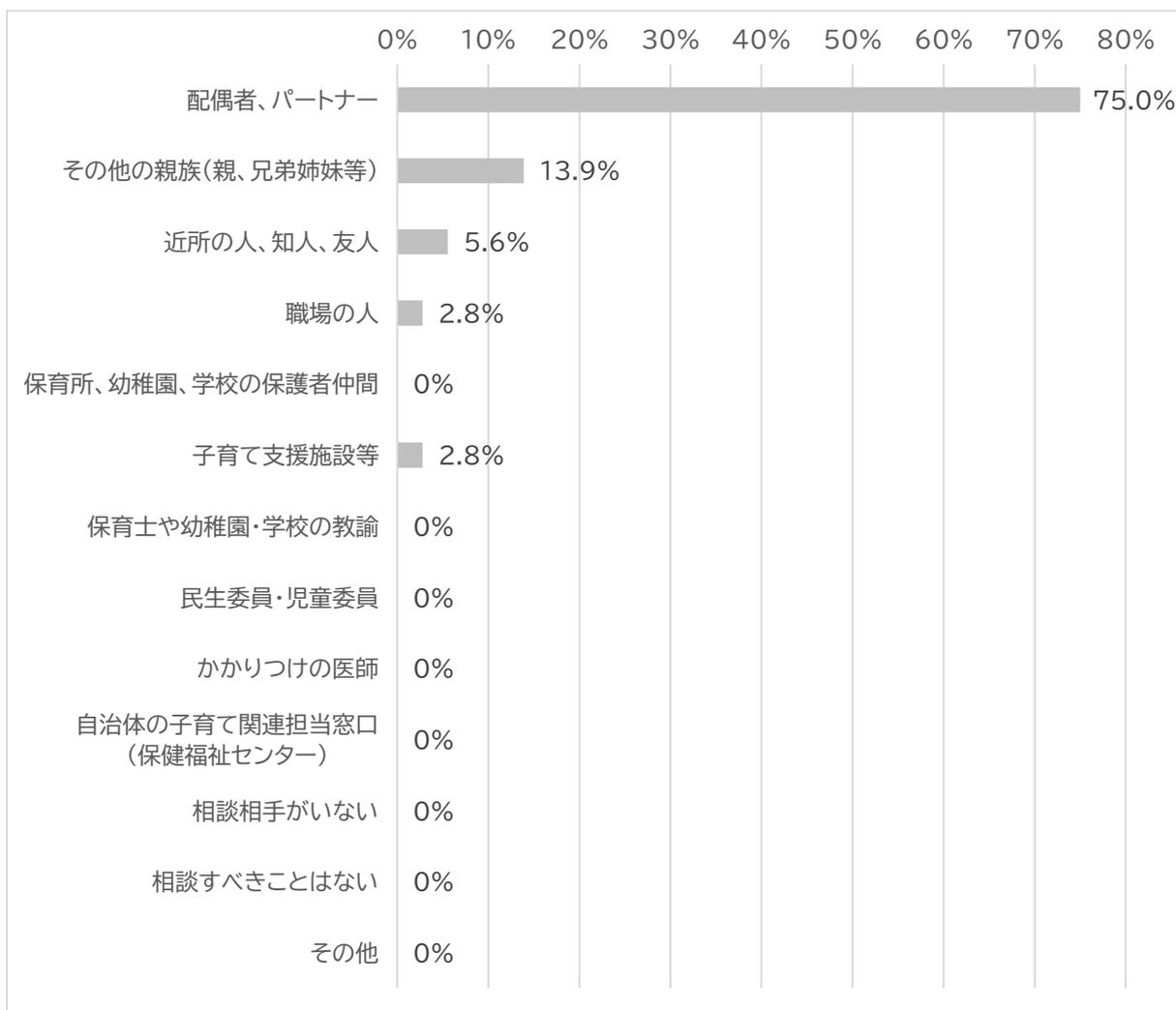


### 問 5-2 子どもを友人・知人にみてもらっている状況について

「友人・知人の時間的制約が心配である」「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」がそれぞれ有効回答数1となっています。(グラフ省略)

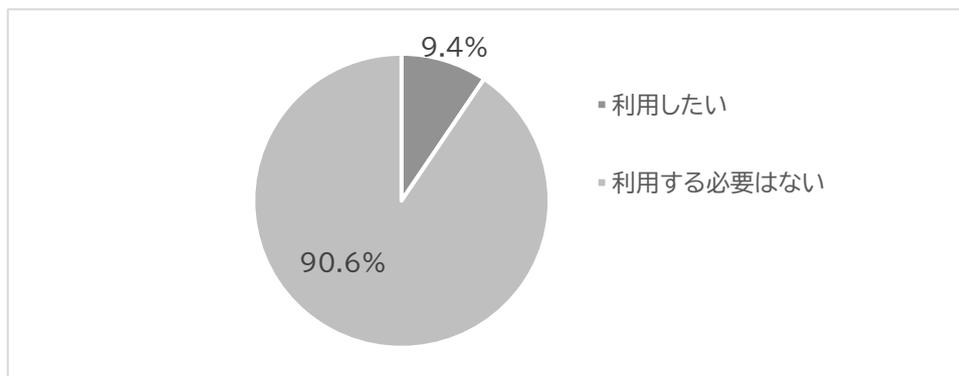
### 問6 子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人の有無(N=36)

「配偶者、パートナー」が75.0%と最も多く、次いで「その他の親族(親、兄弟姉妹等)」が13.9%となっています。



問7 ① 保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む)の育児疲れや育児不安、病気等)による、短期入所生活援助事業(ショートステイ)の利用希望の有無 (N=53)

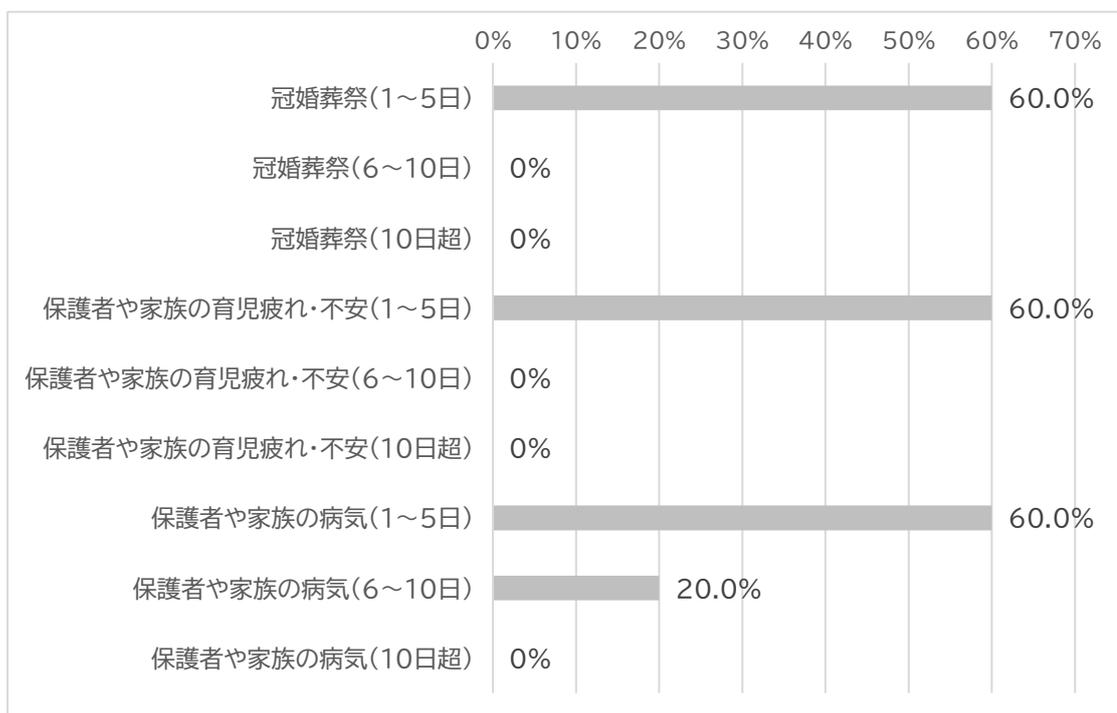
「利用する必要はない」が 90.6%である一方で、「利用したい」も 9.4%の回答がありました。



②短期入所生活援助事業(ショートステイ)の利用希望の理由(N=5)

「冠婚葬祭」「保護者や家族の育児疲れ・不安」「保護者や家族の病気」がそれぞれ 60.0%となっており、利用希望日数は5日以内が最も多くなっています。

なお「その他」は回答がなかったため、表記を省略しています。



問8 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うもの

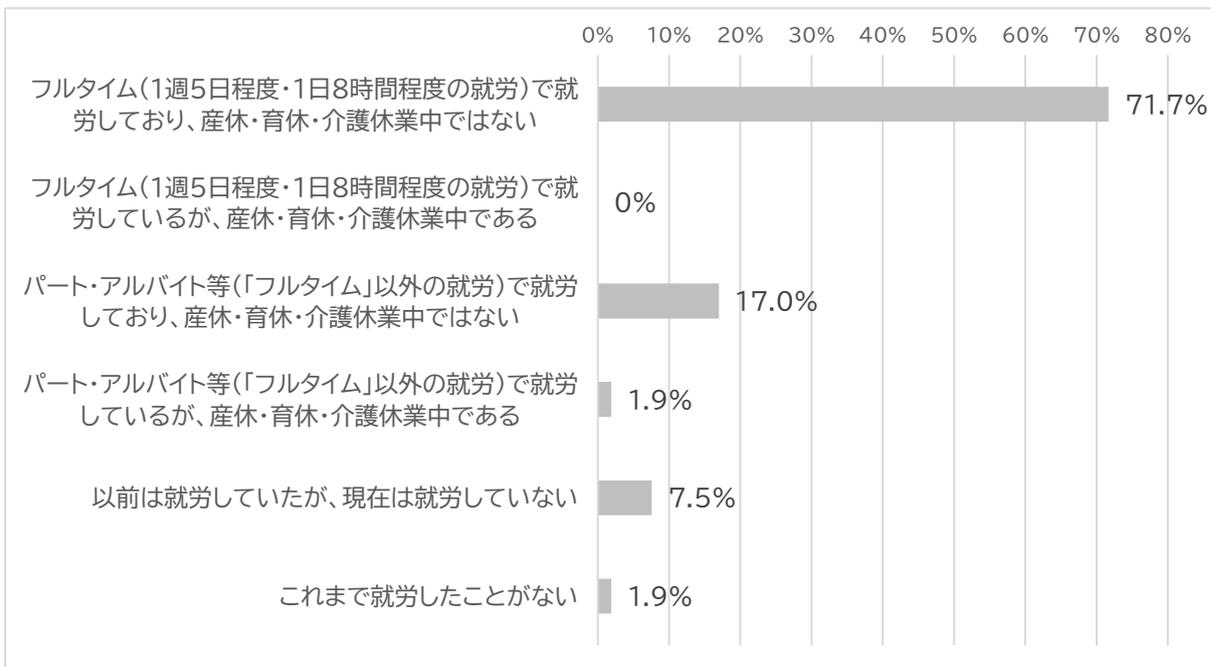
各事業ともに知っているものの「これまでに利用したことがない」の割合が高くなりました。また「今後必要があれば利用したい」もほとんどの事業で高い割合となっています。

事業名 (N=A,B,C)	A		B		C	
	知っている	知らない	これまでに利用したことがある	これまでに利用したことがない	今後必要があれば利用したい	今後利用する必要はない
① 磐梯ネウボラセンター (妊娠・出産・子育ての相談窓口、キッズふれあいひろば) (N=52,49,49)	88.5%	11.5%	67.3%	32.7%	67.3%	32.7%
② 地域学校協働活動 (ほうかごあそぼーよ会等) (N=51,49,51)	78.4%	21.6%	40.8%	59.2%	84.3%	15.7%
③ まなびときばんだい (N=50,50,51)	96.0%	4.0%	38.0%	62.0%	86.3%	13.7%
④ ばんだいつ子クラブ (N=50,48,49)	94.0%	6.0%	31.3%	68.8%	79.6%	20.4%
⑤ 体調不良児支援事業 (N=51,49,50)	94.1%	5.9%	8.2%	91.8%	78.0%	22.0%
⑥ 子育て電話相談(保育所) (N=51,49,51)	33.3%	66.7%	0%	100%	31.4%	68.6%
⑦ 子育てガイドブック (町のホームページに掲載) (N=51,49,51)	52.9%	47.1%	10.2%	89.8%	68.6%	31.4%
⑧ 磐梯弘報、町のホームページ (子育て関連) (N=50,48,50)	86.0%	14.0%	43.8%	56.3%	84.0%	16.0%
⑨ 生活保護、児童扶養手当、 就学援助 (N=50,48,49)	90.0%	10.0%	27.1%	72.9%	69.4%	30.6%
⑩ 障がい児相談支援・ 障がい福祉サービス (N=50,48,48)	60.0%	40.0%	8.3%	91.7%	58.3%	41.7%

### 3.保護者の就労状況

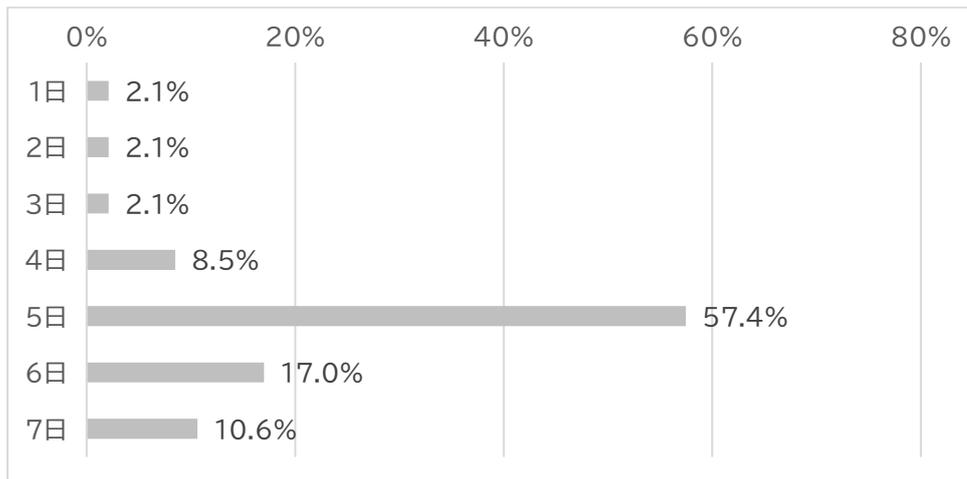
#### 問9 母親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)(N=53)

「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 71.7%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 17.0%となっています。



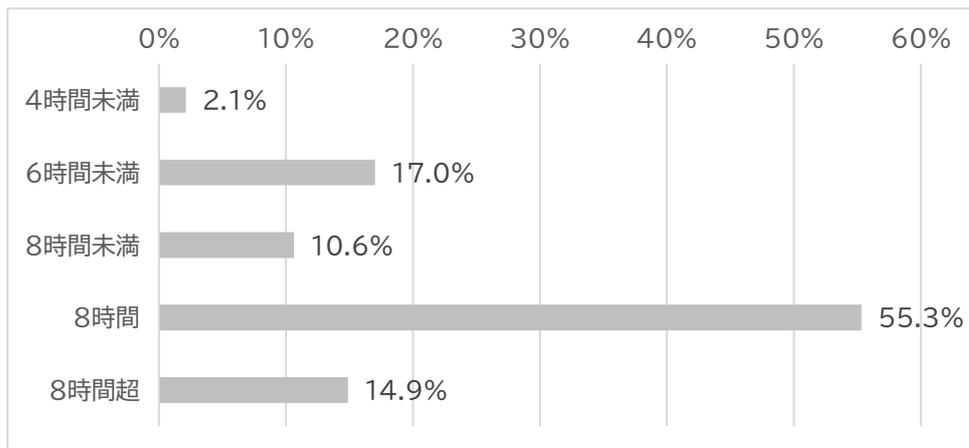
#### (1)-1① 1週当たりの就労日数(N=47)

「5日」が 57.4%と最も高く、次いで「6日」が 17.0%となっています。



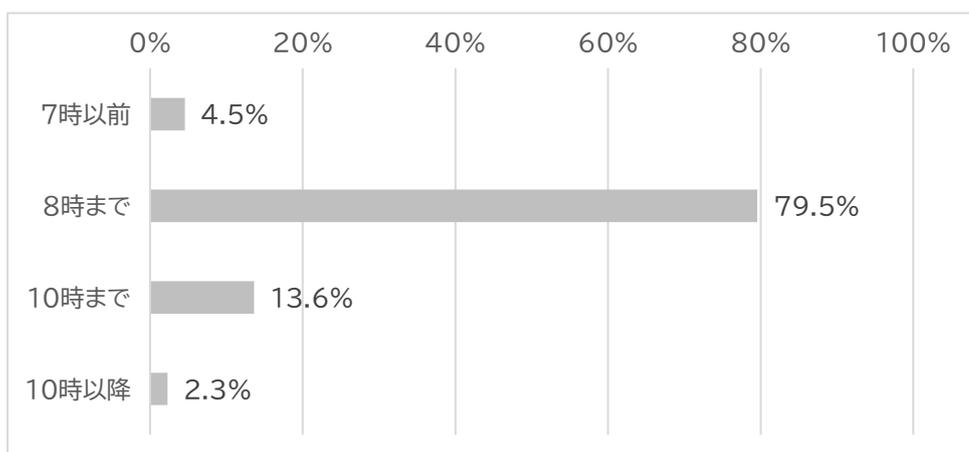
### (1)-1② 1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」(N=47)

「8時間」が55.3%と最も高くなっています。また「8時間超」も14.9%となり、8時間以上の就労時間が回答の7割となっています。



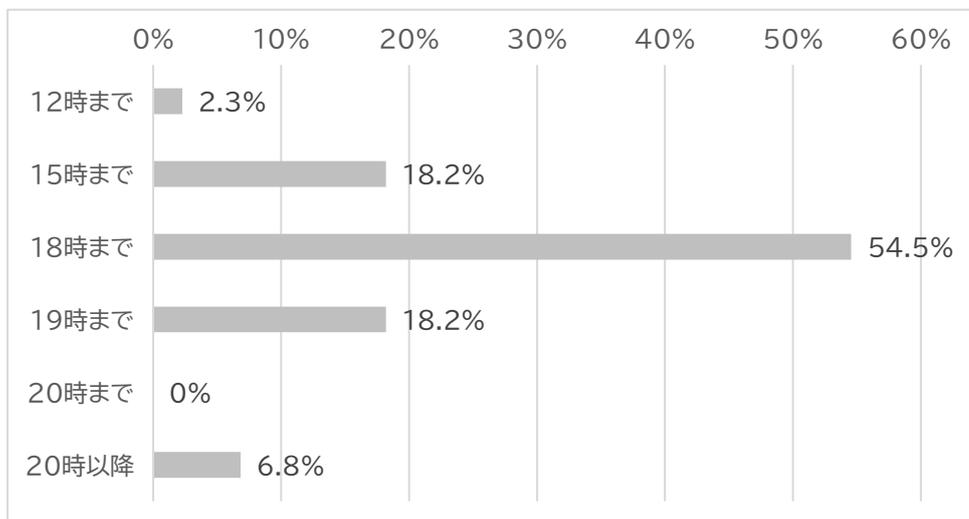
### (1)-2① 家を出る時刻(N=44)

「8時まで」が79.5%と最も高くなっています。



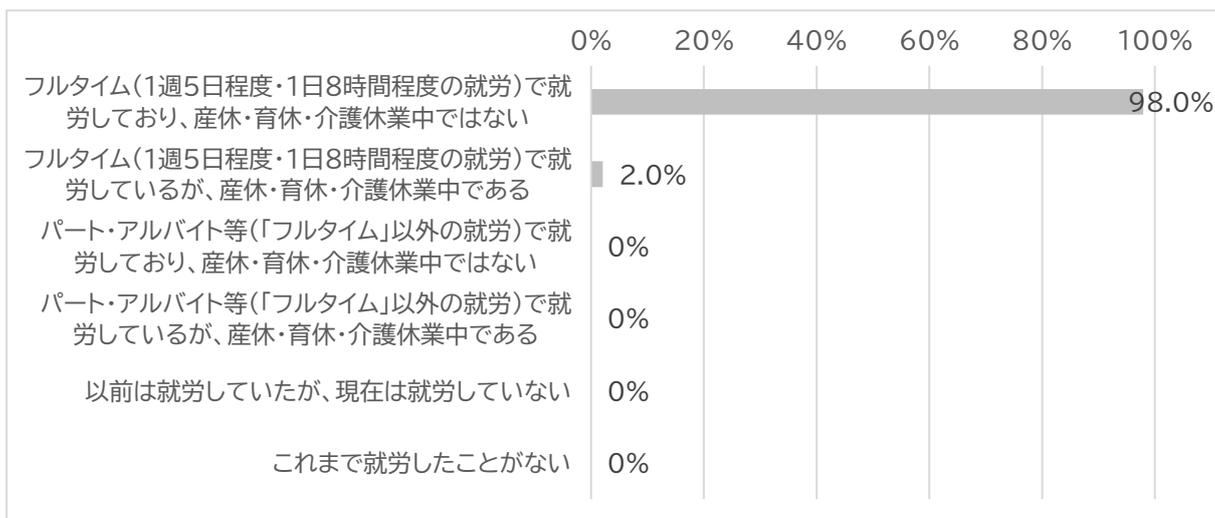
### (1)-2② 帰宅時刻(N=44)

「18時まで」が54.5%と最も高くなっています。



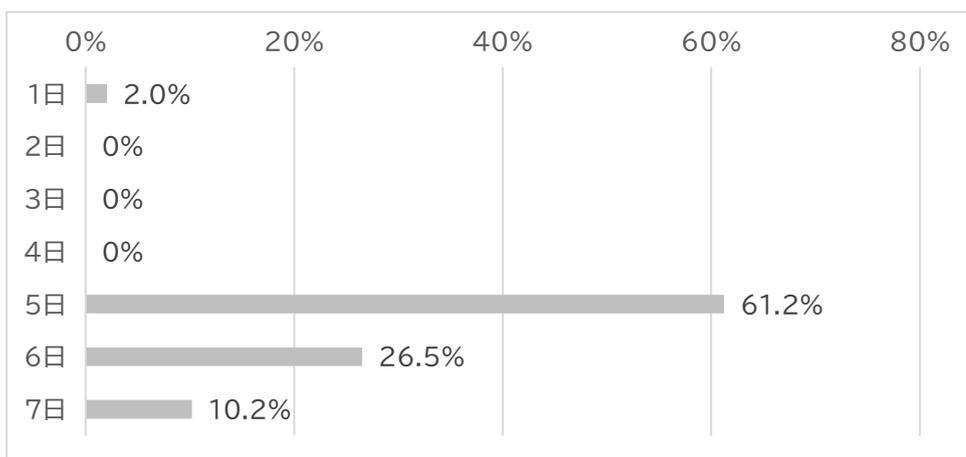
## (2)父親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)(N=49)

「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が98.0%と最も高くなっています。



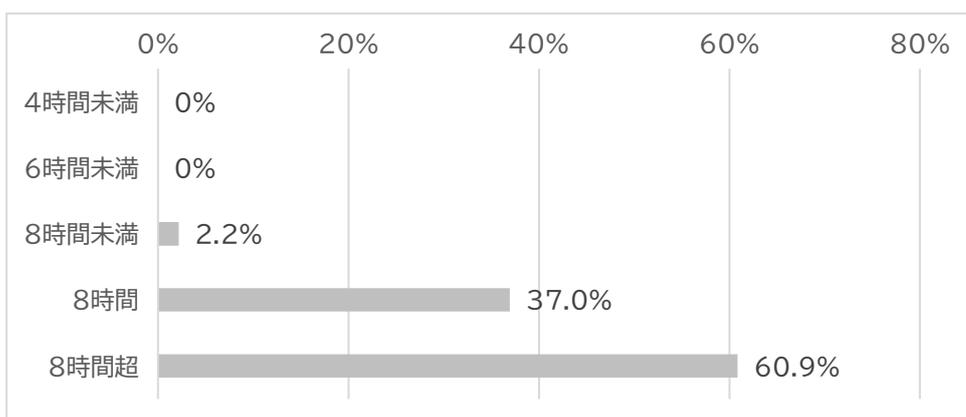
### (2)-1① 1週当たりの「就労日数」(N=49)

「5日」が61.2%と最も高く、次いで「6日」が26.5%となっています。



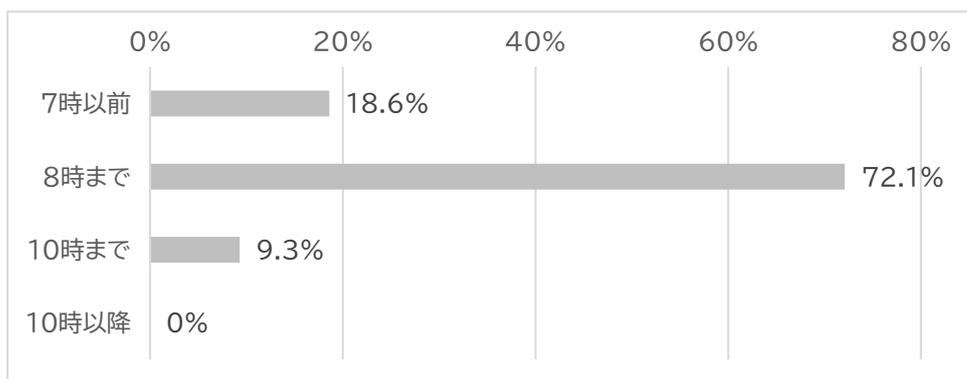
### (2)-1② 1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」(N=46)

「8時間超」が60.9%と最も高くなりました。また「8時間」も37.0%となり、8時間以上の就労時間が回答の9割以上となっています。



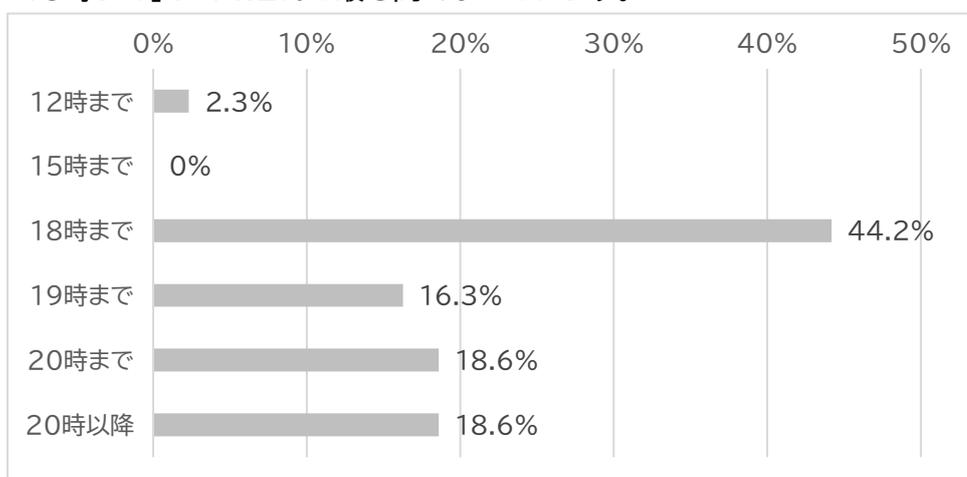
### (2)-2① 家を出る時刻(N=43)

「8時まで」が72.1%と最も高くなっています。



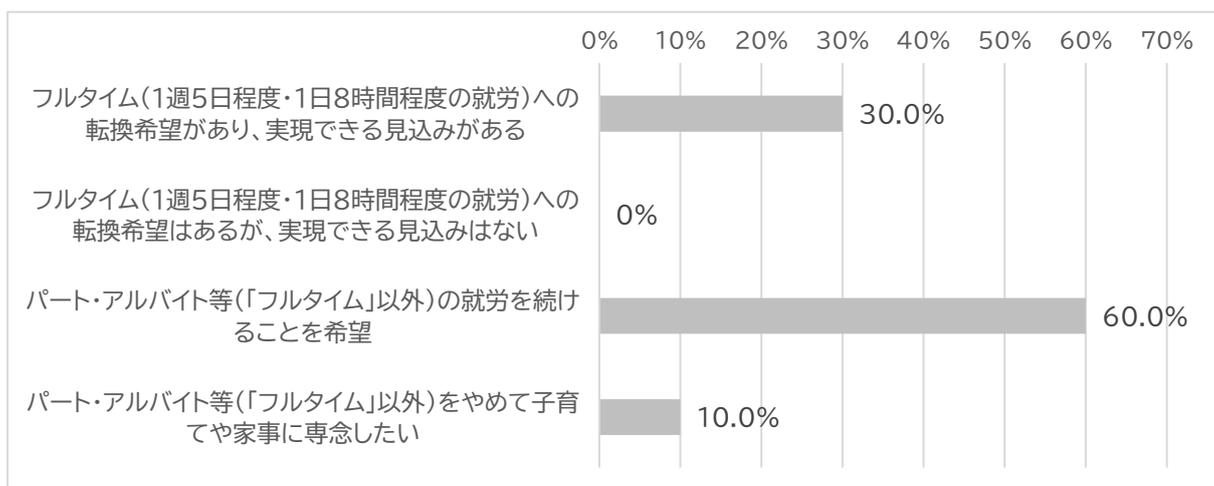
### (2)-2② 帰宅時刻(N=43)

「18時まで」が44.2%と最も高くなっています。



### 問10 (1)「パート・アルバイト等で就労している」を選択した方のフルタイムへの転換希望【母親】(N=10)

「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」が、60.0%と最も高くなっています。

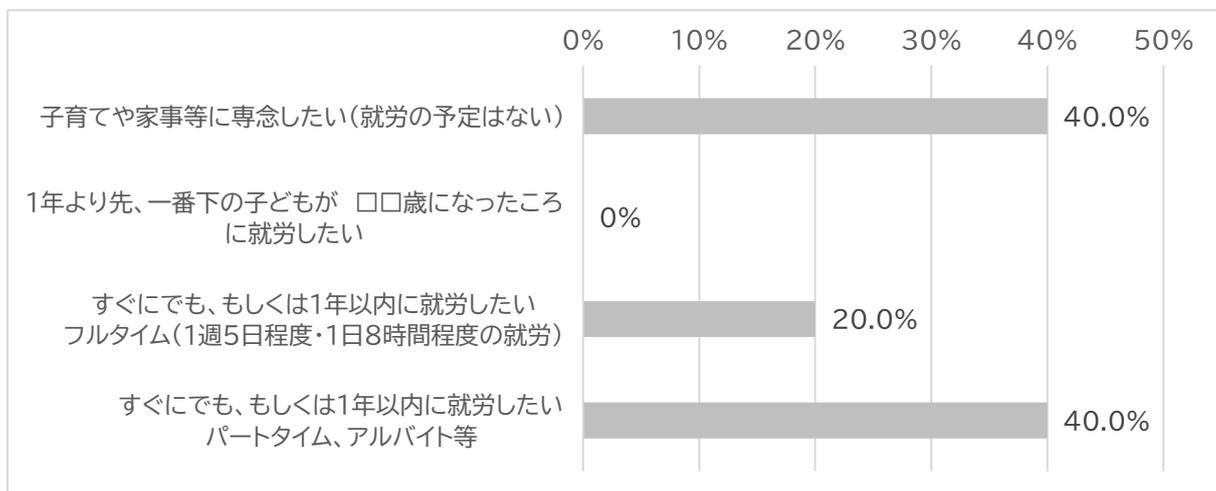


### (2)「パート・アルバイト等で就労している」を選択した方のフルタイムへの転換希望【父親】

有効回答はありませんでした。

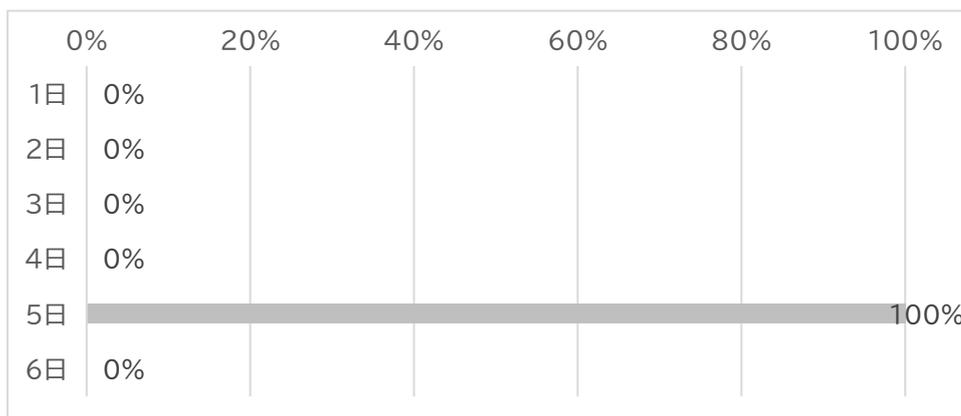
問11 (1)① 「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」を選択した方の就労希望【母親】(N=5)

就労希望については、「子育てや家事等に専念したい(就労の予定はない)」と「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい(パートタイム、アルバイト等)」がそれぞれ 40.0%と最も高くなっています。

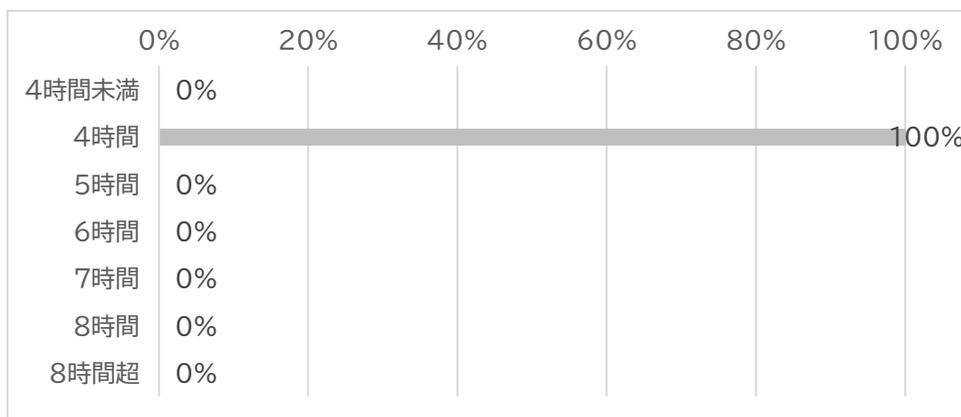


(1)② 希望するパートタイムの就労形態(週当たり日数)【母親】(N=2)

「週5日間で1日4時間」が最も多くなっています。



(1)③ 希望するパートタイムの就労形態(1日当たり時間)【母親】(N=2)



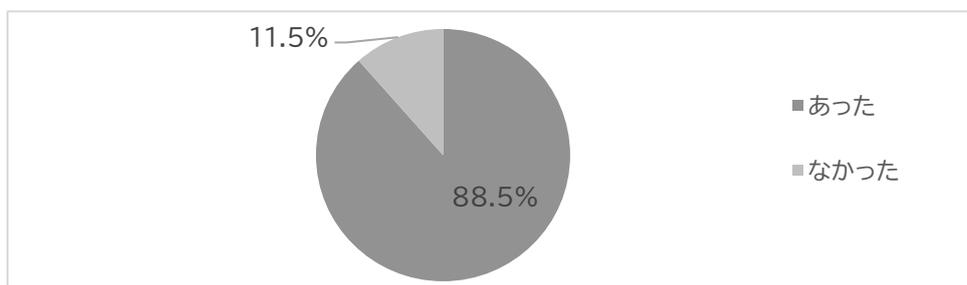
(2)「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」を選択した方の就労希望【父親】

有効回答はありませんでした。

## 4.子どもの病気の際の対応

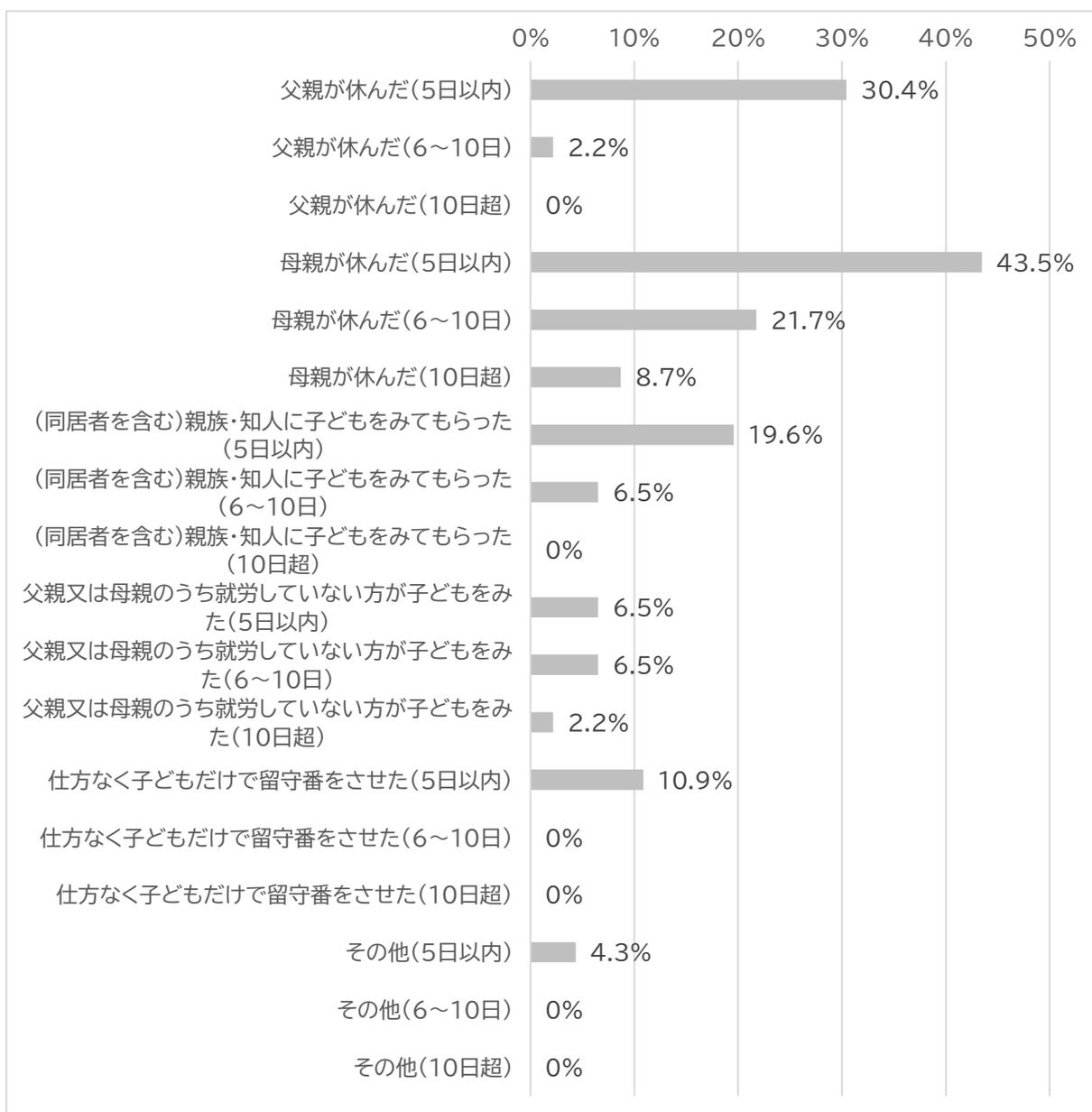
問12 この1年間で、子どもの病気やケガで学校を休んだこと(N=52)

「あった」が88.5%となっています。



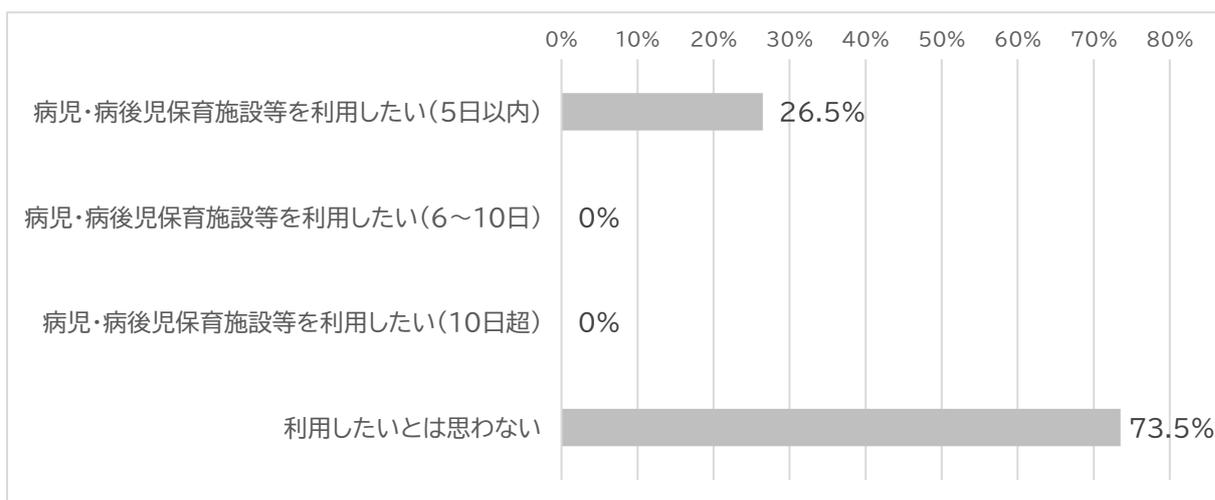
問 12-1 子どもが病気やケガで学校を休んだ場合の対処方法(N=46)

「母親が休んだ」が73.9%と最も高く、次いで「父親が休んだ」が32.6%となっています。なお日数はそれぞれ5日以内が最も多くなっています。また「その他」には子どもを見ながら仕事をした等の回答がありました。



問 12-2 「親が休んだ」時、「病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったか  
(N=34)

「利用したいとは思わない」が 73.5%と最も高く、次いで「病児・病後児保育施設等を利用したい(5日以内)」が 26.5%となりました。



## 5.子どもの放課後の過ごし方

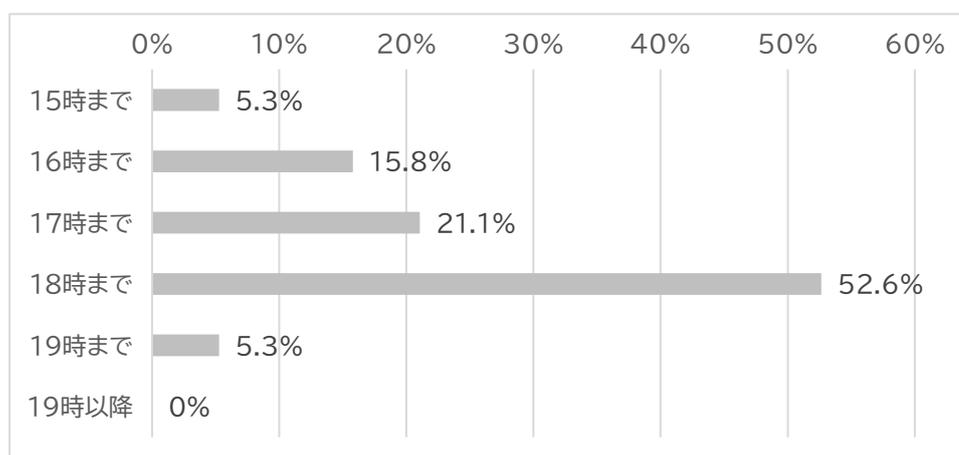
### 問13 ① 子どものこれまでの放課後(平日の小学校終了後)の過ごし方【低学年】

「自宅」が最も多く、次いで「磐梯町児童館(放課後児童クラブ)」となっています。  
 なお「ファミリー・サポート・センター」、「その他(公民館、預かり教室等)」は回答がなかったため省略しています。

	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	スポーツ少年団、学習塾等 習い事(ピアノ教室、)	磐梯町児童館 (放課後児童クラブ)	まなびときばんだい	放課後子ども教室	放課後等デイサービス	地域学校協働活動 (ほうかご あそぼーよ会等)
N	31	5	11	19	2	1	1	6
1日	19.4%	28.6%	45.5%	10.5%	0%	100%	0%	83.3%
2日	12.9%	28.6%	18.2%	5.3%	50.0%	0%	0%	0%
3日	9.7%	28.6%	27.3%	15.8%	50.0%	0%	100%	16.7%
4日	3.2%	0%	9.1%	21.1%	0%	0%	0%	0%
5日	54.8%	14.3%	0%	47.4%	0%	0%	0%	0%

### ② 児童館の利用時間【低学年】(N=19)

「18時まで」が52.6%と最も高く、次いで「17時まで」が21.1%となっています。



### ③ 子どものこれまでの放課後(平日の小学校終了後)の過ごし方【高学年】

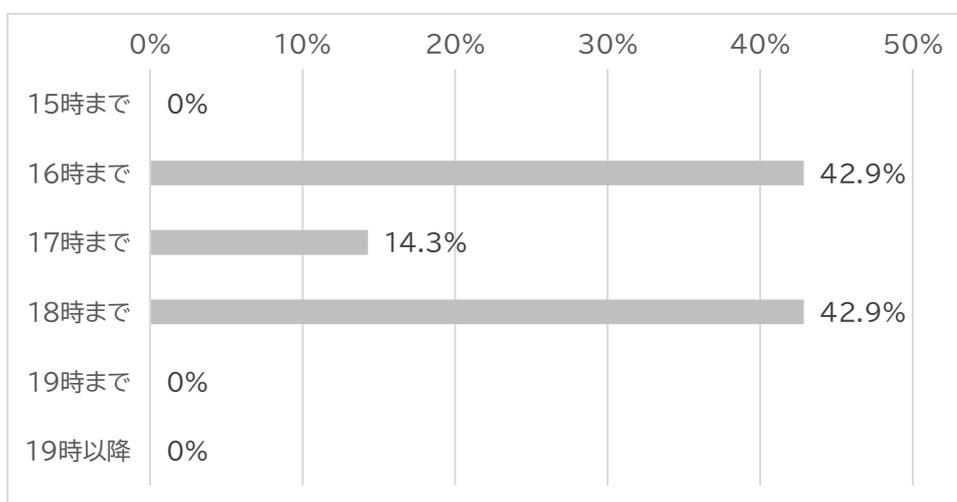
「自宅」が最も多く、次いで「習い事(ピアノ教室、スポーツ少年団、学習塾等)」となっています。

なお「放課後子ども教室」、「ファミリー・サポート・センター」「放課後等デイサービス」「その他(公民館、預かり教室等)」は、回答がなかったため省略しています。

	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事(ピアノ教室、 スポーツ少年団、学習塾等)	磐梯町児童館 (放課後児童クラブ)	まなびとぎばんだい	地域学校協働活動 (ほっかこ あそぼーよ会等)
N	21	7	13	7	3	2
1日	9.5%	14.3%	30.8%	0%	33.3%	100%
2日	23.8%	14.3%	7.7%	14.3%	66.7%	0%
3日	9.5%	28.6%	30.8%	14.3%	0%	0%
4日	4.8%	14.3%	23.1%	28.6%	0%	0%
5日	52.4%	28.6%	7.7%	42.9%	0%	0%

### ④ 児童館の利用時間【高学年】(N=7)

「16時まで」と「18時まで」がそれぞれ42.9%となっています。



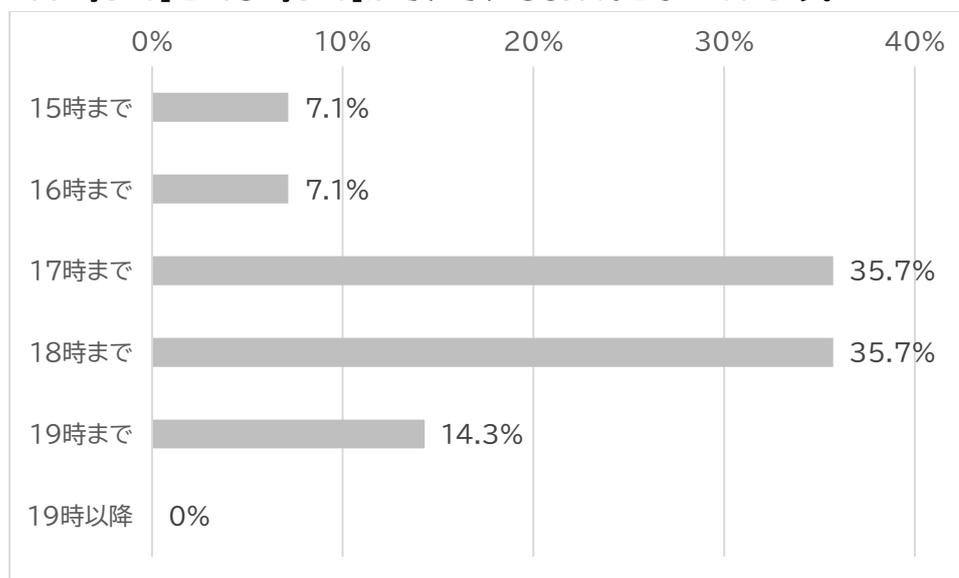
問14 ① 子どもの今後の放課後(平日の小学校終了後)の過ごし方【低学年】

「自宅」が最も多く、次いで「磐梯町児童館(放課後児童クラブ)」となっています。

	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	スポーツ少年団、学習塾等 習い事(ピアノ教室、)	磐梯町児童館 (放課後児童クラブ)	まなびときばんだい	放課後子ども教室	ファミリー・サポート・ センター	放課後等デイサービス	(ほっかご)あそぼよ会等 地域学校協働活動	その他 (公民館、預かり教室等)
N	27	6	10	17	8	4	2	2	11	2
1日	14.8%	50.0%	40.0%	11.8%	50.0%	50.0%	50.0%	0%	72.7%	50.0%
2日	18.5%	0%	20.0%	5.9%	50.0%	25.0%	0%	50.0%	9.1%	0%
3日	7.4%	33.3%	20.0%	17.6%	0%	0%	0%	50.0%	9.1%	0%
4日	11.1%	0%	20.0%	17.6%	0%	0%	50.0%	0%	0%	0%
5日	48.1%	16.7%	0%	47.1%	0%	25.0%	0%	0%	9.1%	50.0%

② 児童館の利用希望時間【低学年】(N=14)

「17時まで」と「18時まで」がそれぞれ 35.7%となっています。



③ 子どもの今後の放課後(平日の小学校終了後)の過ごし方【高学年】

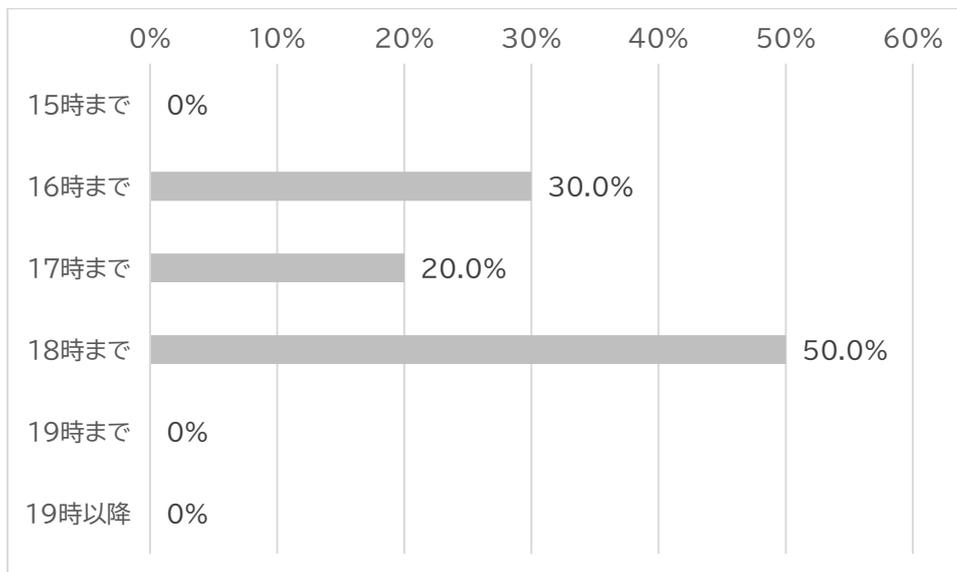
「自宅」が最も多く、次いで「習い事(ピアノ教室、スポーツ少年団、学習塾等)」となっています。

なお「ファミリー・サポート・センター」「放課後等デイサービス」は回答がなかったため省略しています。

	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事(ピアノ教室、 スポーツ少年団、学習塾等)	磐梯町児童館 (放課後児童クラブ)	まなびときばんだい	放課後子ども教室	(ほっかご)あそぼよ会等 地域学校協働活動	その他 (公民館、預かり教室等)
N	21	6	12	11	6	2	8	2
1日	14.3%	16.7%	8.3%	18.2%	16.7%	50.0%	100%	100%
2日	19.0%	33.3%	33.3%	9.1%	50.0%	50.0%	0%	0%
3日	9.5%	33.3%	25.0%	9.1%	33.3%	0%	0%	0%
4日	9.5%	0%	25.0%	18.2%	0%	0%	0%	0%
5日	47.6%	16.7%	8.3%	45.5%	0%	0%	0%	0%

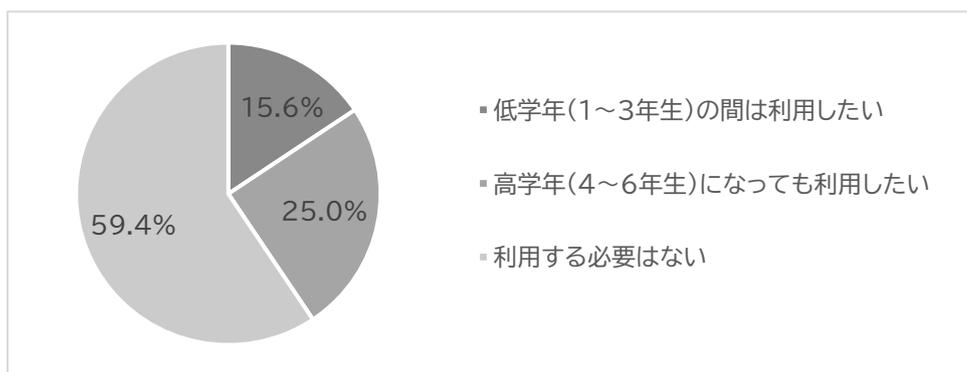
④ 児童館の利用希望時間【高学年】(N=10)

「18時まで」が50%と最も高く、「16時まで」が30%となっています。



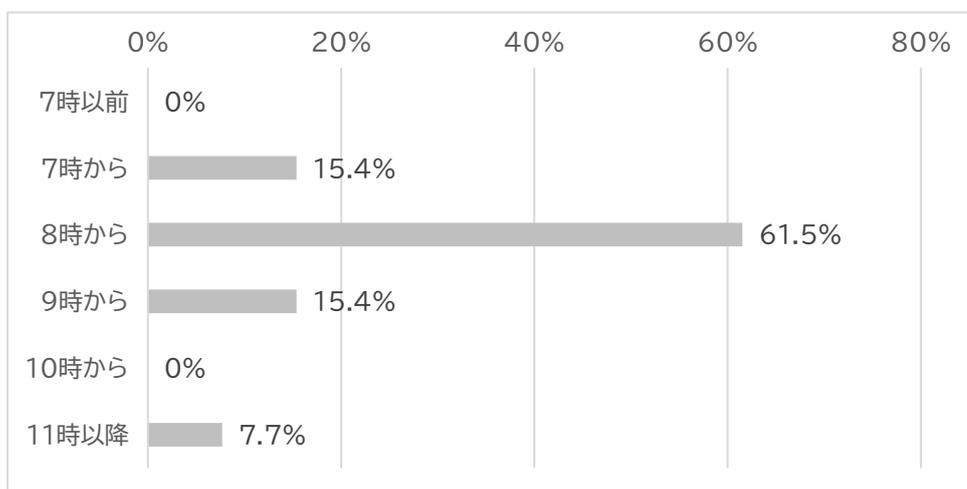
問15 (1)① 土曜日の磐梯町児童館(放課後児童クラブ)の利用希望(N=32)

「利用する必要はない」が 59.4%となっています。



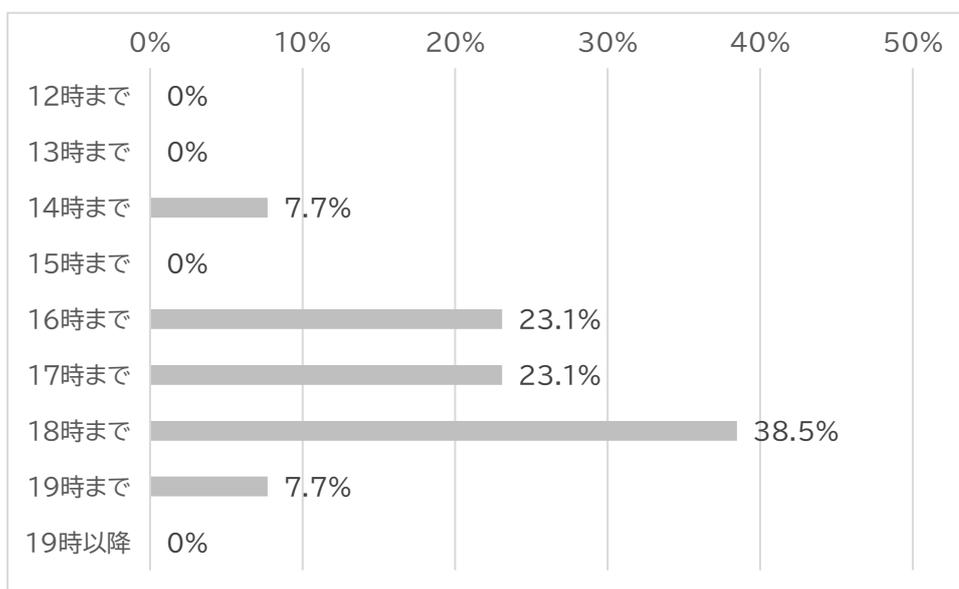
(1)② 利用開始時間(希望)(N=13)

「8時から」が 61.5%と最も高くなっています。



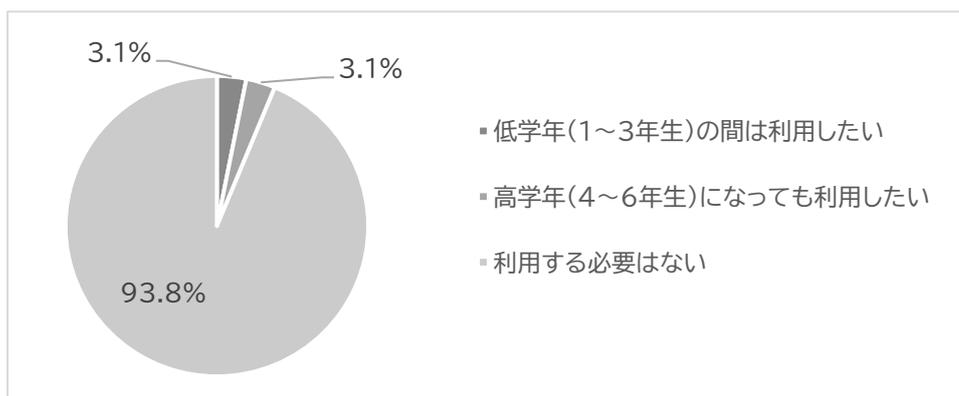
(1)③ 利用終了時間(希望)(N=13)

「18時まで」が 38.5%と最も高くなっています。



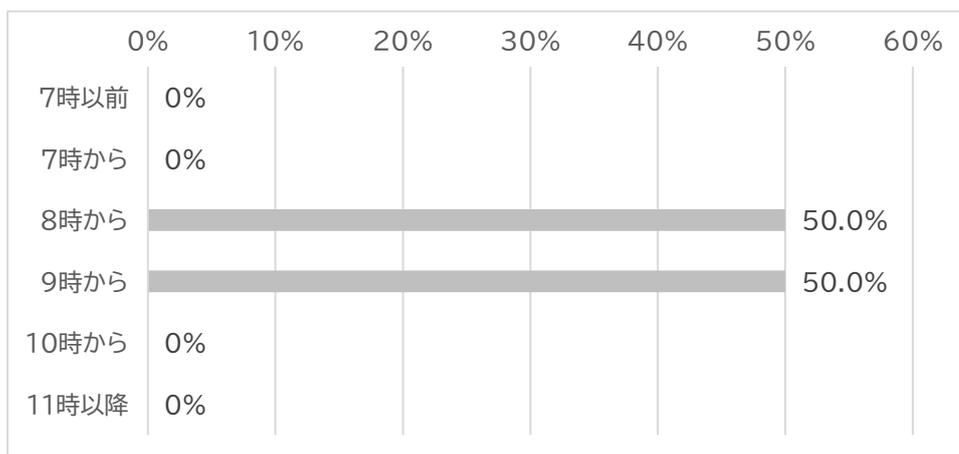
**(2)① 日曜日・祝日の警梯町児童館(放課後児童クラブ)の利用希望(N=32)**

「利用する必要はない」が 93.8%と最も高くなっています。



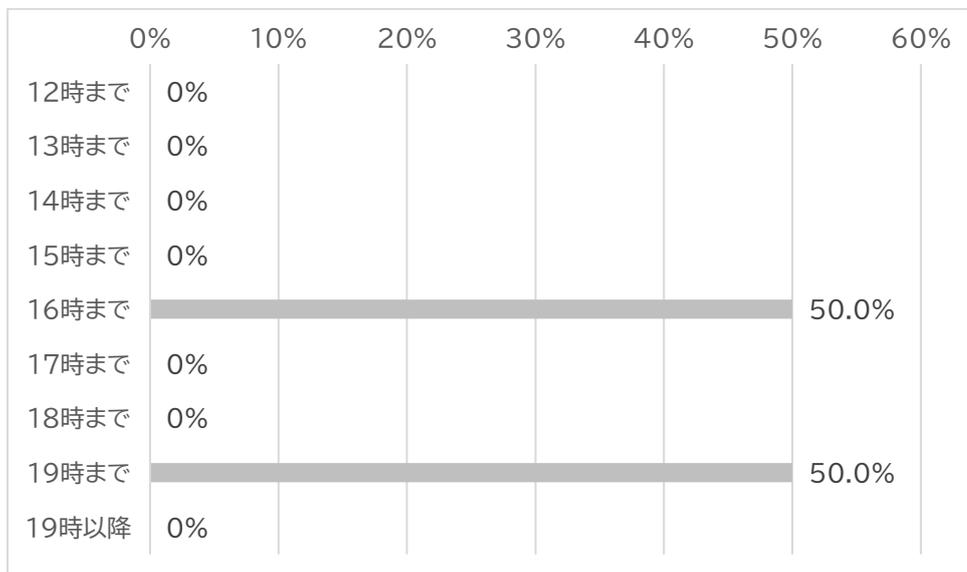
**(2)② 利用開始時間(希望)(N=2)**

「8時から」と「9時から」がそれぞれ 50%となっています。



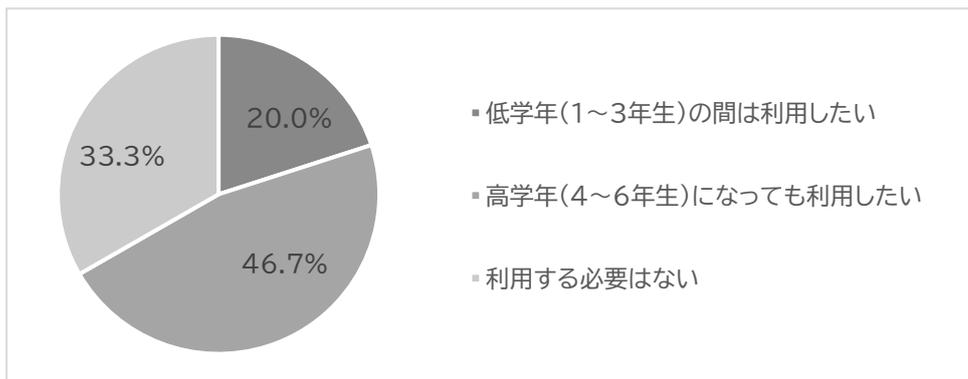
**(2)③ 利用終了時間(希望)(N=2)**

「16時まで」と「19時まで」がそれぞれ 50%となっています。



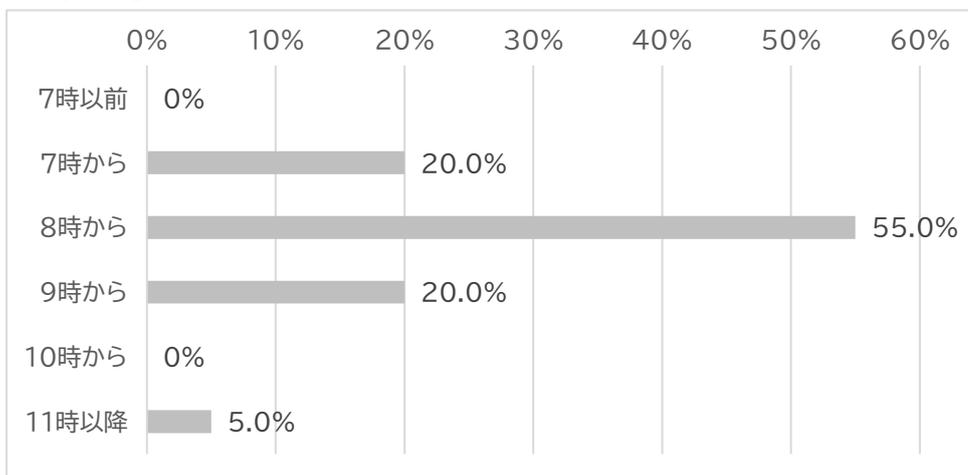
**(3)① 長期休暇中(夏休み・冬休み等)の磐梯町児童館(放課後児童クラブ)の利用希望(N=30)**

「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が46.7%と最も高くなっています。



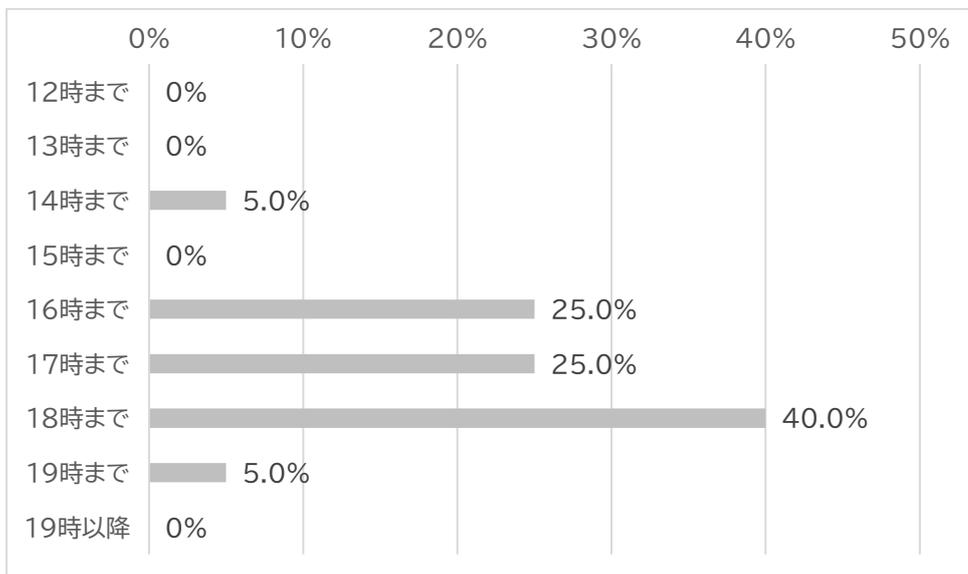
**(3)② 利用開始時間(希望)(N=20)**

「8時まで」が55.0%と最も高くなっています。



**(3)③ 利用終了時間(希望)(N=20)**

「18時まで」が40.0%と最も高くなっています。



## 6.子育て全般について

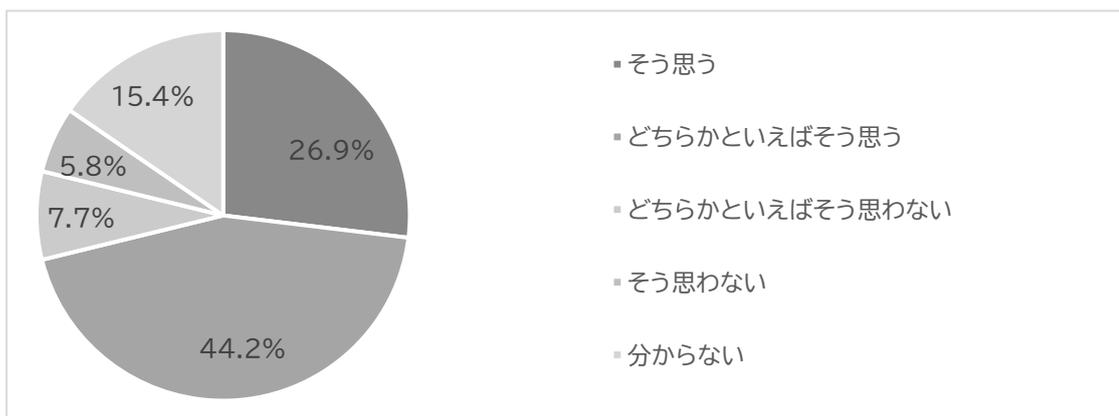
### 問16 子育てをどのように感じる人が多いか(N=52)

「楽しいと感じることの方が多し」が 65.4%と最も高く、次いで「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」が 28.8%となっています。



### 問17 磐梯町は子育てをしやすい町だと思うか(N=52)

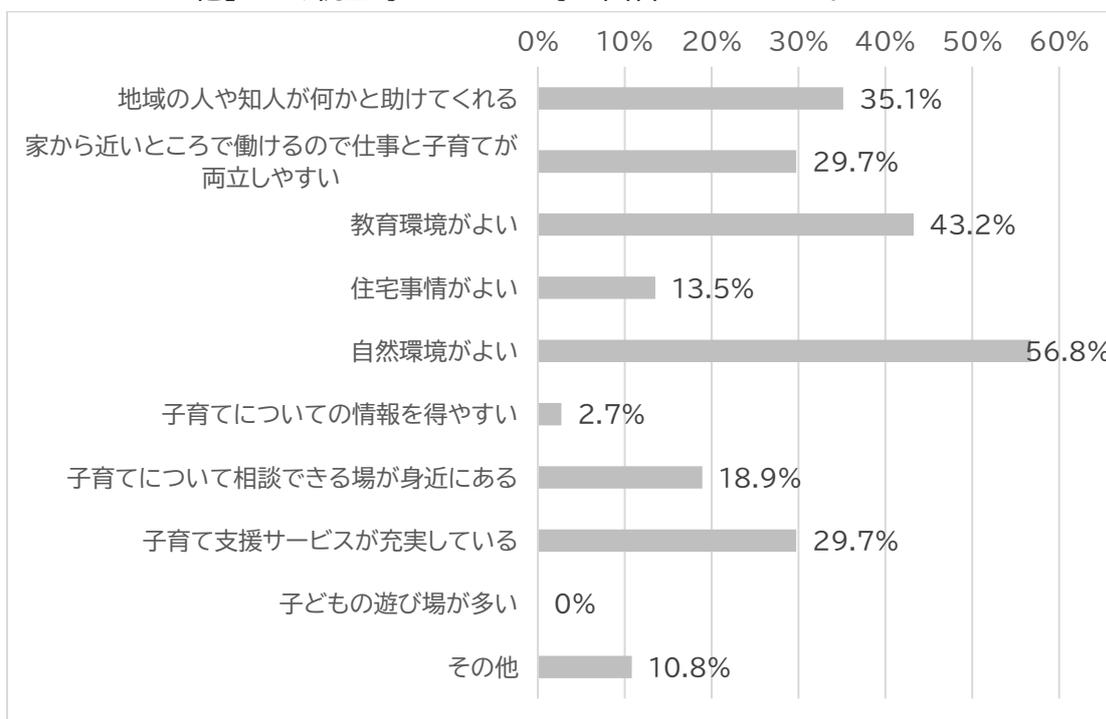
「どちらかといえばそう思う」が 44.2%と最も高く、次いで「そう思う」の 26.9%となっています。



### 問 17-1 「そう思う・どちらかといえばそう思う」理由(N=37)

「自然環境がよい」が 56.8%と最も高く、次いで「教育環境がよい」が 43.2%となっています。

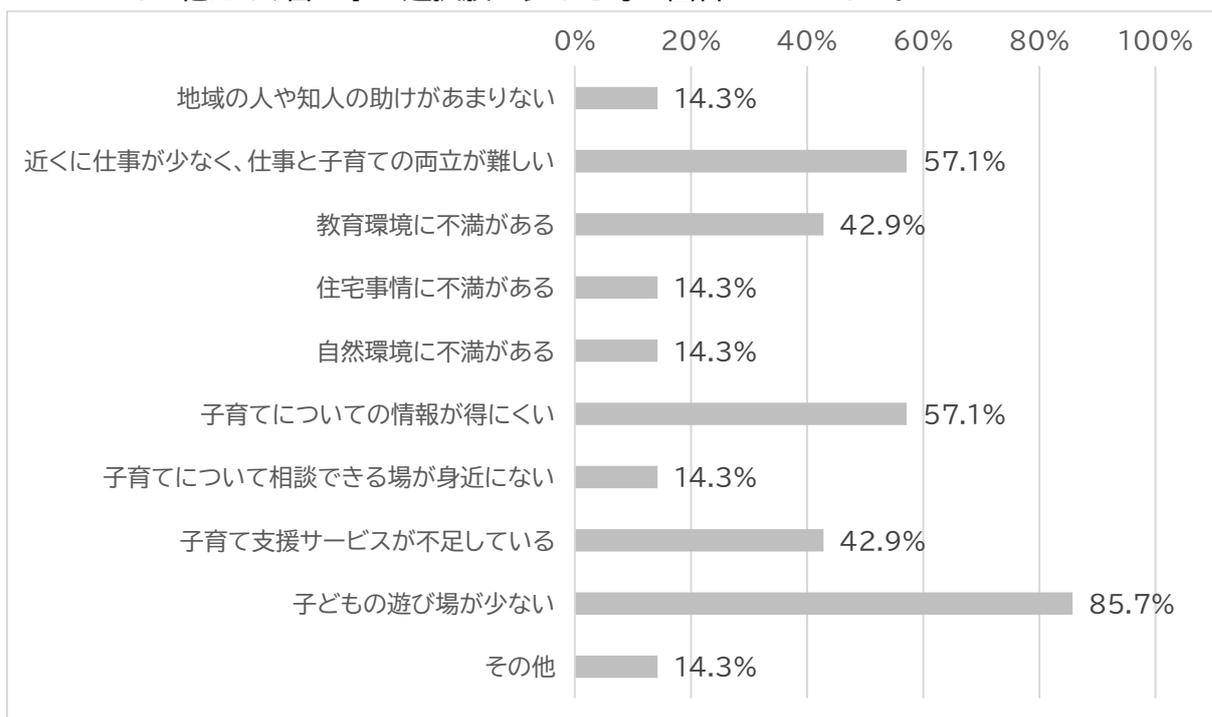
また「その他」には、祝金等があること等の回答がありました。



### 問 17-2 「そう思わない・どちらかといえばそう思わない」理由(N=7)

「子どもの遊び場が少ない」が 85.7%と最も高く、次いで「近くに仕事が少なく、仕事と子育ての両立が難しい」と「子育てについての情報が得にくい」が、それぞれ 57.1%となっています。

またその他には、習い事を選択肢の少なさ等の回答がありました。



## 7.自由記述

### 問18 教育・保育環境の充実等子育ての環境や支援に関する意見(一部抜粋)

#### 【子どもの遊び場について】

- ・ 公園などもっと遊べる場所がほしいです。
- ・ 教育、子育て環境サービスは十分充実していると思う。日中や休日の子供の遊ぶ場所(公園、広場)が全くない。安心して遊ばせられる施設がないので、親の目の届く所でしか遊ばせられない。大きい公園、子供が歩いていける公園の拡充が求められる。
- ・ 公園遊具の整備を早急にお願いしたいです。  
副町長が 2 人、外部講師にはバンバンお金を使う事も大切なかもしれませんが、子ども達が安心して遊べる遊具にはお金が使えない、予算を取る目途がたたないと言うのは悲しいです。公園で沢山遊んで、地域の人とのつながり、愛着をもって育ち、自分の町への誇りへと繋がる事もあるかと思えます。将来の町を助けていくのは子ども達です。
- ・ 学校の遊具や砂場など、子どもたちが遊べるよう整備していただけると嬉しいです。地区に公園もなく…近隣の子どもたちも一緒にあそべる環境があると助かります。勉強も遊びも子どもたちの大切な仕事ですから、のびのび休み時間をすごしてほしいと親は願っております。
- ・ 遊び場が少ない。
- ・ 雨でも子ども達が遊べるような場所がほしいです。
- ・ 親が休日の日でも短時間でも利用できる場所があるといいなと思います。
- ・ 町が管理している公園がない。

#### 【子育て支援行政について】

- ・ 子育て支援サービスがすべて中途半端に感じる(立地や内容、質)
- ・ 子育ての事で、色んな人の意見を聞く場やアンケートされてはいるが、中核となる人は原本となる事業内容、近隣の教育、保育環境ニーズサービスにて、知識を十分に得ているのか気になる。
- ・ 子育て世代(その他の町民の方々)にも商品券や手当などしきゅうしていただけたらうれしいです。猪苗代町は町民に商品券など配布していていいなあとと思います。

- 子育て支援の充実をお願いします。町外の方に「警梯町って子育てにいいでしょ？」と言われることが多いが、具体的にどこがいいのか、住んでいてもよく分かりません。教育環境に問題があった時、勇気を持ち意見を出し、同じ考えの人も多くおり、たくさん声を上げたのにも係わらず、変わる事なくただ年月がすぎていく。「何を言っても無駄」「何を言っても変わらない」そう思うようになりました。

上辺ばかりの子育て支援はいりません。もっともっと保護者や子供に寄り添った考えを持って下さい。ちゃんと、現場で起きている問題に目を向けて下さい。そして何か新しいことをする前は周知して下さい。
- 交通手段が限られていることで、子供が自力で学びや遊びに行くことが難しいのは、体験への大きなハードルだと感じます。

転入だと、親が地域に知り合いや助け合いを見つける機会が限られ(特に高学年ほど)、慣れるまでは苦しい場面があります。

家の周りで自由に遊ばせることができるのは良いですが、熊のため遠くまででは行かせられず、車がないと遊べるところまで連れて行けなかったのが大変でした。小さい子は家の中だけだとあきてしまうので苦労しました。

今はもう大きくなったので遊び場に困ることはありませんが、小学校の児童数が少なくて友達が少なく、せめて1学年10人はいてほしいものです。一小にまとめて、二小を複合的な遊び場にリニューアルして民間に委託するなど、活用できるといいなと思います。

#### 【町内施設について】

- まなびときばんだいを利用したいと思うのですが、コーダードジョーのような土曜の午後と限られてしまうと他の学習塾と重なり、なかなか参加できません。曜日をバラバラにしてもらえると助かります。
- それぞれの家庭の環境、仕事の状況(仕事の帰りが遅い、土・日勤務、夜勤 etc.)があると思うが、延長保育的なもの。保育所、こども館、児童館、預けにくい雰囲気があり、すみませんと思ってしまう。

少ない人数の時は、誰かに頼んで休所にしたいと相談される。そのうち子供1人小さい子家において仕事に行こうかと考えてしまったりする。
- ふれあいセンターのプールが使いにくい。水深が深すぎて低学年には不向き。毎回保険証やマイナンバーカードを見せるので不便。

#### 【教育について】

- 小学校を統合してほしい。幼稚園で仲良くなって小学校では離ればなれ、また中学校で戻るなら、幼・小・中全部いっしょにしてほしい。(猪苗代町は)小学校を統合していて、警梯町もそうしてほしいなと思います。

- ・ 教育環境が年々悪化していると感じる。昔は磐梯町の教育が魅力的で住みたい町と言われることが多かったが、今は猪苗代等近隣市町村より劣っていると感じることが多いし、友人知人にもその様に言われる。形、格好だけでなく中身を…
- ・ ごく一部の地域の教育に携わっている方ですが、”人を見て”接し方・対応が気になるような方がおられます…磐梯町は自然豊かで住みやすく教育に力をいれられていると思いますがとても残念です…。心が痛いです。子どもの教育環境とはかけ離れていることとは思いますが、そのような方がいるということを知って欲しいと思いました。  
この先ずっとこの方と関わっていかなくてはならないと思うと不安です。改善されることを願っております。
- ・ 教育、保育環境については、大人ファーストな考えなんだなあと思っています。子どもや、働く親によりそった施設やサービスを希みます。
- ・ ネウボラは小学校以上では通知表の共有にもした方が先生方の負担が軽減されるのではないかと思います。デジタル化で。
- ・ コドモンがうまく機能していない
- ・ 学校の先生方には、一人一人をよく見て頂いており、感謝の気持ちでいっぱいです。

#### 【学校給食について】

- ・ 今の学校の給食に不満です。彩りも悪く、おいしそうに見えません。からあげ1コのよ  
うな給食が多すぎます。食べ盛りの子どもが、ある程度満足できるものを出して下さい。プリンやゼリーを付ければいいというものではないと思います。会津若松市の給食のインスタなど見たことはありますか？磐梯との差が激しく、がっかりします。町で補助金を出しているはずですが、お金はどこに行っているんですか？  
おいしい栄養のある楽しくみんなが笑顔になる給食を作して下さい。
- ・ 学校給食の内容が薄いです。物価高なのは分かりますが、子どもから話を聞くと悲しく、残念に思います。近隣では町全額負担の所も増えて来ています。全負担までは無理だとしても、一部負担し、栄養価 up に繋げて欲しいです。  
味ももう少しおいしくなると嬉しいです。

#### 【HP について】

- ・ 町の HP が充実しておらず、すぐにお問合せ下さいになってます。  
問い合わせなくても、ある程度は分かるようにしてほしいと思っています。

- ・ HP が見にくいので、情報は小冊子になってほしいです。移住希望者に配りたいです。せっかくいい制度があるのに、知られてないので。
- ・ ホームページがとにかく見づらくて、見る気にならない。

【その他】

- ・ 学習塾等の情報などが欲しい(分かりやすく、場所、料金など)。
- ・ 保健センターとの連携ができていない。